

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (5)

# 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書・ 美濃国石津郡乙坂村文書目録

美濃国安八郡南寺内村文書  
美濃国多芸郡大場村文書 などを含む

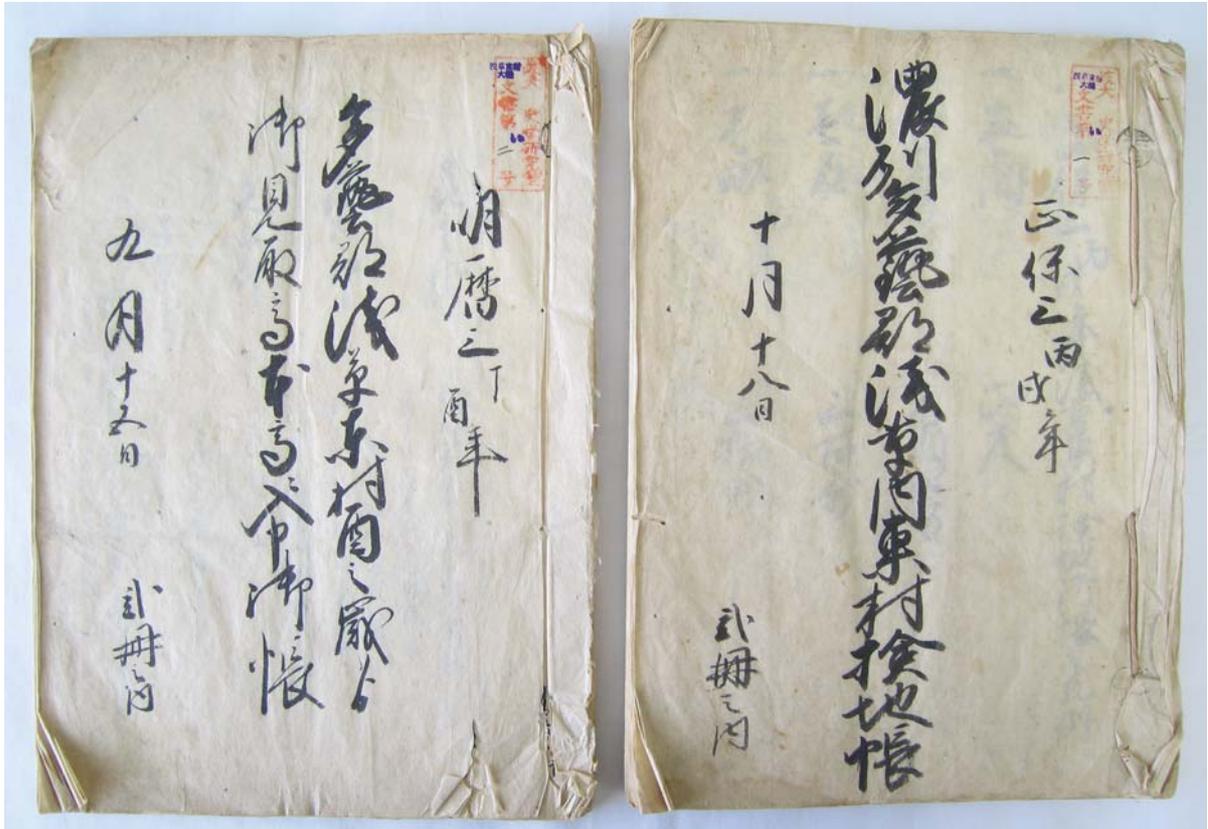
岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センター

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録 (5)

# 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書・ 美濃国石津郡乙坂村文書目録

美濃国安八郡南寺内村文書  
美濃国多芸郡大場村文書 などを含む



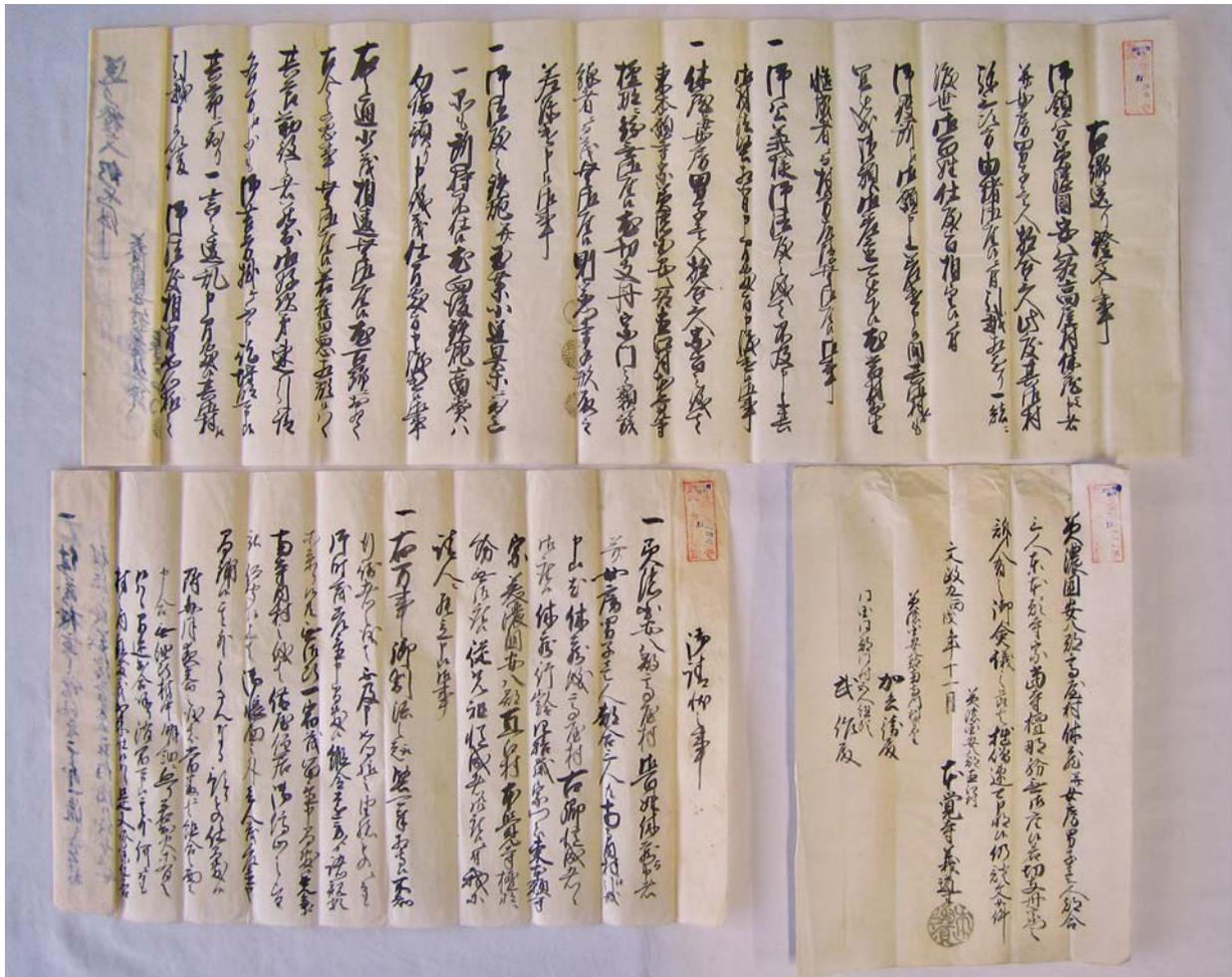


正保3年(1646)「濃州多芸郡浅草内東村検地帳」(い1、写真右)

明暦3年(1657)「多芸郡浅草東村西之歳より御見取高本高二入申御帳」(い2、写真左)

(岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書)

美濃国安八郡浅草東村は、浅草中村・浅草西村とともに、正保2年(1645)に開発された村である。正保郷帳では、のちの三村を併せて「浅草新開」とみえ、高2120石(田方1807石、畑方313石)と記されている(『岐阜県史 史料編 近世一』)。なお、これらの史料の記載内容については、解題の表1・表2にまとめた(p.4)。これらの史料には「多芸郡浅草内東村」「多芸郡浅草東村」と記されており、開発当時は多芸郡として取り扱われていたと思われる。大橋家文書中で、「多芸郡浅草東村」などの表記があるのは口絵の史料のみで、ほかには見えない。



文政9年(1826)「古郷送り証文之事」(ほ69、写真上段)、  
「寺手形」(ほ112、写真下段右)、「御請状之事」(ほ143、写真下段左)  
(岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵 美濃国安八郡南寺内村文書)

南寺内村文書には戸口に関わる史料が多く残されており、古郷送り証文・寺手形・請状などがまとまっている。これらの史料は、文政9年(1826)に安八郡高屋村(現、大垣市)の休蔵一家3人が南寺内村へ引越す際に作成されたものである。「古郷送り証文之事」は、高屋村の村役人から、また「寺手形」は休蔵一家の檀那寺であった安八郡直江村(現、大垣市)本覚寺から、「御請状之事」は、休蔵と彼の身元保証人たちから、南寺内村の村役人宛てに出されたもので、彼らの身元を保証するものであった。南寺内村は、大垣城下に接しており、他所より引越してくるものも多数いた。詳しくは解題の表4(pp.8~9)を参照されたい。

# 目録の刊行にあたって

岐阜大学地域科学部 地域資料・情報センター

運営委員（地域科学部准教授） 朴 澤 直 秀

岐阜大学地域科学部地域資料・情報センターでは、地域に関する資料・情報を収集するとともに、そのデータを広く発信して、学内外の利用に供すべく、鋭意事業を進めている。

その一環として、学内に所在する貴重な地域資料の情報整理・発信を行っている。岐阜大学教育学部郷土博物館には、1万6千点程度の規模に及ぶ美濃国大野郡高屋村（現本巣市）の古田家文書を筆頭に、おおよそ4万5千点に及ぶ近世・近代文書がある。これらの多くは長良川水系流域を中心とした地域の村々の庄屋家の文書であり、当該地域の近世・近代を知る上でたいへん貴重かつ内容豊富な史料である。

これらの史料の大部分については粗々の整理がなされ、岐阜大学教養部教授であった日置弥三郎氏の監修のもと、『岐阜大学教育学部庶民史料目録』（1）～（3）（1967年～1968年）として目録が刊行されている。しかしながら、人員・経費の不足のもとで行われた事情もあり、それらの目録は現在からみると不備が多い。また、史料自体の保存状況も良好ではなく、早急の手当が必要である。よって、これらの貴重な史料をより広汎な利用に供し、かつ喫緊の課題である劣化防止の措置を講ずべく、2005年度より、再整理と新規の目録作成とを行ってきた。

これまで、『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録』として『美濃国方県郡河渡村 村木家文書目録』、『美濃国方県郡木田村 山田家文書目録』、『美濃国武儀郡下有知村 山田家文書目録』、『未報告諸資料・博物館関係資料目録』を、また同別冊として『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵村絵図』を刊行した。本年度も、幸いにして平成24（2012）年度岐阜大学活性化経費（地域連携：一般）として、「岐阜大学所蔵地域史料の再整理と情報発信」が採択された。本目録の刊行は、同事業の一環として行われるものである。同事業は、地域科学部と教育学部との共同事業（申請者：朴澤直秀、共同事業者：伊東久之〈教育学部教授〉、中尾喜代美〈地域資料・情報センター教務補佐員〉）であり、遂行にあたっては教育学部より多大なご協力を賜った。本目録の作成実務は、既刊の目録・図録等に引き続き中尾喜代美が担当した。また地域資料・情報センター事務補佐員の山田美由紀が、史料整理・目録作成の補佐に当たった。

本目録で取り上げる文書群のうち、大橋家文書は、現在の大垣市南部に所在した、安八郡浅草東村の庄屋文書であり、検地・貢租・戸口・水利土木などに関連する文書を含んでいる。また大橋家文書には、大垣城下町に接する安八郡南寺内村の人の移動に関するものを中心とした史料や、多芸郡大場村（現養老町）に由来する史料が混入している。また多芸郡乙坂村文書は、現在の大垣市域（旧上石津町域）、牧田川沿いの村に由来するもので、貢租関連の史料が大部分を占める。いずれも論点豊富な史料であり、本目録を手がかりに、是非ご活用いただきたい。

末筆ながら、郷土博物館収蔵史料の整理・活用が、今後とも、より安定した形で継続されることを、切に願うものである。

# 目 次

口 絵

目録の刊行にあたって

目 次

凡 例

解 題

I-I 安八郡浅草東村大橋家文書について .....	1
現状記録	
浅草東村について	
大橋家について	
安八郡浅草東村大橋家文書の概要	
I-II 安八郡南寺内村文書について .....	7
安八郡南寺内村文書の概要	
I-III 多芸郡大場村文書について .....	10
多芸郡大場村文書の概要	
II 石津郡乙坂村文書について .....	11
現状記録	
乙坂村について	
石津郡乙坂村文書の概要	
浅草東村、南寺内村、大場村、乙坂村関係史料 .....	13
参考文献 .....	14

目 録

安八郡浅草東村大橋家文書目録

い 「土 地」 .....	16
ろ 「貢 租」 .....	16
は 「村 政」 .....	22
に 「村 経 済」 .....	28
ほ 「戸 口」 .....	32
へ 「治 水 土 木」 .....	60
と 「災害・救恤」 .....	68
ち 「交 通」 .....	68

り	「社 寺」	.....	68
ぬ	「個人雑事」	.....	68
る	「明治」	.....	80

石津郡乙坂村文書目録

い	「土地」	.....	98
ろ	「貢 租」	.....	100
は	「村 政」	.....	112
に	「村 経 済」	.....	114
ほ	「戸 口」	.....	120
る	「金 融」	.....	120
お	「 雑 　」	.....	120
未	「未整理史料」	.....	122



## 凡 例

- 1 本目録は、岐阜大学教育学部郷土博物館が収蔵する美濃国安八郡浅草東村大橋家文書・美濃国石津郡乙坂村文書の目録である。但し、この文書群の中には、安八郡南寺内村文書・多芸郡大場村文書なども含まれている。
- 2 現状において浅草東村大橋家文書・乙坂村文書は、1968年（昭和43）発行『岐阜大学教育学部庶民史料目録（2）』の通りに配架されており、本目録の配列もそれに従った。1968年発行の目録の凡例は解題に引用している。史料の一部で、先の目録に明記されていないものは、適宜番号を追加した。
- 3 目録は「推定」「番号」、「表題」、「年代」、「西暦」、「形態」、「数」、「作成」、「受取」、「備考」の順に記載した。「推定」とは浅草東村大橋家文書中に、安八郡南寺内村文書・多芸郡大場村文書などが混在しているため、南寺内村文書と推定できるものに「南」、大場村文書と推定できるものに「大」と記した。また乙坂村文書中に、石津郡牧田村文書・不破郡市之（野）尾村文書が数点混入しているため、それらには「牧」、「市」と記入した。「番号」の頭には、文書の単位記号（「い」～「お」「未」）を加えている。丸番号は綴であることを示す。
- 4 史料中の旧字体や異体字は常用漢字などに改めた。合字の「ㇿ」は「より」と表記した。破損などで判読不明の部分は□（字数が推定できるもの）や〔 〕（字数が推定できないもの）で表現した。判読などに疑問のある文字については（…カ）と記した。
- 5 表題は史料に記載されたものを採用し、補足が必要なものは（ ）を付け、その内容を示した。表題がない史料は、〔 〕を付け、仮表題を作成した。所在不明の史料については、《 》で示した。
- 6 年代は史料に記載されたものを取り、推定・参考年代は（ ）、（ カ）で記した。
- 7 形態は冊子物では縦・横長・横半とし、一紙物では一紙・切紙とした。村絵図や図面などは絵図とし、寸法を備考に記載した。
- 8 作成・受取は史料に記載された地名・肩書き・人名などを記載したが、多人数の場合、役職・人数などを記し、適宜省略を加えた。
- 9 備考には史料の状態（破損など）や、端裏の記載など必要と思われる様々な情報を記した。また、1968（昭和43）年発行『岐阜大学教育学部庶民史料目録（2）』とは異なる史料番号が明記されている史料には、その旨を記した。
- 10 史料の保存状態については現状記録を参照されたい。
- 11 史料の閲覧の際の連絡先は下記の通りである。

〒501-1193 岐阜市柳戸1番1 岐阜大学教育学部 庶務係

\* 史料などの閲覧は、事前予約で対応。詳細は、上記係まで。



# 解 題

## I-I 安八郡浅草東村大橋家文書について

岐阜大学教育学部郷土博物館（以下、郷土博物館と表記）収蔵の美濃国<sup>あんぼち</sup>安八郡浅草東村大橋家文書とは18世紀後半から19世紀後半にかけての史料を中心とした浅草東村（現、大垣市）の庄屋を勤めた家の史料である。ただし、この中には浅草東村大橋家文書だけではなく、安八郡<sup>みなみじない</sup>南寺内村（現、大垣市）、<sup>たき</sup>多芸郡大場村（現、養老町）に関係する史料も多数混在している（以後、南寺内村関係史料は「南寺内村文書」、大場村関係史料は「大場村文書」と表記）。大橋家文書は、1952年の段階で岐阜大学学芸学部（現在の教育学部）史学研究室に353冊が保管されており、その時点で大場村文書はすでに混入していたと思われる。また、南寺内村文書の場合は、大橋家文書の保管・整理の過程で紛れ込んでしまった可能性が高いが、詳細は不明である。これらすべてを合わせた史料の総点数（綴の中の史料も1点と数える）は、777点を数える（欠番や所在不明史料は除外）。

この文書は、つとに1948年発足の近世庶民史料調査委員会が行った全国的な史料調査によって、所在が確認された。概要については近世庶民史料調査委員会編『近世庶民史料所在目録 第三輯』（1955年、日本学術振興会）に記されており、その内容は以下の通りである。

### 中部一六八三

所蔵者 岐阜市長良町 岐阜大学学芸学部史学研究室 保管  
旧地名 美濃国安八郡浅草東村（大垣藩）  
数量 公三五〇冊 私三冊  
年代 正保三年—大正三年 主として江戸後期  
内容 旧浅草東村庄屋大橋氏文書。本村開発直後の正保検地帳を初めとする農地・貢租書類、及び制規・戸口・村入用以下の村政、並びに水利・土木関係の史料が大部分で、他に通船・運輸、農林業、金融等に関する記録がある。

郷土博物館には近世庶民史料調査関係書類も残されており、「昭和廿七年度 採訪庶民史料所在目録調査」（博物館図書資料室諸資料 A-3-103）に記載された大橋家文書の関係部分も参考までに掲げておく。

### 近世庶民史料所在目録調査

原所蔵者	浅草東村庄屋大橋莊八			
所在地	岐阜市長良	所蔵者	岐阜大学学芸学部史学研究室	所蔵関係 所蔵
旧地名	美濃国安八郡浅草東		旧支配 大垣藩	
数量	三六三冊（公三六〇冊・私三冊）			
年代	正保三年より大正三年まで		主として 江戸後末	
内容	正保検地帳を初とするが専ら後期に属する。土地・村・租税・土木・農業・運輸・宗教に関するものが多い。開発初期からの記録がのこるらしい。			
利用	未利用		保存状況	可

調査月日 昭和二十七年八月七日

担当委員 阿部栄之助 (印)

調査員 松本平治 (印)

浅草東村大橋家文書の目録は、『岐阜大学教育学部 庶民史料目録 (2)』(1968年)として刊行された。その時の整理の概要は、以下の通りである。

### 凡 例

1. 本目録には、次の10種の文書が収載されている。これらは戦後の混乱に近世庶民史料が一時に散逸するのをおしんで、当学部が相ついで購入したものである。(中略)  
大 橋 家 大垣市浅草 (中略)
2. 各文書の整理は、江戸と明治の2時代に大別し、江戸時代は次の分類を立てた。同一分類項目内はほぼ年代順に配列し、関係文書は一括することにつとめた。  
〔い〕 土 地 〔ろ〕 貢 租 〔は〕 村 政 〔に〕 村 経 済  
〔ほ〕 戸 口 〔へ〕 治水土木 〔と〕 災害・救恤 〔ち〕 交 通  
〔り〕 社寺・習俗 〔ぬ〕 個人雑事 〔る〕 金 融 〔お〕 雑
3. 明治時代文書は分類しないで一括し、大体年代順に配列し、文書には「明治」の印を押して江戸時代文書と区別してある。
4. 書状など未整理のものが、各文書とも相当数残されている。  
以上文書整理には史学研究室の岩田喜代子事務官の協力をえたが、余暇をみてのこととて、大まかな分類原則も乱れがちに終っている。(日置弥三郎)

この時の整理では、大橋家文書の総点数は764点となっており、6箱の段ボール製文書箱に収納された。1964年に岐阜大学長良キャンパス内に郷土博物館が建設・開館しており、史料は博物館に収蔵された。その後、大学移転に伴い、現在は柳戸キャンパス教育学部本館5階の郷土博物館収蔵室に保管されている。

郷土博物館保管の浅草東村大橋家文書の一部は、『大垣市史 資料編 近世二』(2010年)に翻刻が収載されている。ただし、史料の中には所在不明のものもある。

すでに目録は刊行されているが、さらに広範な利用に寄与するため、目録整備と史料保存を目的として、2012年から再整理を開始した。保存のために、史料を1点ずつ中性紙仕様の文書封筒へ収納し、段ボール製の文書箱から中性紙仕様の文書箱へ入れ替えを行った。今回の整理に当たり、史料番号は1968年刊行の目録の通りとしている。

### 現状記録

今回、中性紙仕様の文書箱に入れ替える前は、段ボール製文書箱6箱(蓋55.6×45.0×10.7cm、身:54.2×44.2×12.0cm)に入れられていた。詳細は次表の通りである。

箱 (箱書・収納史料)	一括状態
文書箱1 (段ボール製)	い6~10は紐一括
箱書「浅草東村 大橋文書(一) (い)土地 (ろ)貢租」 い1~10、ろ1~44	ろ1~6は紐一括
	ろ7~11は紐一括
	ろ12~17は紐一括
	ろ18~30は紐一括
	ろ31~44は紐一括
文書箱2 (段ボール製)	は1~40・59・62はビニール紐・紐一括

箱書「浅草東村 大橋文書(二) (は)村政 (に)村経済 (と)災害救恤 (ち)交通 (り)社寺 (る)金融」	は41～55は紐一括	
	に1～45はビニール紐一括	
	と1～3はビニール紐一括	
	ち1・る1はビニール紐一括	
	り1～5は紐一括	
は1～55・59・62、に1～45、と1～3 ち1、り1～5、る1～9	る2～9は紐一括	
文書箱3 (段ボール製) 箱書「浅草東村 大橋文書(三) (ほ)戸口」	ほ27～44はビニール紐一括	
	ほ51～109・111～121はビニール紐一括	
	ほ122～138・140～147・149・154・163・164・167～174はビニール紐一括	
	ほ110・177～179・181～190・199～206はビニール紐一括	
	ほ148・150～153・155～162・165・166・175・176・180・191～198はビニール紐一括	ほ148・150～153・155～162・165・166・175・176は紐一括
	ほ180・191～198は紐一括	
文書箱4 (段ボール製) 箱書「浅草東村 大橋文書(四) (へ)水利土木」	へ1～30はビニール紐一括	
	へ31～72・81はビニール紐一括	
	へ73～80はビニール紐一括	
へ1～81		
文書箱5 (段ボール製) 箱書「浅草東村 大橋文書(五) (ぬ)個人雑事」	ぬ1～31・139はビニール紐一括	
	ぬ32～38・140はビニール紐一括	
	ぬ39～44はビニール紐一括	
	ぬ45～50はビニール紐一括	
	ぬ51～60はビニール紐一括	
	ぬ61～68はビニール紐一括	
	ぬ69～77はビニール紐一括	
	ぬ78～83はビニール紐一括	
	ぬ84～89はビニール紐一括	
ぬ91～119・121～138はビニール紐一括		
文書箱6 (段ボール製) 箱書「浅草東村 大橋文書(六)止 (明治)」	明治1～13・15・166はビニール紐一括	
	明治14・16～20はビニール紐一括	
	明治21・23・25・26・29～44・167～169はビニール紐一括	
	明治22・24・27・28はビニール紐一括	
	明治45～50はビニール紐一括	
	明治68～150はビニール紐一括	明治68～69は紙紐一括、明治69-1に-2が挟みこまれていた
		明治71-1に-2が挟みこまれていた
		明治75-1に-2が挟みこまれていた
		明治76～78は紙紐一括
		明治79・95・133・134は紙紐一括
		明治80～89・101～105・135～139は紙紐一括、明治101～103・135は紙紐一括
		明治90・140はこより紐一括
		明治91・92・110・123～126・128～130・143～150はビニール紐一括
	明治98～100は紙紐一括	
	明治109・141・142はこより紐一括	
	明治111～119はこより紐一括	

本目録発行段階において所在不明の史料は、は56～は58・は60・は61・は63～は71・ほ139・ぬ120である。また、欠番は、ほ45～ほ50・ぬ90である。

## 浅草東村について

現在は、岐阜県大垣市の南部、水門川右岸に位置し、大垣輪中の南部にあたる（下記図、p.14の地図参照）。

安政2年（1855）の村明細帳によると、高辻は784石5斗7升、御留池が村前に1か所、氏神は神明宮で、堤に多度権現宮、寺は東本願寺宗行超寺があり、人数は318人、家数は69軒で、馬が2疋いたとされる（『大垣市史 資料編 近世二』解説三五）。明治5年（1872）の村明細帳（岐阜県歴史資料館所蔵）では、高は784石5斗7升（田高703石6斗9升5合・畑高40石5斗5升8合）で、家数は69軒あり、人数は325人（男162・女163）であった。

**支配・村高** 浅草東村は、浅草中村・浅草西村とともに正保2年（1645）に開發された地で、幕末まで大垣藩領であった。正保郷帳の釜笛村<sup>かまふえ</sup>の項では「外高式千百弍拾石 浅草新開」と見え、内訳は田方1807石、畑方313石とある（『岐阜県史 史料編 近世一』）。大橋家文書には、正保3年（1646）「濃州多芸郡浅草内東村検地帳」（い1）や、明暦3年（1657）「多芸郡浅草東村酉之歳より御見取高本高二入申御帳」（い2）が残されている（口絵参照）。その時の反別・石高は表1・表2の通りで、この石高の合計は739石7斗5升である。これは、貞享2年（1685）「大垣領村々高帳」に見える浅草東村の石高と同様である（『新修大垣市史 史料編』1968年）。

その後は、元禄14年（1701）「美濃国郷帳」（『明治大学刑事博物館資料 第10集』）では779石4斗4升3合、宝暦5年（1755）「大垣藩筋分け高附帳」（『新修大垣市史 史料編』）では741石1斗5升7合、天保5年（1834）「美濃国郷帳」（『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55巻 天保郷帳（一）』）では784石5斗7升とみえ、安政2年（1855）・明治5年（1872）村明細帳（岐阜県歴史資料館所蔵）でも、天保5年と同様の高であった。

**浅草輪中** 大垣輪中は複合輪中で、内郭には浅草輪中などの複数の輪中が含まれていた。浅草輪中には、浅草東村・浅草中村・浅草西村の浅草三郷、横曾根村、中島村（のち島里村に改称）、釜笛村<sup>かまふえ</sup>、内阿原村<sup>うちあはら</sup>、外渕村<sup>そぶつ</sup>、川口村などの村々が含まれていた。慶安3年（1650）、浅草三郷と外渕・内阿原・中島の6か村は、悪水を牧田川へ排水するため、南に位置した横曾根村の中に悪水排水路を掘っている。延宝3年（1675）には「浅草輪中年々深溜にて不作」により、浅草三郷・川口・外渕・内阿原・中島の7か村が横曾根村地内に悪水排水路を開削したため、横曾根村に井領米16石5斗5升9合を納めるように

表1 正保3年（1646）  
浅草内東村反別・分米表

反別	分米
上田39町6反1畝11歩	594石2斗1升5合
中田1町1反7畝10歩	15石2斗5升3合
下田4反4畝17歩	4石9斗0升2合
上畑3町2反7畝13歩	39石2斗9升2合
屋舗3町9反9畝17歩	47石9斗4升8合
合計48町5反0畝8歩	合計701石6斗1升0合

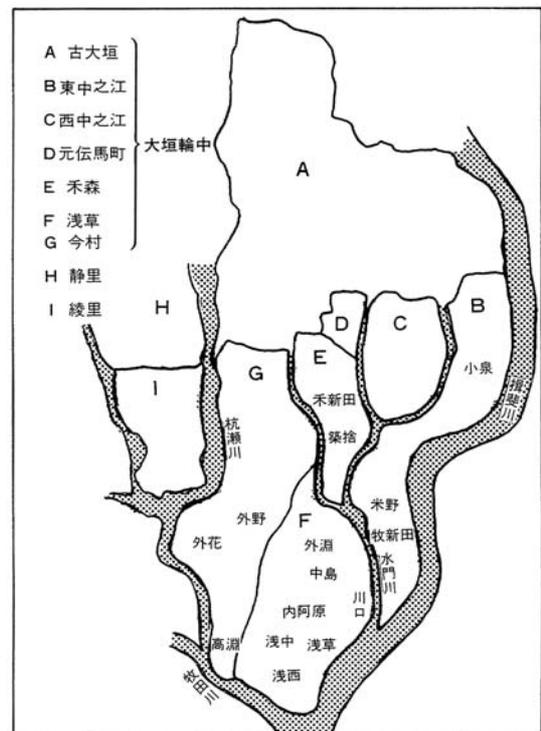
（浅草東村大橋家文書い1より作成）

表2 明暦3年（1657）  
浅草東村本高入反別・分米表

反別	分米
上田4反0畝11歩	6石0斗5升5合
中田2町0反4畝15歩	26石5斗8升5合
下田5反0畝0歩	5石5斗0升0合
合計2町9反4畝26歩	合計38石1斗4升0合

（浅草東村大橋家文書い2より作成）

大垣輪中と新田



（岐阜県博物館『特別展 輪中と治水』1990年より引用）

なった（『新修大垣市史 史料編』所収「九二 浅草輪中証文」 pp. 654～655）。その後、浅草三郷・横曾根・外測村の5か村は、「悪水落之儀、横曾根村・南船付村之間にて、牧田川え落来り候所、年々砂石馳出シ、川床高罷成、悪水必死と差支、年々水損仕候」として、安永5年（1776）に多良・笠松両役所へ伊尾川通伏越樋自普請を願い、翌年実施された（『新修大垣市史 史料編』所収「八六 伊尾川通伏越樋組合初中終願書類留控抄」 pp. 637～646）。これにより鶴森伏越樋が設置され、低湿な浅草輪中の排水は改善された（『新修大垣市史 通史編一』）。

戸口 寛文4年（1664）「浅草御新田筋村々家数人数御改御帳」（『大垣市史 資料編 近世二』 pp. 288～375）によれば、浅草東村の家数は44軒、人数は251人（男133・女118）とある。大橋家文書に残されている宗門改帳で最も古いものは、享保20年（1735）のもので、家数は41軒、人数は164人（男107・女57）、檀那寺として浅草東村の行超寺のほかに、中郷村智福寺、川口村浄光寺、難波野村専徳寺、浅草中村松林寺、福東村福満寺、本戸村正福寺と記されている（ほ1）。大橋家文書には享保20年（1735）から明治3年（1870）までの宗門御改帳が断片的に残されており、家数・人数の変遷は表3の通りである（ほ1～ほ44）。文化13年（1816）の宗門改帳では人数は345人と見え、享保年間のほぼ倍となるが、その後の増減はわずかである。

表3 浅草東村の家数・人数変遷表

年代	西暦	家数	人数	男	女	史料番号
享保20	1735	41	164	107	57	ほ1
寛政11	1799	53	258	143	115	ほ4
文化13	1816	61	345	181	164	ほ9
文化14	1817	61	354	183	171	ほ12
文政4	1821	66	363	195	168	ほ16
文政8	1825	69	345	189	156	ほ21
文政10	1827	70	349	186	163	ほ26
嘉永5	1852	75	317	160	157	ほ41
嘉永6	1853	74	319	162	157	ほ41
元治元	1864	74	360	179	181	ほ33
元治2	1865	74	358	178	180	ほ36・ほ42
慶応2	1866	75	358	177	181	ほ37・ほ42
慶応4	1868	74	352	178	174	ほ39

## 大橋家について

大橋家は幕末に、浅草東村の名主を勤めた家である。大橋家文書の中では、嘉永6年（1853）「家数人数増減御改帳」（ほ41）に記された名主の1人として「富五郎」の名が見えるのが、村役人としての初出である。この時の名主としては、「兵平、見名右衛門、富五郎、市左衛門」の4人がいた。浅草東村の名主は、大橋家文書中において、正保3年（1646）から文政10年（1827）までは1人であり、嘉永6年（1853）以降は複数の名主（4人、または2人）がいたことが確認できる。庄屋としての「富五郎」の名は、嘉永6年から明治3年（1870）までうかがえる。

大橋富五郎は、嘉永6年（1853）の宗門改帳にあらわれ、母（77歳）・富五郎（40歳）・女房（37歳）の3人で、檀那寺は浅草東村の東本願寺宗行超寺であった（ほ29）。安政4年（1857）の宗門改帳では持高も記載されており、大橋富五郎の持高は19石2斗4升2合であった。家族構成としては母（81歳）・富五郎（44歳、付箋には「五拾壹歳」とあり）・女房（41歳）がおり、付箋で養女（14歳）と下男2人・下女1人とが追加されている（ほ30）。その後、元治2年（1865）の持高は23石1斗3升4合（付箋には29石7斗とあり）で、家族構成として養子（21歳）・孫女子（2歳）が加わっている（ほ34）。明治3年（1870）の持高は23石2斗7升7合で、農業の他「作間酒造稼」と見える（ほ40）。大橋家文書中には、明治14～19年（1881～1886）の「酒類造石検査簿」などの史料があり、明治10年代も酒造業を行っていた（明治46～明治50）。

## 安八郡浅草東村大橋家文書の概要

浅草東村大橋家文書は、現状において『岐阜大学教育学部 庶民史料目録（2）』（1968年）の通りに配架されており、整理にあたってはその配列を踏襲した。浅草東村大橋家文書と、南寺内村文書、大場村文書の史料群はすでに前目録の通りに配架されており、文書群の区別は困難となっている。ご容赦願いたい。

## 【い】「土 地」

浅草東村開発直後の正保3年(1646)の検地帳が、浅草東村文書の中で最も古いものである(い1)。明暦3年(1657)「多芸郡浅草東村酉之歳より御見取高本高二入申御帳」(い2)、明和5年(1768)「浅草東村畑田直人別帳」(い3)や、明和8年(1771)「浅草東村新掘田竿入帳」(い4)などは新田開発の一端がうかがえる史料である。

## 【ろ】「貢 租」

浅草東村の安政年間から明治初期の「御年貢米諸上納物御免割人別引入帳」や「年貢振米帳」といった帳簿などが残されている(ろ1~17)。慶応2年(1866)の「寅春浅草東村横曾根境堤大豆植付御年貢割符内折大豆御冥加割符帳」(ろ20)から、浅草東村・横曾根村との境堤で大豆を植え付けていたことが読み取れる。

## 【は】「村 政」

「安永年間万覚帳」(は1)は、安永年間の伊尾川通伏越自普請の経過や、浅草東村の凶作などの記録をまとめたものであり、『大垣市史 資料編 近世二』に翻刻(抄出)が掲載されている(pp.504~514)。文久2年(1862)「御用御触留并諸願写」(は5)は、大橋富五郎が名主を勤めている時のもので、村内での火事の報告や各堤の目論見覚など様々な事項が記されている。浅草東村の村役人の継目に関する史料なども残されている(は8・は9・は25・は36・は37・は39・は40)。明和7年(1770)「相互諸事申合之覚」(は12)は浅草東村が困窮のため借金をした際に作成されたもので、『大垣市史 資料編 近世二』に翻刻が掲載されている(pp.502~503)。

## 【に】「村 経 済」

伏越樋諸入用の割当に関する帳簿などが残されている(に1~に7)。安政2年(1855)以降から明治2年(1869)「年内諸入用割符帳」(に10~に18)があり、大橋富五郎が名主役であった時期と重なっている。

## 【ほ】「戸 口」

享保20年(1735)「美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳」(ほ1)は、大橋家文書に残されている一番古い宗門改帳である。当初は宗派ごとではなく1冊でまとめられていたが、寛政期以降のものは宗派別(東本願寺・西本願寺・浄土宗)に分冊されている(ほ2~ほ40)。

## 【へ】「治水土木」

安永6年(1777)、鶴森伏越樋普請が行われた際の「代金渡方帳」などが残されている(へ1~へ3)。文化12年(1815)から文政2年(1819)にかけての鶴森伏越樋普請の諸入用帳や割賦帳などがまとまっている(へ4~へ40)。

## 【と】「災害・救恤」・【ち】「交 通」・【ぬ】「個人雑事」・【る】「金 融」

慶応4年(1868)「浅草東村入水二付御救金人別割符帳」(と3)など、幕末期の御救いに関する史料が残されている。戊辰「美江寺助郷御入用帳」(ち1)や、寛政12年(1800)や天保14年(1843)などの「金銀出入覚帳」(ぬ39・ぬ43・ぬ44)、嘉永4年(1851)の「浅草東村御講人別名前帳」(る1)などもある。

## 【明治】「明 治」

明治6年(1873)以降の土地売買証文や借入金証券、小作証文などの証書類が多く残されている。ほかに、浅草三郷田場の囲桁が破損したため、その普請に関わる史料(明治1・明治2・明治53)や、大橋家の酒造業に関わる「酒類造石検査簿」などの史料が残されている(明治46~明治50)。また、明治21年(1888)の有志者が巡査の在勤所を提供するという請願書が作成されている(明治136)。それは、浅草輪中の村々が、大垣警察直轄の南端で距離があるため、明治19年(1886)に1名の巡査仕宿所が仮設されたが、すぐ廃止となったため作成された請願である。さらに、理由は不詳であるが、浅草中村関係の絵図面が何点か残されている

(明治151・明治154～明治156・明治159・明治162・明治163・明治165)。

## I-II 安八郡南寺内村文書について

浅草東村大橋家文書中に、安八郡南寺内村に関わる史料が含まれている。そのため、南寺内村文書と推定できたものは、目録「推定」の欄に「南」と記した。その点数は292点で、すべて一紙物である。年代が確認できる範囲として、明和6年(1769)から明治28年(1895)までの史料があり、19世紀の史料が大半となっている。内容としては、送り証文や寺手形などの戸口関係の史料が多くを占めている。

南寺内村は現在の大垣市内の中央部にあたり、水門川左岸に位置している(p.14の地図参照)。大垣城下の南に接した村方で、大垣藩領であった。慶長郷帳によると「南寺村」と見え、高は205石5斗であり、正保郷帳では、「南寺内村」となり、高は170石6斗4合(田方167石5斗6升4合、畠方3石4升)であった(『岐阜県史 史料編 近世一』)。貞享2年(1685)「大垣領村々高帳」(『新修大垣市史 史料編』)では211石9斗6升、元禄14年(1701)「美濃国郷帳」(『明治大学刑事博物館資料 第10集』)では170石6斗4合、宝暦5年(1755)「大垣藩筋分け高附帳」(『新修大垣市史 史料編』)では216石2斗7升2合、天保5年(1834)「美濃国郷帳」(『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55巻 天保郷帳(一)』)では216石4斗7升6合であった。

明治5年(1872)の村明細帳(岐阜県歴史資料館所蔵)によると、村高は216石4斗7升6合(田160石6斗8升6合・畑8石8斗3升7合)、神社は神明宮で、寺院は一向宗高田派善教寺、禅宗臨濟宗大悲院であった。家数は235軒で、人数は800人(男406・女394)と記されている。

この史料群は、南寺内村の庄屋を勤めた成田家由来の史料と思われる。どのような経緯で岐阜大学に収蔵されたのかは未詳であるが、おそらく業者からの購入の可能性が高いであろう。浅草東村大橋家文書とは全く別の文書群であったものが、保管・整理している間に浅草東村文書に混入していったという可能性も想定される。

### 安八郡南寺内村文書の概要

#### 【ろ】「貢 租」

文化8年(1811)・文化10年(1813)・文政元年(1818)・文政8年(1825)の「南寺内村高御差出之覚」や「禾出作高御差出覚」などが残されている(ろ33・ろ36～ろ38・ろ40)。

#### 【は】「村 政」

凶作による定免願(は17)や、立毛悪しき場所の苅揚願(は22・は23)などの様々な願書が残されている(は16・は21・は27・は28)。また、南寺内村は、城下に隣接する立地から帳外者が多かったようで、帳外者を置かないようにとの達し(は19)や、その旨の請書などが多数ある(は31・は41～は55)。慶應3年(1867)の「一札組合之事」(は35)は、同年5月に大垣で許可された茶汲女の店に銘々の俸どもが立ち寄ることを承知したもので、『大垣市史 資料編 近世二』に翻刻が掲載されている(p.516)。

#### 【ほ】「戸 口」

南寺内村文書で多数あるものが、送り証文や寺手形、引越し願いなど戸口関連のものである(口絵参照)。大垣周辺の各村々から南寺内村の空き家を買受れたり、中間奉公や掛人として南寺内村へ引越しする人々が数多くいたことが見てとれる。この詳細については、表4を参照されたい。南寺内村文書として確認できる史料の中で、もっとも古いものが明和6年(1769)の送り証文で、大垣城下竹島町在住の市右衛門一家5人が、南寺内村の引得屋敷を借受ける旨が記されている(ほ51)。文政8年(1825)「御請状之事」(ほ140)は、安八郡大垣善教寺門前貸家に在住していた又四郎一家6人が、南寺内村へ引越しの際に身元確認として作成されたもので、『大垣市史 資料編 近世二』に翻刻が掲載されている(pp.515～516)。

表4 南寺内村を中心とした人の移動

No.	年代	西暦	移動事例	史料番号
1	明和六己丑年十二月	1769	大垣竹島町(大垣市)市右衛門・女房・男子・女子都合5人→南寺内村の引得屋敷借請け引越し	ほ51
2	安永五丙申年十二月	1776	安八郡楽田村(大垣市)庄兵衛・妹・男子・女子都合5人→南寺内村の市郎兵衛引得屋敷に引越し	ほ123
3	天明元辛丑年五月	1781	本巢郡軽海村(本巢市)治助→南寺内村へ引越し	ほ52
4	天明五年	1785	不破郡久徳村(大垣市)与三兵衛後家倅文吉→南寺内村の与右衛門方養子へ	ほ124
5	文化元甲子年三月日	1804	南寺内村無高百姓忠三郎・父・女房・娘→俵町(大垣市)幸三郎へ貸置く扣屋取戻し引越し	ほ178
6	文化五戊辰年八月	1808	多芸郡小倉村(養老町)孫右衛門・女房都合2人→南寺内村へ引越し	ほ53・ほ86
7	文化九壬申年二月	1812	安八郡築捨村(大垣市)喜三郎→南寺内村へ	ほ87
8	文化九壬申年七月	1812	池田郡西村(揖斐川町)佐兵衛→南寺内村空家買請けへ引越し	ほ54
9	文化九壬申年十月	1812	安八郡狐穴村(羽島市)卯蔵・女房都合2人→南寺内村へ	ほ88・ほ89
10	文化十癸酉年二月	1813	多芸郡大野村(養老町)定蔵・女房・女子都合3人→南寺内村へ	ほ90
11	文化十癸酉年六月	1813	安八郡下大樽新田(輪之内町)甚蔵・男子・女子都合3人→南寺内村空家借請け引越し	ほ55
12	文化十癸酉年九月	1813	厚見郡高桑村(岐阜市)藤左衛門・女房・女子都合3人→南寺内村空家借請け引越し	ほ56
13	文化十癸酉年十月	1813	安八郡神戸村(神戸町)伊三郎→南寺内村へ	ほ91
14	文化十一甲戌年六月	1814	安八郡福東村(輪之内町)重之助→南寺内村与三次引得屋敷借請け引越し	ほ125
15	文化十一甲戌年十一月	1814	安八郡大森村(安八町)菊蔵→南寺内村へ	ほ92
16	文化十一甲戌年十一月	1814	多芸郡下笠村(養老町)繁蔵→南寺内村へ	ほ93
17	文化十二乙亥年二月	1815	池田郡草深村(池田町)岩蔵→南寺内村へ引越し	ほ126
18	文化十四丁丑年六月	1817	南寺内村三四郎→俵町(大垣市)へ引越し→南寺内村へ引越し	ほ57
19	文化十四丁丑年十月	1817	南寺内村代八兄弟→俵町(大垣市)へ引越し→病身にて南寺内村へ差し戻り	ほ182
20	文化十四丁丑年十一月	1817	安八郡大垣新町(大垣市)喜蔵・男子・女子都合3人→南寺内村へ	ほ94
21	文政元戊寅年五月	1818	安八郡大垣新町(大垣市)医師柳燐・女房・女子都合3人→南寺内村へ	ほ95
22	文政元戊寅年十一月	1818	安八郡大垣船町(大垣市)在住の源七・女房・男子・女子都合6人→南寺内村へ引越し	ほ58・ほ96・ほ128
23	文政二己卯年五月	1819	安八郡南今ヶ淵村(安八町)無高百姓源吾・女房→南寺内村へ引越し→病身にて南今ヶ淵村へ	ほ183
24	文政二己卯年九月	1819	安八郡牧村(安八町)太八・女房・男子都合4人→南寺内村空家借請け引越し	ほ59
25	文政二己卯年十二月	1819	多芸郡小倉村(養老町)丹次→南寺内村へ引越し	ほ60・ほ98
26	文政二己卯年十二月	1819	安八郡北今ヶ淵村(安八町)多四郎・女房・男子都合3人→南寺内村へ	ほ97
27	文政四辛巳年十一月	1821	池田郡片山(池田町)文三郎・女房・男子・女子都合5人→南寺内村へ引越し	ほ130
28	文政五壬午年三月	1822	大野郡呂久村(瑞穂市)平次→南寺内村へ	ほ99
29	文政六癸未年四月	1823	安八郡外野村(大垣市)重郎次三男勘七→南寺内村へ養子へ→不縁にて外野村へ	ほ184
30	文政六癸未年六月	1823	南寺内村無高百姓佐兵衛・女房都合2人→安八郡牧村(安八町)藤蔵由緒あるにて佐兵衛ら2人、藤蔵懸人へ	ほ185
31	文政六癸未年十一月	1823	多芸郡栗笠村(養老町)惣兵衛・母都合2人→南寺内村へ	ほ101
32	文政六癸未年十一月	1823	不破郡笠毛村(大垣市)百姓休内・女房・男子・女子都合4人→南寺内村へ引越し	ほ100・ほ132
33	文政七甲申年閏八月	1824	安八郡平村(大垣市)伝八→南寺内村空家借請け引越し	ほ61
34	文政八年酉四月	1825	近江国坂田郡中多羅村(米原市)津右衛門・女房・男子都合4人→寺内村へ引越し	ほ133
35	文政八乙酉年五月	1825	石津郡駒野新田(海津市)平治・女房・男子・女子都合4人→南寺内村へ	ほ102
36	文政八乙酉年六月	1825	安八郡柳瀬村(神戸町)利助→南寺内村空家借請け引越し	ほ62・ほ104・ほ134
37	文政八乙酉年六月	1825	安八郡長沢村(大垣市)善弥→南寺内村へ	ほ103
38	文政八乙酉年七月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸家在住の常八・女房・男子・女子都合5人→南寺内村空家買請け引越し	ほ63・ほ105・ほ135
39	文政八乙酉年七月～八月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸家在住の甚助→南寺内村へ引越し	ほ106・ほ138

No.	年代	西暦	移動事例	史料番号
40	文政八乙酉年八月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸屋在住の周助・女房・男子・女子都合4人→南寺内村へ引越し	ほ64・ほ107・ほ137
41	文政八乙酉年八月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺貸屋在住の吉蔵・女房・男子・女子都合4人→南寺内村へ	ほ108
42	文政八乙酉年八月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸家在住の惣兵衛・女房・女子都合4人→南寺内村へ引越し	ほ136
43	文政八乙酉年九月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸屋在中の宇兵衛・女房・女子都合3人→南寺内村の空家買請け引越し	ほ65・ほ109
44	文政八乙酉年九月	1825	安八郡大垣(大垣市)善教寺門前貸屋在住の又四郎・女房・男子・女子都合6人→南寺内村へ引越し	ほ66・ほ140
45	文政八乙酉年	1825	安八郡林本郷村(大垣市)出屋敷在住の惣太郎・岩吉都合2人→南寺内村へ引越し	ほ141
46	文政九丙戌年六月	1826	安八郡牧村(安八町)市兵衛・女房都合2人→南寺内村与七引得屋敷の空家買請け引越し	ほ67・ほ142・ほ188
47	文政九丙戌年六月日	1826	安八郡室村(大垣市)勝右衛門娘→南寺内村伊三郎方へ縁付	ほ110
48	文政九丙戌年九月	1826	池田郡宮地村(池田町)八百蔵・女房・男子・女子都合4人→南寺内村の空家買請け引越し	ほ68・ほ111
49	文政九丙戌年十一月	1826	安八郡高屋村(大垣市)休蔵・女房・男子都合3人→南寺内村へ引越し	ほ69・ほ112・ほ143 (口絵参照)
50	文政十三庚寅年十二月	1830	南寺内村無高百姓茂八後家→尾州名古屋袋町(名古屋市)藤蔵由緒あるにて後家・男子・女子都合5人、藤蔵方へ引越し	ほ190
51	天保八丁酉年正月	1837	池田郡溝尻村(揖斐川町)卯助→矢部翁助殿組中間奉公勤めにて南寺内村の空家買請け引越し	ほ70・ほ147
52	天保十五甲辰年五月	1844	不破郡若森村(大垣市)武蔵→南寺内村名主四五右衛門の養子へ	ほ71・ほ113
53	嘉永七甲寅年四月	1854	安八郡下開発村(大垣市)左蔵→南寺内村助蔵方懸人へ	ほ72・ほ114
54	安政四丁巳年八月	1857	大垣船町(大垣市)武八貸屋在住の勇蔵→寺内村へ引越し	ほ73
55	安政五戊午年四月	1858	安八郡牧村(安八町)栄次郎→南寺内村兵吉方へ懸人になり引越し	ほ74
56	安政五年午四月	1858	厚見郡江崎村(岐阜市)小右衛門娘こと→南寺内村弥七方へ縁付け	ほ75
57	安政五戊午年四月	1858	安八郡牧村(安八町)常次→南寺内村へ	ほ115
58	安政六戊己未年二月	1859	安八郡大垣竹嶋町(大垣市)森太兵衛貸屋みえ儀・男子・女子都合5人→南寺内村へ	ほ117
59	万延元庚申年四月	1860	羽栗郡本郷村(羽島市)栄吉→南寺内村の空家借請け引越し	ほ76・ほ116
60	万延元庚申年四月	1860	石津郡高須大工町(海津市)石屋和吉→南寺内村忠右衛門由緒あるにて掛人になり引越し	ほ77・ほ118・ほ199
61	文久元辛酉年六月	1861	安八郡牧村(安八町)喜平→傍嶋丑蔵組下中間に召抱えにつき南寺内村へ	ほ168
62	文久二壬戌年十一月	1862	羽栗郡笠松村(笠松町)安兵衛・母・女房都合3人→南寺内村加兵衛引得屋敷の空家買請け引越し	ほ78・ほ119・ほ200
63	元治二乙丑年二月	1865	安八郡墨俣村(大垣市)金三郎・女房・男子・女子都合8人→南寺内村加兵衛引得屋敷の空家買請け引越し	ほ80・ほ120・ほ201
64	慶応三丁卯年四月	1867	船町(大垣市)喜六妹たつ→南寺内村安吉方へ縁付け	ほ81
65	慶応四戊辰年閏四月	1868	安八郡大垣田町(大垣市)善教寺貸屋御伝馬長屋岩吉・女房・男子・女子都合6人→南寺内村へ	ほ121
66	慶応四戊辰年七月	1868	安八郡北方村(大垣市)善三郎・父・女房都合3人→南寺内村方伝吉由緒あるにて懸人になり引越し	ほ83・ほ122・ほ203
67	慶応四戊辰年九月	1868	南寺内村国次倅健次→新町(大垣市)浄専寺貸屋借請け引越し	ほ204
68	明治元戊辰年十月	1868	大垣船町(大垣市)時太郎貸屋仙助・女房都合2人→南寺内村太助方由緒あるにて仙助ら2人掛人として同居へ	ほ170・ほ171・ぬ122
69	明治二己巳年三月	1869	羽栗郡本郷村(羽島市)丈助・女房・子都合3人→南寺内村の貸家へ引越し	ほ84
70	明治三庚午年八月	1870	中嶋郡新井村(羽島市)庄屋弟半助→南寺内村加兵衛方へ懸人へ	ほ85
71	明治四辛未年六月	1871	南寺内村柳作懸人甚蔵→安八郡久瀬川(大垣市)村勝治分引得貸屋を借り受け引越し	明治56
72	明治四辛未年六月	1871	南寺内村喜八懸人庄七→大垣俵町(大垣市)木村さく貸屋借り受け	明治57
73	明治四辛未年六月	1871	南寺内村林治娘さき→安八郡宮村(大垣市)永井藤左衛門方へ縁付け	明治58
74	明治四辛未年十月	1871	南寺内村惣助ら2人→大阪府管内摂州西成郡曾根崎村(大阪市)綿屋小兵衛貸屋借受け引越し	明治62

※ 史料から、年代・地名が確認可能なもののみ掲載した。また、移動事例の地名は、史料表記のままとした。

### 【り】「社 寺」

南寺内村にあった喜宝院や神明宮の跡目に関する願書などが残されている（り1～り3）。

### 【ぬ】「個人雑事」

文化年間以降、代官役所宛てに出された様々な願書などが多数ある。文化9年（1812）「乍恐以書付奉願上候」（ぬ91）では、南寺内村百姓常右衛門が病身で百姓の相続が難しいとして、与三治の控田地を借受け家作して作間稼ぎに洗湯の営業を願ひ出ている（『大垣市史 資料編 近世二』 pp.514～515）。ほかにも薬湯の箱風呂の人数を増やしたいので冥加金の増金願ひや、作間稼ぎとして大工職願ひ、城下辺在町への日雇い働きのため逗留用として南寺内村の小屋の借用願ひなどの願書などもある（ぬ98・ぬ125・ぬ111）。

### 【る】「金 融」

文化期以降の年貢金の借入金証文や質地証文などが残されている（る4～る6）。

### 【明治】「明 治」

瀬戸物売買や古鋏道具商売願などの願書（明治56・明治57）や、人別送り状（明治60・明治61）などが残されている。また、南寺内村で庄屋を勤めていた成田家に関わる史料、借入金証券、奉公人請状証券なども多くある。

## I-III 多芸郡大場村文書について

浅草東村大橋家文書中に、多芸郡大場村に関わる史料が含まれている。そのため、大場村文書と推定できたものは、目録の「推定」の欄に「大」と記した。その点数は91点で、すべて横長の帳簿である。年代としては、文化4年（1807）～大正3年（1914）までのものがあり、19世紀の史料が大部分を占める。内容としては、人別に金銭を書き付けた帳簿類（「船トコ書出シ帳」「船床小前書出シ帳」「船一通覚帳」など）が多い。

大場村は現在の養老郡養老町の南東部に位置し、揖斐川右岸の低湿地にある（p.14の地図参照）。慶長郷帳では「大葉村」とみえ、高は47石3斗5升で、徳永昌重領（高須藩領）であった。元和2年（1616）「美濃国村高御領知改帳」でも同様の支配・村高で、正保郷帳では「大場村」と記され、高は506石5斗5合（田方309石4斗8升4合、畑方197石2升1合）であった。そのうちの、459石1斗5升5合は新開地と記されている（『岐阜県史 史料編 近世一』）。元禄14年（1701）「美濃国郷帳」（『明治大学刑事博物館資料 第10集』）では、大場村の高は正保郷帳と同じで、同所新田の高は74石9斗1升8合あり、ともに「御預所」とみえる。天保5年（1834）「美濃国郷帳」（『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55巻 天保郷帳（一）』）においては、大場村の高は68石4斗8升、大場新田の高は474石6斗4升と記されている。明治14年（1881）の町村略誌によると戸数41戸で人数213人（男101・女112）、神社は八幡神社で、寺院は東本願寺派の西運寺であった。また、民有船舶の項目に、「三間三尺農業船五十壹艘」と記されている（『養老町史 史料編下』）。

この史料群は、1952年に岐阜大学学芸学部（現在の教育学部）が浅草東村大橋家文書を保管する時点で、すでに混入していたと思われる。大場村文書は、もともと大橋家文書の中に含まれていたのか、そうではないのか、詳細は不明である。

### 多芸郡大場村文書の概要

#### 【ろ】「貢 租」

年未詳の「年貢米人別免割帳」が残されている（ろ26）。

#### 【ぬ】「個人雑事」

文化4年（1807）から嘉永7年（1854）にかけての、人別に金銭や船数などを書き付けた「船トコ書出シ

帳」や「船床小前書出シ帳」「船一通覚帳」といった帳簿類がまとまって残されている（ぬ1～ぬ38・ぬ41・ぬ42・ぬ45～ぬ77・ぬ87・ぬ139・ぬ140）。この中の文化4年（1807）「卯船トコ請取覚帳」（ぬ1）が、大場村文書でもっとも古い史料である。また、嘉永4年（1851）から明治6年（1873）にかけての「田畑掟小前年貢帳」もある（ぬ78～ぬ83）。

【明治】「明治」

明治7年（1874）や明治21年（1888）の大場村・同新田・有尾村・根古地村・同新田・下笠村などの「御年貢諸役年々割符附込勘定書付帳」が残されている（明治7・明治22）。明治36年（1903）・大正3年（1914）の「田畑掟小前年貢帳」もある（明治35・明治36）。

## II 石津郡乙坂村文書について

郷土博物館収蔵の美濃国石津郡乙坂村文書とは、17世紀後半から18世紀半ばにかけての乙坂村（現、大垣市）の史料である。そのほとんどが、乙坂村の庄屋を勤めた佐藤家の史料と思われる。佐藤家文書は、『岐阜県立図書館 郷土資料目録 第8集 家分文書』（1972年）に目録が収録されており、現在は岐阜県歴史資料館に1965点が保管されている。この目録には、郷土博物館収蔵の文書も利用の便のために掲載されている。郷土博物館収蔵の乙坂家文書の総点数は現時点で226点を数える（欠番は除外）。

乙坂村文書の目録は、『岐阜大学教育学部 庶民史料目録（2）』（1968年）として刊行されている。その時の整理の概要は、既出の浅草東村大橋家文書（p.2）と同様であるので、そちらを参照されたい。この時点での整理において乙坂村文書の総点数は166点とあり、2箱の段ボール製文書箱に収納された。1964年に岐阜大学長良キャンパス内に郷土博物館が建設・開館したため、史料は博物館に収蔵された。その後、大学移転に伴い、現在は柳戸キャンパス教育学部本館5階の郷土博物館収蔵室で保管されている。2箱の段ボール製文書箱は、のちに松田之利氏（当時、岐阜大学教養部）により、ブリキ製文書箱への入れ替えが行われた。

今回の整理にあたり郷土博物館収蔵庫内で、これまでの目録に記載の無い乙坂村文書59点を確認した。それらはブリキ製文書箱1箱に収納され、史料自体に「乙坂村」と印が押され、番号も付番されていた。この中には、「不破郡市野尾村五人組手形帳」3点（現、垂井町）が含まれているが、これは乙坂村文書の整理時に紛れ込んでしまった可能性が高いと思われる。また、乙坂村西隣の牧田村に関係する史料も散見されるが、乙坂村文書にもともと入っていたものか、混入したものなのかは明確ではない。

慶安元年（1648）「乙坂村免割帳」（ろ1）、貞享2年（1685）「丑年乙坂村免割帳」（ろ32）は、『岐阜県史 史料編 近世四』に翻刻が収録されている。ただし、同巻収録の寛文12年（1672）「乙坂村居屋敷御改帳」、「家並御改帳」はともに岐阜大学郷土博物館所蔵となっているが、現在所在不明である。

すでに目録は刊行されているが、上記のように未公開史料が多数存在する事情もあり、さらに広範な利用に寄与するため、目録の整備と史料保存を目的として、2012年から再整理を開始した。保存のために、史料を1点ずつ中性紙仕様の文書封筒へ収納し、ブリキ製の文書箱から中性紙仕様の文書箱へ入れ替えを行った。今回の整理に当たり、史料番号は1968年刊行の目録の通りとしている。また、新出史料に関しては、史料に付番されている番号通りとした。

現状記録

箱(箱書・収納史料)	一括状態
文書箱1(ブリキ製)	い1～18はビニール紐一括
「乙坂村文書(一)」 い1～18・ろ1～64	ろ1～39はビニール紐一括
	ろ40～64はビニール紐一括
文書箱2(ブリキ製) 「乙坂村文書(二)」 ろ65～130・は1～18	ろ65～96はビニール紐一括
	ろ97～130はビニール紐一括
文書箱3(ブリキ製)  ※箱書き無し に1～38・ほ4～8 る1・お1～13・未 1	お1～13は紐一括
	に1～13は紐一括
	に32～38は紐一括
	ほ4～8はビニール紐一括

## 現状記録

中性紙仕様の文書箱に入れ替え前は、ブリキ製文書箱3箱（蓋54.4×44.6×7.8cm、身：53.6×44.0×12.0cm）に入れられていた。詳細は前頁下段の表の通りである。

本目録発行段階において、欠番は、ほ1～ほ3である。

## 乙坂村について

現在は、岐阜県大垣市の西部（旧上石津町北部）で、牧田川の左岸に位置している（p. 14の地図参照）。西には牧田村、牧田川を挟んで南には沢田村があり、当初は沢田村の枝郷であった。

明和元年（1764）の村明細帳によると、高辻は169石9斗4升5合、氏神は八幡社と天王社で、寺は禅宗安楽寺であった（岐阜県歴史資料館所蔵）。

**支配・村高** 乙坂村は沢田村から分村した村で、正保郷帳では大垣藩領で175石3斗8升（田方158石5斗8升・畑方16石8斗）と見える（『岐阜県史 史料編 近世一』）。乙坂村文書の慶安元年（1648）の検地帳や免割帳によると、高は154石9斗4升1合で、物成は92石7斗3升3合であった（い1・い2・ろ1）。慶安元年（1648）の検地帳の詳細は、表5の通りである。貞享2年（1685）「大垣領村々高帳」では、高169石9斗4升5合であった（『新修大垣市史 史料編』）。元禄14年（1701）「美濃国郷帳」（『明治大学刑事博物館資料 第10集』）では175石3斗8升、宝暦5年（1755）「大垣藩筋分け高附帳」（『新修大垣市史 史料編』）では169石9斗4升5合、天保5年（1834）「美濃国郷帳」（『内閣文庫所蔵史籍叢刊 第55巻 天保郷帳（一）』）では190石9斗3升1合とみえ、明治5年（1872）村明細帳（岐阜県歴史資料館所蔵）でも同様の高であった。

**戸口** 乙坂村文書の慶安元年（1648）免割帳（ろ1）によると高持百姓は6人であった。明和元年（1764）の村明細帳（岐阜県歴史資料館所蔵）では、家数は25軒、人数は103人（男52・女51）であり、明治5年（1872）の村明細帳では家数は27軒、人数は162人（男76・女85）であった。

## 石津郡乙坂村文書の概要

乙坂村文書は、現状において『岐阜大学教育学部 庶民史料目録(2)』（1968年）の通りに配架されており、整理にあたってはその配列を踏襲した。追加で確認された史料については、史料に記された番号通りに配架した。

### 【い】「土地」

慶安から延宝年間の検地帳が残されており、慶安元年（1648）「石津郡乙坂村御検地帳」（い1）・「石津郡乙坂村御検地畑方帳」（い2）が乙坂村文書の中でもっとも古い史料で、その内容は表5に示している。

### 【ろ】「貢 租」

この文書の中心となっているのが、17世紀後半の免割帳などの貢租関係史料である（ろ1～ろ130）。寛文年間「御免割并村割符帳」では、物成・免割・種賃付米・夫役米、そのほかすべての村入用米について、惣百姓全員と「拾村与庄や衆」が共に立合い、明細に吟味し互いに合点し相対の上で村人の高に応じて割符する旨が記され、「拾村与庄や衆」の連印がなされている（ろ12・ろ16・ろ17）。免割帳は、慶安元年（1648）から宝永6年（1709）にかけてのものが断続的に残されている。慶安元年（1648）・貞享2年（1685）の免割帳（ろ1・ろ32）は、『岐阜県史 史料編 近世四』に翻刻が収載されている（pp. 848～854）。

表5 慶安元年（1648）乙坂村反別・分米表

反別	分米
上田 4町2反8畝14歩	分米59石9斗8升5合
中田 1町9反5畝0歩	分米23石4斗0升0合
下田 4町1反8畝15歩	分米41石8斗5升0合
(合計10町4反1畝29歩)	(分米125石2斗3升5合)
上畑 5反1畝29歩	分米6石2斗3升6合
中畑 8反6畝1歩	分米8石6斗0升3合
下畑 1町6反5畝25歩	分米13石2斗6升7合
屋敷 1反3畝10歩	分米1石6斗0升0合
(合計3町1反7畝5歩)	(分米29石7斗0升6合)
総合計 13町5反9畝4歩	総合計 154石9斗4升1合

(乙坂村文書い1・い2より作成)

#### 【は】「村 政」

元禄4年(1691)「乙坂村御法度書御請状帳」(は1)では、笠・頭巾・手拭いなどを被ることの禁止・往還筋での下馬の由に対しての請状である。「御公用御廻文并諸写」などの廻状写には、川除普請の目論見や夫役米値段定、衣類品の禁制など様々な事項が記されている(は4～は7)。また、理由は定かでないが牧田村に關係する絵図が数点残されている(は14・は15・は17・は18)。

#### 【に】「村 経 済」

元禄6年(1693)から同13年(1700)にかけての「御物成夫役米村諸入用御改帳」が6点残されており、村役人・高持百姓・牧田村出作人の名が見える(に1～に6)。また、寛文10・12・13年(1670・1672・1673)の「従御公儀様被下米并村割符米帳」があり、その際に立ち合った「拾村与庄や衆」の連印がある(に8・に10-1・に10-2)。

#### 【ほ】「戸 口」

牧田村から郡奉行所へ出された宝暦7年(1757)「御目見苗字帯刀宗門一札書上帳」(ほ5)があり、『岐阜県史 史料編 近世四』に収録されている(pp.525～526)。不破郡市野尾村(現、垂井町)の「五人組手形帳」(ほ6～ほ8)が3点あるが、これは郷土博物館の前身である岐阜県師範学校の郷土研究室の設置の際に収集されたものであり、整理作業の際に混入したものと思われる(『岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録(4)未報告諸資料・博物館関係資料目録』p.10参照)。

#### 【お】「雑」

横長の史料で表紙が無いものが多いが、年貢関係の帳簿類である(お3～お10)。

#### 【未】「未整理史料」

乙坂村文書の未公開史料の仮目録が残されていた(未1)。これには番号記載も無かったため、「未」という文書の単位記号を加え、付番した。

### 浅草東村、南寺内村、大場村、乙坂村関係史料

各村々の村明細帳や、明治14年(1881)の各村略史は、岐阜県歴史資料館(明治期岐阜県庁事務文書)に所蔵されている。

- ・浅草東村 岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵の美濃国方県郡河渡村村木家文書中にある「証(種痘済につき)」(史料番号:明治238～明治240)は、大橋家文書の一部だったものが整理の際、誤って混入したと思われる。『大垣市史 資料編 近世二』によると、安政2年(1855)「浅草東村明細帳」が大垣市外渕碧還寺蔵の大橋家文書に残されている。また、浅草輪中の水利関係史料については、名古屋大学所蔵の西高木家文書にも残されている。これは、名古屋大学附属図書館ホームページでデータベースが公開されている(2013年2月現在)。
- ・南寺内村 立教大学図書館に、美濃国安八郡南寺内村文書8件が所蔵されている。この目録は、立教大学図書館のホームページから確認することが可能である(2013年2月現在)。
- ・大場村 国文学研究資料館に、美濃国多芸郡大場村松永家文書1476点が所蔵されている。松永家は、近世後期に庄屋役を、近代には戸長役を勤めた家である。この文書の概要については国文学研究資料館の史料情報共有化データベースを参照されたい。
- ・乙坂村 岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵の博物館第2収蔵室諸資料中にある弘化5年(1848)「喜多村願達控」は、乙坂村文書の一部と考えられる(史料番号:か-1)。乙坂村の名主を勤めていた佐藤家は、喜多村(現、養老町)の附名主も勤めていた。乙坂村の名主役佐藤家の文書の多くは、岐阜県歴史資料館に保管されている(『岐阜県立図書館 郷土資料目録 第8集 家分文

書』)。また、立教大学図書館に美濃国石津郡乙坂村文書2件が所蔵されている（目録は立教大学図書館のホームページから確認可能、2013年2月現在）。乙坂村の水利関係史料については、名古屋大学所蔵の西高木家文書にも残されている（名古屋大学附属図書館ホームページでデータベースが公開されている、2013年2月現在）。

### 参考文献

- ・『岐阜県史』史料編 近世一～九 1965・1966・1968・1969・1971～1973
- ・『岐阜県史』通史編 近世上・下 1968・1972
- ・『新修大垣市史』通史編 一 1968、『新修大垣市史』史料編 1968
- ・『大垣市史』輪中編 2008、『大垣市史』資料編 近世二 2010
- ・『養老町史』史料編 上 1974、『養老町史』史料編 下 1974、『養老町史』通史編 上 1978
- ・『新修上石津町史』2004
- ・『岐阜県立図書館郷土資料目録』第8集 家分文書 1972
- ・『内閣文庫所蔵史料叢刊 第55巻 天保郷帳（一）』汲古書院、1984
- ・『明治大学刑事博物館資料』第10集 1988
- ・安藤萬壽男『輪中—その形成と推移』大明堂、1988
- ・岐阜県博物館編『特別展 輪中と治水』1990



輯製二十万分一図復刻版 岐阜県全図（部分）

- \* 『日本歴史地名大系第二巻 岐阜県の地名』平凡社、1989年、特別付録より一部改変
- \* 本目録関係地名（浅草東村・南寺内村・大場村・乙坂村）にアンダーラインあり



# 目 録

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
----	----	-----	-----	----	----	---

## 安八郡浅草東村大橋家文書目録

	い1	濃州多芸郡浅草内東村検地帳	正保三丙戌年十月十八日	1646	縦	1
	い2	多芸郡浅草東村酉之歳より御見取高本高二入申御帳	明暦三丁酉年九月十五日	1657	縦	1
	い3	浅草東村畑田直人別帳	明和五戊子年九月	1768	縦	1
	い4	浅草東村新掘田竿入帳	明和八辛卯年十一月	1771	縦	1
	い5	浅草東村名田帳手控	安政二乙卯年四月日	1855	横長	1
	い6	新平地所竿入帳	文久二壬戌年卯月廿日	1862	横長	1
	い7	午年浅草東村田方立毛御見分帳	安政五戊午年十月	1858	横長	1
	い8	〔田地反別・高など改帳〕	安政五戊午年十月	1858	横長	1
	い9	覚（未年田方不農引地改めにつき）	文政六癸未年十月	1823	一紙	1
	い10	寅年竿間川並内田畑覚帳	（寅年）		横長	1
	ろ1	浅草東村清御勘定御目録	安政二乙卯年三月日	1855	縦	1
	ろ2	寅年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	安政弍乙卯年二月日	1855	横長	1
	ろ3	午年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	安政六己未年二月日	1859	横長	1
	ろ4-1	戌年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	文久三癸亥年二月日	1863	横長	1
	ろ4-2	戌年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	文久三癸亥年三月日	1863	横長	1
	ろ5	子年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	元治二乙丑年三月日	1865	横長	1
	ろ6	丑年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	慶応弍丙寅年三月日	1866	横長	1

作 成	受 取	備 考
改御勘定所、浅井六右衛門(印)、緒方勘右衛門(印)、御横目杉山八郎右衛門(印)、御帳付辻村彦兵衛(印)、案内者庄屋喜右衛門、組頭久三郎、同利兵衛、同伝十郎、同善三郎		表紙「式冊之内」、「紙数七拾式枚 上紙共」とあり
御代官小林儀兵衛、高崎市郎右衛門、御見取奉行高橋十郎兵衛、同沢七太夫、御横目上田角太夫		表紙「式冊之内」、「紙員式拾式枚 上紙共」とあり
地方吟味奉行(印)(印)(印)(印)(印)(印)	浅草東村名主	
御横目木沢小兵衛(印)、豊田弥右衛門(印)、小林郡左衛門(印)	浅草東村名主	
名主富五郎		
小林相六		
藤内、七五郎、兵平、□□衛門、富五郎、市郎左衛門	御検見御奉行衆様	表紙「午年年賦地無役所」
御横目猪股十平(印)、安藤弥左衛門(印)、津田儀兵衛(印)	浅草東村名主	
浅草東村組頭七五郎、同村名主富五郎		
		挿入紙あり
		裏表紙破損あり
浅草東村御百姓与三次(印)、清四郎(印)、磯右衛門(印)、(他71人は省略)、浅草東村名主佐藤兵平(印)、同断富五郎(印)、同断市左衛門(印)	御代官御役所	「文久三癸亥年九月改 加納豊次郎(印)」とあり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ7	丑年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	慶応弍丙寅年三月日	1866	横長	1
	ろ8	寅年浅草東村御年貢米諸上納御免割引入帳	慶応三丁卯年三月日	1867	横長	1
	ろ9	寅年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	慶応三丁卯年三月	1867	横長	1
	ろ10	卯年浅草東村御年貢米諸上納御免割人別引入帳	慶応四戊辰年三月日	1868	横長	1
	ろ11	辰年浅草東村御年貢米并御免割引入帳	明治弍己巳年三月日	1869	横長	1
	ろ12	辰年浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳	明治弍己巳年六月	1869	横長	1
	ろ13	午年浅草東村御年貢振米帳	安政六己未年三月	1859	横長	1
	ろ14	亥年浅草東村御年貢振引帳	文久三癸亥年三月	1863	横長	1
	ろ15	浅草東村御年貢振米帳	慶応三丁卯年三月	1867	横長	1
	ろ16	浅草東村御年貢振米帳	明治三庚午年三月吉日	1870	横長	1
	ろ17	未ノ三月振米和帳	(未ノ三月)		横長	1
	ろ18	覚(去酉年貢米金・高懸物納払い小手形勘定につき)	天保九戊辰年三月	1838	縦	1
	ろ19	御免割証文	(嘉永～安政カ)		縦	1
	ろ20	寅春浅草東村横曾根境堤大豆植付御年貢割符内折大豆御冥加割符帳	慶応弍丙寅年三月	1866	横長	1
	ろ21	[年貢米納入帳]			横長	1
	ろ22	[年貢米引入写綴]			横長	1
	ろ23	[年貢米人別引入綴]			横長	1
	ろ24	[浅草東村御年貢米諸上納物御免割人別引入帳]	(明治元年カ)	1868	横長	1
	ろ25	寅年分卯三月免掛帳	(寅年)		横長	1
大	ろ26	[年貢米人別免割帳]			横長	1
	ろ27	寅三月免割後落物并諸取替	(寅3月)		横長	1

作 成	受 取	備 考
浅草東村御百姓与三次(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他74人は省略)、浅草東村名主佐藤兵平(印)、同断大橋富五郎(印)	御代官御役所	「慶応二丙寅年十一月十一日改 加藤国次郎(印)」とあり
浅草東村御百姓与三治(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他は49人は省略、破損のため総人数は不明)、[ ] 同村 [ ] 大橋富五郎(印)	御代官御役所	破損あり、「慶応三丁卯年 [ ] 改 奥村房右衛門 (印)」とあり
与三治(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他67人は省略)、浅草東村五人組頭清郎左衛門(印)、同村同断兵四郎(印)、同村名主佐藤兵平(印)、同村同断大橋富五郎(印)	大垣藩民政寮御役所	「午五月改 庶務方 (印)」とあり
大橋富五郎		
濃州池田郡池田野預田之内青柳村受地庄屋喜兵衛、年寄定右衛門、百姓代惣五郎	大垣御預御役所	
浅草東村御百姓八左衛門、同断佐兵衛、同断佐右衛門、(他68人は省略)、浅草東村五人組頭七五郎、同村名主兵平、同村名主見名右衛門、同村名主富五郎、同村名主市左右衛門	御代官御役所	破損大、取扱注意
		挿入紙あり
浅草東村御百姓与三治(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他68人は省略)、浅草東村名主佐藤兵平(印)、同村同断大橋富五郎(印)	地方御役所	「辰十一月改 郡所調役 (印)」とあり
松永長九郎		欠損あり
大橋富五郎		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ろ28	浅草東村未三月畑方豊拔并免掛帳	(未3月)		横長	1
	ろ29	[免割改帳]	安政二乙卯年十二月	1855	横長	1
	ろ30	永引帳	(寛政11年)	1799	横長	1
	ろ31-1	覚(三ツ屋村小見取所釜笛村分田方荒地、地直しにて定納米の儀申渡しにつき)	享和元辛酉七月	1801	切紙	1
	ろ31-2	覚(外花村分桁添荒場、起立てにて上納米の儀申渡しにつき)	享和元辛酉七月	1801	切紙	1
	ろ32	覚(三ツ屋村小見取所、三年賦上納申渡しにつき)	享和元辛酉七月	1801	切紙	1
南	ろ33	未年禾出作高御差出之事(高辻408石4斗6升8合)	文化八辛未年九月	1811	一紙	1
南	ろ34	乍恐以書付奉願上候(南寺内村諸引地所池成分の中畑3畝余、村方渡しにて高入れ願いにつき)	文化八辛未年十二月	1811	一紙	1
南	ろ35	乍恐以書付奉願上候(南寺内村諸引地所池成分の中畑3畝余、村方渡しにて高入れ願いにつき)	文化九壬申年十二月	1812	一紙	1
南	ろ36	未年南寺内村高御差出之覚(高辻216石4斗7升6合)	文化八辛未年十月	1811	一紙	1
南	ろ37	酉年禾出作高御差出之事(高辻408石4斗6升8合)	文化十癸酉年十月	1813	一紙	1
南	ろ38	寅年禾出作御差出之事(高辻408石4斗6升8合)	文政元戊寅年十月	1818	一紙	1
南	ろ39	乍恐以書付奉願上候(村方渡しにて高入れ願いにつき出作畑方のうち1町1反余、当夏雨続きにて引地願いにつき)	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
南	ろ40	酉年南寺内村高御差出之覚(高辻216石4斗7升6合)	文政八乙酉年十月	1825	一紙	1
	ろ41	酉年今村入方高御差出し之覚(高辻227石8斗1升7合)	文政八乙酉年十月	1825	一紙	1
南	ろ42	乍恐以書付奉願上候(禾出作免相の儀、当寅年より亥年まで10か年賦定免願いにつき)	嘉永七甲寅年四月	1854	一紙	1
南	ろ43	乍恐以書付奉願上候(戸田保右衛門様屋敷、嘉永3年まで村並みの通り年貢皆納の処、翌年以降不納にて勘定願いにつき)	慶応三(四)戊辰年閏四月	1868	一紙	1
南	ろ44	申仮免状(安八郡南寺内村田米96石8斗2升4合、畑米4石9斗6升1合)			一紙	1

作 成	受 取	備 考
庄屋浅右衛門、組頭仙蔵、百姓嘉左衛門、善治、喜十郎、安左衛門、糸右衛門、勘吾、宅右衛門		結び文あり
見取奉行(印)	三ツ屋村名主	破損あり
見取奉行(印)	三ツ屋村名□(主)	破損あり
見取奉行(印)	三ツ屋村名主	破損あり
禾出作五人組頭嘉兵衛、同所同断文蔵、与右衛門、同所加勢名主新五右衛門、同所附名主治郎九、同所名主勘助	御検見御奉行所衆様	「引得」とあり
南寺内村御百姓代庄吉(印)、同村五人組頭加兵衛(印)、同村附名主治郎九(印)	御代官御役所	端裏「引地所高入願 南寺内村」、作成の印に墨消しあり
南寺内村御百姓代庄吉、同村五人組頭加兵衛、同村附名主治郎九	御見取御奉行衆様	破損あり、端裏「池成引得」
南寺内村五人組頭嘉兵衛、同村加勢名主新五右衛門、同村附名主治郎九	御見取御奉行衆様	
南顔村五人組頭与右衛門、同村同断文蔵、同村名主勘助、南寺内村五人組頭嘉兵衛、同村附名主治郎九	御検見御奉行衆様	端裏「御検見差出扣」
禾出作五人組頭文蔵(印)、同所同断丈吉(印)、同所同断与右衛門(印)、同所同断嘉兵衛(印)、同所名主勘助(印)	御検見御奉行衆様	端裏「引得」
禾出作五人組頭武作(印)、同所同断文吉(印)、同所名主伊蔵(印)、同所同断加兵衛(印)	御代官御役所	作成の印に墨消しあり
南寺内村五人組頭武作、同村名主加兵衛	御検見御奉行衆様	
今村入方名主市郎次、同村同断休三郎	御検見御奉行衆様	
禾出作御百姓代藤吉(印)、同所五人組頭藤七(印)、同所名主四五右衛門(印)、同所同断丈右衛門(印)	御代官御役所	破損あり、作成の印に墨消しあり、端裏「定免年継願 四月十日 禾出作」
南寺内村御百姓代伝吉、同村五人組頭音八、同村名主加兵衛、同村同断成田四郎左衛門	御代官御役所	

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	は1	〔安永年間万覚帳〕	(安永3～天明2年)	1774	縦	1
	は2	日記帳	文化十二〇亥十二月	1815	横長	1
	は3	天保度御老中水野越前守様御政事中世の人悪評写六	(天保度)	1830	縦	1
	は4	御改秤書上帳	安政六己未年三月	1859	横長	1
	は5	御用御触留并諸願写	文久式壬戌年	1862	横長	1
	は6	卯年浅草東村五人組立毛請人御改帳	慶応三丁卯年九月	1867	縦	1
	は7	〔困窮にて御救願などの覚書〕	(元文元～寛延元年)	1736	横長	1
	は8①	〔浅草東村附名主役、浅草中村名主円右衛門申付けの処、赦免願聞届けにて名主役の儀、浅草東村勇八へ申渡状〕			切紙	1
	は8②	〔別紙の通り、刻限遅滞なきようにつき申渡状〕	五月十三日		切紙	1
	は8③	〔浅草東村新掘田葭田代、合3石5斗7升4合別納米にて申渡状〕	安永二癸巳十一月日	1773	切紙	1
	は8④	〔浅草東村五人組頭庄次郎、病身にて役義赦免にて、五人組頭役の儀、利八へ申渡状〕	申五月廿四日		切紙	1
	は9	〔名主役継目覚など書留帳〕	(文政6年)	1823	横長	1
	は10	諸帳面自余覚	宝暦七丁丑年正月	1757	一紙	1
	は11	〔西本願寺坊官触書写〕	(享保7年9月・安政2年4月)	1722	縦	1
	は12	相互諸事申合之覚(触・村法の順守のことなど17か条の趣に背かずににつき)	明和七庚寅年五月	1770	縦	1
	は13	浅草東村家作一件引合日記覚	寛政七乙卯年三月十九日	1795	縦	1
	は14	浅草東村出入一件内輪札日記	寛政九丁巳年十月	1797	縦	1
	は15	乍恐以口書奉願上候(30余年以前に普請の伏越樋、破損にて修繕を御入用にて普請願いにつき)	文化十二乙亥年八月	1815	縦	1
南	は16	乍恐以口書奉願上候(南寺内村家役米の儀、家中在宅の分も村並みに掛る処、役米差出し無きにて差出し仰せ願いにつき)	文化九壬申年四月	1812	一紙	1
南	は17	乍恐以口書奉願上候(南寺内村の儀、去未年格別の凶作にて難洪の処、去々年通りの定免願いにつき)	文化九壬申年四月	1812	一紙	1
	は18	乍恐以書付奉申上候(宗門帳面高主判、調印申す処、越さざる19人に役所へ出て調印するようお願いにつき)	文化十一甲戌年七月	1814	一紙	1
南	は19	〔近年御領分村々に帳外者差置くの儀、たびたび露頭・吟味の処、村人別の作法、等閑に心得るにて向後は過料申付けにつき達し〕	文政二己卯年七月	1819	一紙	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、『大垣市史 資料編 近世二』 pp. 504～514に収載（抄出）
		破損あり
		破損あり
安八郡浅草東村		表紙「惣家数七拾四軒」
名主富五郎		
浅草東村名主佐藤兵平、同村同断大橋富五郎	御代官御役所	「四郎扣」とあり
		貼紙あり、剥離紙あり
		は8①～④は綴られている
御代官(印)	浅草東村徳助方、内阿原村名主牛右衛門方、嶋里村名主留兵衛方(印)	
郡奉行(印)	名主、惣百姓	
御代官(印)	浅東村名主	
		破損あり
浅中村名主円右衛門	浅東村名主祐八殿	
		資料には「は一一ノ一」と番号記載
村連印		『大垣市史 資料編 近世二』 pp. 502～503に収載
青柳村名主彦三郎、今村名主伊惣次、浅西村名主七右衛門	御代官御役所	表紙「寛政九丁巳年十一月」「本紙引得」
御領安八郡馬之瀬□(村)、尾州領同郡牧村、多芸郡横曾根村、大垣領古宮今村両[ ]		破損大
南寺内村御百姓代庄吉(印)、同村五人組頭加兵衛(印)、同村附名主治郎九(印)	御代官御役所	端裏「家役米願引得」、下書
南寺内村御百姓代庄吉(印)、同村五人組頭加兵衛(印)、同村附名主治郎九(印)	御代官御役所	端裏「定免願引得」「南寺内村」、下書
深池村名主治郎九	御代官御役所	
御代官		

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
南	は20	仕上ル御請書之覚（南寺内村五人組頭嘉兵衛へ名主役、南顔村勘助へ附名主役申渡しにつき）	文政二己卯年八月十四日	1819	一紙	1
南	は21	乍恐以書付奉願上候（南顔村堤内外田方早稲1町3反余他1か所、当夏格別の深溜まりにより不農田になるにて見分し引地仰せ付け願ひにつき）	文政三庚辰年九月	1820	一紙	1
南	は22	乍恐以書付奉願上候（南寺内村早稲9反2畝余、当夏度々深溜りにて立毛悪しきにて苅揚げ願ひにつき）	文政三庚辰年九月	1820	一紙	1
南	は23	乍恐以書付奉願上候（南寺内村早稲1町6反余、当夏度々深溜りにて立毛悪しきにて苅揚げ願ひにつき）	文政三庚辰年九月	1820	一紙	1
	は24	御歎書（中山道垂井宿加助郷の儀、浅草3か村難渋にて仰付けられないようにつき）	（文政5年）午六月二日	1822	縦	1
	は25	〔浅草東村五人組頭病身にて跡役申付書〕	文政五午八月廿二日	1822	切紙	1
南	は26	覚（南寺内村百姓惣助、銀札座預かり定法通り通用の処、不届きの事あり吟味あるとも宥免にて請書差上げにつき）	天保十五甲辰年九月	1844	一紙	1
南	は27	乍恐以書付奉歎願候（高橋村名主へ同村五人組頭9人より免割再調べなど御札願ひの処、苅入れ時節にて郷宿に差置きの儀、赦免願ひにつき）	天保十五甲辰年十月	1844	一紙	1
南	は28	乍恐以書付奉歎願候（高橋村名主へ同村五人組頭10人より免割再調べなど御札願ひの処、苅入れ時節にて郷宿に差置きの儀、赦免願ひにつき）	天保十五甲辰年十月	1844	一紙	1
南	は29	一札之事（秤改めのところ、調べの外に所持の者無きにつき）	安政六己未年二月	1859	一紙	1
南	は30	一札之事（秤改めのところ、調べの外に所持の者無きにつき）	安政六己未年二月日	1859	一紙	1
南	は31	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙	1
南	は32	口上（組内一統取締にて妓屋へ参る者あらば、相互に吟味するにつき）	慶応三丁卯年九月	1867	一紙	1
南	は33	御請書一札之事（村方一統への仰せの趣、組中委細承知につき）	慶応三丁卯年九月日	1867	一紙	1

作 成	受 取	備 考
南寺内村御百姓喜蔵(印)、庄八(印)、喜作(印)、(他144人省略)、南寺内村御百姓代長五郎(印)、同村名主嘉兵衛(印)、同村附名主勘助(印)	御代官御役所	
南頼村五人組頭丈吉(印)、同村同断伊蔵(印)、同村同断与右衛門(印)、同村名主勘助(印)	御代官御役所	端裏「早稻苜揚并引地願別紙横折添 南頼村」
南寺内村名主加兵衛(印)	御代官御役所	
南寺内村名主加兵衛(印)	御代官御役所	
右村惣代多芸郡多芸入方名主加蔵(印)、西大外羽村同伝十郎(印)、安八郡中河原村同牛右衛門(印)、浅草中村同重郎次(印)	道中御奉行所様	破損あり、表紙「戸田采女正領分濃州安八郡浅草中村、浅草東村、浅草西村」、資料には「は二四ノ一」と番号記載
御代官(印)	浅草東村名主中	資料には「は二四」と番号記載
南寺内村御百姓惣助、同村御百姓代伝吉、同村五人組頭権助、同村名主四五右衛門、同村同断加兵衛	御代官御役所	資料には「は二五」と番号記載
附添南寺内村名主加兵衛(印)	御代官御役所	資料には「は二六」と番号記載
附添南寺内村名主加兵衛	御代官御役所	資料には「は二七」と番号記載
組合松兵衛(印)、松助(印)、惣兵衛(印)、唯右衛門(印)、彦七(印)、吉右衛門(印)、増太郎(印)	当(南寺内)村御役人衆中殿	資料には「は二八」と番号記載
組合孫右衛門代判惣連中(印)、南寺内村丹次組(印)	当(南寺内)村御役人衆中殿	端裏「丹次組」、資料には「は二九」と番号記載
当村常助組合喜三郎(印)、高橋右兵衛(印)、忠太郎(印)、源助(印)、彦右衛門(印)、組頭常助(印)	御村役人衆様	資料には「は三〇」と番号記載
庄吉(印)、甚吉(印)、庄蔵(印)、嘉藤治(印)、対三郎(印)、吉川宗元、金蔵(印)	村役人衆	資料には「は三一」と番号記載
南寺内村屋敷彦三郎(印)、儀助後家(印)、庄助(印)、国治(印)、善兵衛(印)、御早道岩治郎(印)、組頭彦八(印)	御名主衆中様	資料には「は三二」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	は34	締書一札之事（村方一同相談の上、締書承知につき）	慶応三丁卯年九月	1867	一紙	1
南	は35	一札組合之事（城下茶汲女容赦になる処、銘々の倅ども立寄らば仰せ渡しの義、委細承知につき）	慶応三丁卯年九月	1867	一紙	1
	は36	〔浅草東村伊兵衛・治兵衛とも病身にて五人組頭役赦免願、聞届けにつき申渡状〕	六月九日		切紙	1
	は37	〔外濶村名主、病身・不勝手にて、内阿原村と浅草東村名主を外濶村附名主役申渡状〕	十二月廿七日		切紙	1
	は38	乍恐以書付奉願上候（去夏の入水・当春の普請による深溜にて御救米ならびに拝借米など願書扣）			一紙	1
	は39	〔釜笛村名主跡役の儀につき請書下書〕	天明二壬寅年十一月十二日上ル	1782	一紙	1
	は40	〔浅草東村名主へ御目見の件など申渡状並びに、岩田・矢田様御手村名書付など綴〕			綴	1
南	は41	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙 (包紙共)	1
南	は42	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙	1
南	は43	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙	1
南	は44	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙	1
南	は45	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙	1
南	は46	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年六月	1866	一紙	1
南	は47	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙	1
南	は48	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙	1
南	は49	一札之事（不穏なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙	1

作 成	受 取	備 考
丹次組金次(印)、三吉(印)、孫右衛門(印)、作右衛門(印)、丹次(印)	御名主衆様	資料には「は三三」と番号記載
組合伝吉組(印)、藤右衛門(印)、惣右衛門(印)、兵七(印)、清助(印)	御名主中様	『大垣市史 資料編 近世二』 p. 516に収載、資料には「は三四」と番号記載
御代官(印)	浅草東村名主中	資料には「は三五」と番号記載
御代官(印)	内阿原村賀雑之助方、浅東村善七方	資料には「は三六」と番号記載
		端裏「扣」、資料には「は三七」と番号記載
		「釜笛村附役御差紙」「五代目善七」とあり
		破損あり
当村組合川合勘十郎(印)、松井鉄治郎(印)、荒川磯太郎、栄助(印)、宅平(印)、弥助(印)、惣八(印)、組頭惣助(印)	御役人衆様	包紙破損あり、包紙「証文壱通 惣兵衛組中」
当(南寺内)村組合宇兵衛(印)、諸蔵後家きせ(印)、安兵衛(印)、組頭市郎兵衛(印)	当(南寺内)村村役人衆	
当村組合儀八(印)、三八(印)、為八(印)、市治(印)、与右衛門(印)、惣七(印)、組頭雪四郎(印)	御役人衆中様	
当村組合平八(印)、七兵衛(印)、平四郎(印)、組頭忠三郎(印)	御役人衆様	
当村組合増兵衛後家まつ(印)、利助(印)、長八(印)、友吉(印)、左内後家きみ(印)、安吉(印)、喜平(印)、組頭惣兵衛(印)	御役人衆様	
当村組合彦内(印)、惣吉(印)、和吉(印)、林蔵後家、才助(印)、代八(印)、与吉(印)、同断組親与七(印)	御役人衆様	
当村丹治組合孫右衛門(印)、作右衛門(印)、与市(印)、とき(印)、組頭丹治(印)	御役人衆様	
当村喜八組合勘次(印)、豊吉(印)、駒吉(印)、平右衛門(印)、組頭喜八(印)	御役人衆様	端裏「組請」
当村組合太兵衛(印)、同勝次母(印)、同幸之助(印)、同鈴太郎(印)、同代次(印)、組頭藤八(印)	御役人衆様	

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	は50	一札之事（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月日	1866	一紙 （包紙共）	1
南	は51-1	一札之事（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二寅年七月	1866	一紙	1
南	は51-2	一札之事（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙	1
南	は52	一札之事（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月	1866	一紙 （包紙共）	1
南	は53	一札之事（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年七月日	1866	一紙	1
南	は54	一札（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	慶応二丙寅年	1866	一紙	1
南	は55	一札（不穩なる時勢にて無帳の者を差し置かないよう取調べにつき請書）	（慶応2年）	1866	一紙	1
	は56	《浅草東村葭田絵図》	元禄8	1695		
	は57	《浅草曲輪絵図》	元禄15	1702		
	は58	《浅草東村絵図》	享保9・7	1724		
	は59	〔浅草東村田場墨引絵図面〕	明和七庚寅年三月日	1770	絵図	1
	は60	《浅草東村絵図》	安永3・6	1774		
	は61	《浅草東村絵図》	安永6・8	1777		
南	は62	〔苗場願申上げ場所図面〕	（明治2年）巳正月	1869	一紙	1
	は63	《村絵図》				
	は64	《村絵図》				
	は65	《村絵図》				
	は66	《村絵図》				
	は67	《村絵図》				
	は68	《村絵図》				
	は69	《村絵図》				
	は70	《村絵図》				
	は71	《村絵図》				
	に1	塩喰江通五ヶ村・横曾根江通四ヶ村諸入用割賦帳	文化元甲子年十二月	1804	横長	1
	に2	鵜森会所戸障子其外諸色払帳	文化十三年三月九日	1816	横長	1

作 成	受 取	備 考
当村多助組合新左衛門(印)、 栄吉(印)、金兵衛(印)、兼二 郎(印)、曾右衛門(印)、惣吉 (印)、組頭多助(印)	御役人衆様	包紙「証文 壺通 多助組」
南寺内村小七組合末吉(印)、 志津五郎後家(印)、組頭小七 (印)	御役人衆様	資料には「は五一」と番号記載
当村伝吉組合藤七(印)、加兵 衛、覚七(印)、惣右衛門(印)、 清助(印)、組頭伝吉(印)	御役人衆様	資料には「は五一」と番号記載
南寺内村喜藤次組合細井平兵 衛、善八後家(印)、組頭喜藤 次(印)	御役人衆様	包紙「喜藤次組合」
南寺内兵吉組合栄次郎(印)、 右同断利右衛門(印)、右同断 重助(印)、右同断佐七(印)、 右同断甚吉(印)、右同断林次 (印)、組頭兵吉(印)	御役人衆様	
当村組合菊蔵(印)、組頭彦蔵 (印)、勘吉(印)	御役人衆様	
当村組合善兵衛(印)、同庄助 (印)、同儀助後家(印)、組頭 彦八(印)	御役人衆様	
		現在所在不明
		現在所在不明
		現在所在不明
浅草東村五人組頭庄次郎、同 断次兵衛、同村名主善七		84.1×30.3cm、一部分のみ、資料には「は一一 ノ二」と番号記載
		現在所在不明
		現在所在不明
南寺内村御百姓代伝吉(印)、 同村五人組頭音八(印)、同村 名主加兵衛(印)、同村同断成 田四郎左衛門(印)		資料には「は三八」と番号記載
		現在所在不明

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	に3	嶋村古木落札之覚	文化十三丙子年四月廿七日	1816	横長	1
	に4	惣代給割符帳	文化十三子年十二月	1816	横長	1
	に5	伏越樋弁金割・同顔杖弁金割・子七月出金利平均割・両筋立会割組合村々引入帳	文化十四丁丑年十二月	1817	横長	1
	に6	伏越樋弁金割・同顔杖弁金割・両筋立会割・子七月出金利平均割組合村々引入帳	文化十五戊寅年二月廿六日	1818	横長	1
	に7	弁金並顔杖丑年両筋割荒地代米其外諸指引惣調へ帳	文政二年卯四月五日	1819	横長	1
	に8①	舩金借用人別帳入袋	(天保3・天保14年)	1832	袋	1
	に8②	舩金借用人別割賦帳	天保十四癸卯年十二月日	1843	横長	1
	に9	浅草東村拾五人出入造用割符立会帳	嘉永七甲寅年四月	1854	横長	1
	に10	寅年浅草東村年内諸入用割賦帳	安政二乙卯年六月日	1855	横長	1
	に11	午年浅草東村年内諸入用割符帳	安政六己未年六月日	1859	横長	1
	に12	午年浅草東村諸入用割賦帳	安政六己未年二月日	1859	横長	1
	に13	戌年浅草東村諸入用割賦帳	文久三癸亥年三月日	1863	横長	1
	に14	戌年浅草東村年内諸入用割符帳	文久三癸亥年三月	1863	横長	1
	に15	寅年浅草東村年内諸入用割符帳	慶応三丁卯年六月	1867	横長	1
	に16	寅年浅草東村年内諸入用割賦帳	慶応三丁卯年六月日	1867	横長	1
	に17	卯年浅草東村年内諸入用割符帳	慶応四戊辰年三月	1868	横長	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、資料には「に七」と番号記載
		資料には「に三」と番号記載
		破損あり、表紙「立合 徳助、治郎九、□右衛門」、資料には「に四」と番号記載
		表紙「会所扣」「立合 太兵衛、徳助、留兵衛、治郎九、善蔵、武右衛門」、資料には「に五」と番号記載
南筋惣代市左衛門	南筋御惣代衆中	資料には「に六」と番号記載
		袋書「天保三壬寅年十二月元壺冊相濟、天保十四癸卯年十二月元壺冊」「兩年分南組元」
南組		破損大
留五郎扣		
浅草東村御百姓八左衛門(印)、磯右衛門(印)、佐兵衛(印)、(他67人省略)、五人組頭七五郎(印)、名主兵平(印)、同断見名右衛門(印)、同断富五郎(印)、同断市左衛門(印)	御代官御役所	「乙卯十月十三日改 岩田万蔵(印)」とあり
浅草東村御百姓八左衛門(印)、磯右衛門(印)、清四郎(印)、(他67人省略)、五人組頭七五郎(印)、名主兵平(印)、同断見名右衛門(印)、同断富五郎(印)、同断市左衛門(印)	御代官御役所	破損あり、「安政六己未年十月改 加納豊次郎(印)」とあり、資料には「に一三」と番号記載
		破損あり、資料には「に一四」と番号記載
浅草東村御百姓八左衛門(印)、磯右衛門(印)、清四郎(印)、(他65人省略)、名主佐藤兵平(印)、同断富五郎(印)、同断市左衛門(印)	御代官御役所	破損あり、「文久三癸亥年九月改 加納豊次郎(印)」とあり、資料には「に一五」と番号記載
九平次		破損あり、資料には「に一六」と番号記載
名主佐藤兵平、同断大橋富五郎	御代官御役所	表紙「兵平当番写」、資料には「に二四」と番号記載
浅草東村御百姓与三治(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他71人省略)、浅草東村名主佐藤兵平(印)、同村同断大橋富五郎(印)	御代官御役所	「慶応三丁卯年十一月廿一日改 奥村房右衛門(印)」とあり、資料には「に二六」と番号記載
浅草東村御百姓与三次(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他68人省略)、浅草東村名主佐藤兵平(印)、同村同断大橋富五郎(印)	地方御役所	「辰十一月改 郡所調役(印)」とあり、資料には「に二八」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	に18	辰年浅草東村年内諸入用割符帳	明治貳己巳年六月	1869	横長	1
	に19	村方諸入用取替帳	文久貳壬戌年	1862	横長	1
	に20	村方諸入用取替帳	元治貳丑年	1865	横長	1
	に21	浅草東村小取替帳	慶応二丙寅年正月	1866	横長	1
	に22	浅草東村年内小取替帳	慶応三丁寅年二月	1867	横長	1
	に23	浅草東村小取替帳	明治二己巳年三月	1869	横長	1
	に24	丑年落物帳	元治二乙丑年三月日	1865	横長	1
	に25	寅年落物帳	慶応貳丙寅年正月日	1866	横長	1
	に26	浅草東村落もの取替帳	慶応三丁卯年三月	1867	横長	1
	に27	寅年浅草東村家掛り打米割賦□(帳カ)	安政貳乙卯年二月下旬	1855	横長	1
	に28	午年浅草東村家掛り打米割賦帳	安政六己未年三月日	1859	横長	1
	に29	浅草東村入用銀冬割帳	慶応元乙丑年十二月	1865	横長	1
	に30	浅草東村御進発諸入用銀割・人足賃銀割	慶応元乙丑年	1865	横長	1
	に31	自調達御下ケ米割符帳	慶応三丁卯年三月	1867	横長	1
	に32	浅草東村諸役帳	明治二己巳年三月	1869	横長	1
	に33	浅草御村御入用帳	辰極月		横長	1
	に34	村方諸入用取替書抜帳	当三月		横長	1
	に35	午三月落もの書抜	(午三月)		横長	1
	に36	宗門帳入用預銭集(集)帳	寅年		横長	1
	に37	当村取替元利森立勘定書			横長	1
	に38	下雑用ひろい出し			横長	1
	に39	被下金之覚			横長	1
	に40	土方請負人壱割金ニ而御入用割差引書覚	子八月		一紙	1
	に41	〔諸買物通・雇入人足など書付帳〕			横長	1
	に42	〔浅草東村取替金など書付帳〕			横長	1
	に43	〔土方人足など五ヶ村割帳〕			横長	1
	に44	〔土方人足など五ヶ村割帳〕			横長	1
	に45	〔諸勘定覚綴〕			横長	1
	ほ1	美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	享保貳拾乙卯年六月日	1735	縦	1

作 成	受 取	備 考
浅草東村御百姓与三治(印)、清四郎(印)、市右衛門(印)、(他60人省略)、浅草東村五人組頭治郎左衛門(印)、同村同断兵四郎(印)、同村名主佐藤兵平(印)、同村同断大橋富五郎(印)	大垣藩民政寮御役所	「午五月改 庶務方 (印)」とあり、資料には「に二九」と番号記載
名主富五郎		資料には「に一七」と番号記載
名主富五郎		破損あり、資料には「に一八」と番号記載
		資料には「に二五」と番号記載
		資料には「に三〇」と番号記載
名主市左衛門		資料には「に一九」と番号記載
名主富五郎		資料には「に二二」と番号記載
		資料には「に二三」と番号記載
		表紙破損、資料には「に一一」と番号記載
		破損あり、資料には「に一二」と番号記載
		資料には「に二〇」と番号記載
		資料には「に四三」と番号記載
		資料には「に二七」と番号記載
		資料には「に三一」と番号記載
京丸平吉	御役方衆様	資料には「に三二」と番号記載
		資料には「に三五」と番号記載
		資料には「に四五」と番号記載
		資料には「に三四」と番号記載
		資料には「に三三」と番号記載
		反故紙使用、資料には「に三六」と番号記載
		破損あり、資料には「に三七」と番号記載
築捨村名主治郎九、犬ヶ渚村名主谷蔵、内阿原村名主牛右衛門、高渚村名主太兵衛、嶋里村留兵衛	御見取御奉行衆様	破損あり、「引得」とあり、資料には「に三八」と番号記載
		破損あり、資料には「に四四」と番号記載
		破損あり、資料には「に三九」と番号記載
		破損あり、資料には「に四〇」と番号記載
		資料には「に四一」と番号記載
		破損あり、資料には「に四二」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主弥平治(印)、同国同郡同村五人組頭庄助(印)、同国同郡同村五人組頭惣内(印)、同国同郡同村五人組頭次兵衛(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、「改 和田平四郎 (印)、目付 野原政右衛門 (印)」 「紙数合四拾貳枚 但上紙共」とあり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ほ2	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	寛政五癸丑年六月日	1793	縦	1
	ほ3	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	寛政十戊午年六月日	1798	縦	1
	ほ4	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	寛政十一己未年六月日	1799	縦	1
	ほ5	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十一甲戌年六月日	1814	縦	1
	ほ6	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十一甲戌年六月日	1814	縦	1
	ほ7	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十三丙子年六月日	1816	縦	1
	ほ8	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十三丙子年六月日	1816	縦	1
	ほ9	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文化十三丙子年六月日	1816	縦	1
	ほ10	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十四丁丑年六月日	1817	縦	1
	ほ11	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文化十四丁丑年六月日	1817	縦	1
	ほ12	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文化十四丁丑年六月日	1817	縦	1

作 成	受 取	備 考
京都六条東本願寺末寺浄光寺正賢(印)、京都六条東本願寺末寺専徳寺柳元(印)、京都六条東本願寺末寺正福寺祐意(印)、京都六条東本願寺末寺福満寺恵念(印)、京都六条東本願寺末寺行超寺智伝(印)、京都六条東本願寺末寺珀宝寺正調	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但シ人数メ高帳共」、「改 江崎伊左衛門(印)、御横目 若原猪兵衛(印)」とあり、資料には「ほ二ノ一」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺正賢(印)、京都六条東本願寺末寺専徳寺(印)、京都六条東本願寺末寺正福寺祐意(印)、京都六条東本願寺末寺福満寺恵念(印)、京都六条東本願寺末寺行超寺智伝(印)、京都六条東本願寺末寺珀宝寺(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但シ人数メ高帳共」、「改 水嶋世平(印)、御横目 近藤久米蔵(印)」とあり、作成の専徳寺・珀宝寺は代判、資料には「ほ二ノ二」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善七(印)、同国同郡同村五人組頭治兵衛(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内」、「改 水嶋世平(印)、御横目 森七左衛門(印)」とあり、資料には「ほ三」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺正山(印)、京都六条東本願寺末寺専徳寺貫遵(印)、京都六条東本願寺末寺正福寺儀伝(印)、京都六条東本願寺末寺福満寺恵念(印)、京都六条東本願寺末寺行超寺智伝(印)、京都六条東本願寺末寺珀宝寺義道(印)	宗門御改御奉行所	破損大、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 石川庄右衛門(印)、目付 長松文兵衛(印)」とあり、資料には「ほ四」と番号記載
京都洛外東山大谷智恩院末寺智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 石川庄右衛門(印)、目付 長松文兵衛(印)」とあり、資料には「ほ五」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺靈譚(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 葛山円右衛門(印)、目付 岸田善太夫(印)」とあり、資料には「ほ六」と番号記載
京都洛外東山大谷知恩院末寺智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 葛山円右衛門(印)、目付 岸田善太夫(印)」とあり、資料には「ほ七」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善七(印)、同国同郡同村五人組頭又兵衛(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内」、「改 葛山円右衛門(印)、目付 岸田善太夫(印)」とあり、資料には「ほ八」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺靈譚(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 北村源次郎(印)、目付 栗田増左衛門(印)」とあり、資料には「ほ九」と番号記載
京都洛外東山大谷知恩院末寺智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数メ高帳共」、「改 北村源次郎(印)、目付 栗田増左衛門(印)」とあり、資料には「ほ一〇」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善七(印)、同国同郡同村五人組頭忠蔵(印)、同国同郡同村同断治五兵衛(印)	宗門御改御奉行所	表紙「四冊之内」、「改 北村源次郎(印)、目付 栗田増左衛門(印)」とあり、資料には「ほ一一」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	ほ13	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政二己卯年六月日	1819	縦	1
	ほ14	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政二己卯年六月日	1819	縦	1
	ほ15	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文政二己卯年六月日	1819	縦	1
	ほ16	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文政四辛巳年六月日	1821	縦	1
	ほ17	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政五壬午年六月日	1822	縦	1
	ほ18	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政七甲申年六月日	1824	縦	1
	ほ19	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政八乙酉年六月日	1825	縦	1
	ほ20	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政八乙酉年六月日	1825	縦	1
	ほ21	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文政八乙酉年六月日	1825	縦	1
	ほ22	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政九丙戌年六月日	1826	縦	1
	ほ23	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政十丁亥年六月日	1827	縦	1

作 成	受 取	備 考
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 靈譚(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改山崎専八郎(印)、目付 日比野源左衛門(印)」とあり、資料には「ほ一二」と番号記載
京都洛外東山大谷知恩院末寺 智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改山崎専八郎(印)、目付 日比野源左衛門(印)」とあり、資料には「ほ一三」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善 七(印)、同国同郡同村五人組 頭忠蔵(印)、同国同郡同村同 断治五兵衛(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内」、「改 山崎専八郎(印)、目付 日比野源左衛門(印)」とあり、資料には「ほ一四」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善 七(印)、同国同郡同村五人組 頭忠蔵(印)、同国同郡同村同 断治五兵衛(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、「改 谷沢麻五郎(印)、目付 岡田半助(印)」とあり、資料には「ほ一五」と番号記載
京都六條東本願寺末寺浄光寺 正山(印)、京都六條東本願寺 末寺専徳寺貫遵(印)、京都六 條東本願寺末寺正福寺儀伝 (印)、京都六條東本願寺末寺 福満寺智識(印)、京都六條東 本願寺末寺行超寺智伝(印)、 京都六條東本願寺末寺珀宝寺 義道(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改谷沢麻五郎(印)、目付 人見加兵衛(印)」とあり、資料には「ほ一六」と番号記載
京都六條西本願寺末寺縁覚寺 靈巖(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改児玉筑蔵(印)、目付 奥又兵衛(印)」とあり、資料には「ほ一七」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 靈巖(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改甲斐円八(印)、目付 忍平内(印)」とあり、資料には「ほ一八」と番号記載
京都洛外東山大谷知恩院末寺 智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改甲斐円八(印)、目付 忍平内(印)」とあり、資料には「ほ一九」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善 七(印)、同国同郡同村五人組 頭見名右衛門(印)、同国同郡 同村同断磯右衛門(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、「改 甲斐円八(印)、目付 忍平内(印)」とあり、資料には「ほ二〇」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺 正山(印)、京都六条東本願寺 末寺専徳寺貫遵(印)、京都六 条東本願寺末寺正福寺儀成 (印)、京都六条東本願寺末寺 福満寺恵念(印)、京都六条東 本願寺末寺行超寺智伝(印)、 京都六条東本願寺末寺珀宝寺 義道(印)	宗門御改御奉行所	表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改 甲斐円八(印)、目付 上田三八(印)」とあり、資料には「ほ二一」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺 正山(印)、京都六条東本願寺 末寺専徳寺貫遵(印)、京都六 条東本願寺末寺正福寺儀成 (印)、京都六条東本願寺末寺 福満寺恵念(印)、京都六条東 本願寺末寺行超寺智伝(印)、 京都六条東本願寺末寺珀宝寺 義道(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改浜嶋源助(印)、目付 竹中宅助(印)」とあり、資料には「ほ二二」と番号記載、挿入紙あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ほ24	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政十丁亥年六月日	1827	縦	1
	ほ25	浄土宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政十丁亥年六月日	1827	縦	1
	ほ26	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	文政十丁亥年六月日	1827	縦	1
	ほ27	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政十一戊子年六月日	1828	縦	1
	ほ28	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文政十一戊子年六月日	1828	縦	1
	ほ29	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	嘉永六癸丑年六月日	1853	縦	1
	ほ30	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	安政四丁巳年五月日	1857	縦	1
	ほ31	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	文久元辛酉年五月日	1861	縦	1
	ほ32	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	元治元甲子年五月日	1864	縦	1
	ほ33	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	元治元甲子年五月日	1864	縦	1
	ほ34	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	元治二乙丑年五月日	1865	縦	1

作 成	受 取	備 考
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 靈巖(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改 浜嶋源助(印)、目付 竹中宅助(印)」とあり、 資料には「ほ二三」と番号記載
京都洛外東山大谷知恩院末寺 智福寺等誉(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改 浜嶋源助(印)、目付 竹中宅助(印)」とあり、 資料には「ほ二四」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主善 七(印)、同国同郡同村五人組 頭見名右衛門(印)、同国同郡 同村同断磯右衛門(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、「改 浜嶋源助(印)、目付 竹中宅助 (印)」とあり、資料には「ほ二五」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺 正山(印)、京都六条東本願寺 末寺専徳寺貫遵(印)、京都六 条東本願寺末寺正福寺儀成 (印)、京都六条東本願寺末寺 福満寺恵念(印)、京都六条東 本願寺末寺行超寺賢随(印)、 京都六条東本願寺末寺珀宝寺 義道(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改 浜嶋源助(印)、目付 奥又兵衛(印)」とあり、 資料には「ほ二六」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 靈巖(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「四冊之内 但人数×高帳共」、「改 浜嶋源助(印)、目付 奥又兵衛(印)」とあり、 資料には「ほ二七」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺 理□(印)、京都六条東本願寺 末寺専徳寺覚龍(印)、京都六 条東本願寺末寺正福寺義門 (印)、京都六条東本願寺末寺 行超寺見城(印)、京都六条東 本願寺末寺福満寺恵誠(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数×高帳共」 「扣」、「改 喜多村覚助(印)、御横目 坂唯蔵(印)」と あり、資料には「ほ二八」と番号記載
京都六条東本願寺末寺浄光寺 理□(印)、京都六条東本願寺 末寺専徳寺覚龍(印)、京都六 条東本願寺末寺正福寺義門 (印)、京都六条東本願寺末寺 行超寺見城(印)、京都六条東 本願寺末寺福満寺恵誠(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数×高帳共」 「扣」、「改 増田耕蔵(印)、河村忠之進(印)、御横目 金森弁助(印)」とあり、資料には「ほ二九」と 番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 善照(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数×高帳共」 「扣」、「改 柴田平左衛門(印)、御横目 青木織平(印)」 とあり、資料には「ほ三〇」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺 善照(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数×高帳共」 「扣」、「改 加納豊次郎(印)、御横目 宮田仁三郎(印)」 とあり、資料には「ほ三一」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主佐 藤兵平(印)、同国同郡同村同 断富五郎(印)、同国同郡同村 同断市左衛門(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内」 「扣」、「改 加納豊三 郎(印)、御横目 宮田仁三郎(印)」とあり、資 料には「ほ三二」と番号記載
京都六条東本願寺末寺専徳寺 円龍(印)、京都六条東本願寺 末寺正福寺義門(印)、京都六 条東本願寺末寺行超寺見城 (印)、京都六条東本願寺末寺 福満寺恵然(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、綴じ紐なし、表紙「三冊之内 但人数 ×高帳共」 「村扣」、「改 石崎喜多右衛門(印)、 御横目 篠田伝蔵(印)」とあり、資料には「ほ三 三」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ほ35	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	元治二乙丑年五月日	1865	縦	1
	ほ36	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	元治二乙丑年五月日	1865	縦	1
	ほ37	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	慶応二丙寅年五月日	1866	縦	1
	ほ38	西本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	慶応四戊辰年五月日	1868	縦	1
	ほ39	美濃国安八郡浅草東村家数人数ノ高御改帳	慶応四戊辰年五月日	1868	縦	1
	ほ40	東本願寺宗美濃国安八郡浅草東村宗門御改帳	明治三庚午年五月日	1870	縦	1
	ほ41	家数人数増減御改帳	嘉永六癸丑年六月	1853	縦	1
	ほ42	家数人数増減御改帳	慶応二丙寅年五月日	1866	縦	1
	ほ43	浅草東村五人組合御改帳扣	嘉永七甲寅年十月日	1854	縦	1
	ほ44	宗門差曳(洩)御目録	明治三庚午年五月日	1870	縦	1
	ほ45～ほ50	(欠番)				
南	ほ51	送り証文之事(大垣竹島町分在住の市右衛門・女房・男子・女子都合5人、南寺内村の引得屋敷借請け引越しにつき)	明和六己丑年十二月	1769	一紙	1
南	ほ52	古郷送り証文之事(本巢郡軽海村治助、南寺内村へ引越しにつき)	天明元辛丑年五月	1781	一紙	1
南	ほ53	古郷送り証文之事(多芸郡小倉村孫右衛門・女房都合2人、南寺内村へ引越しにつき)	文化五戊辰年八月	1808	一紙	1
南	ほ54	古郷送り証文之事(池田郡西村佐兵衛、南寺内村空家買請けへ引越しにつき)	文化九壬申年七月	1812	一紙	1
南	ほ55	古郷送り証文之事(安八郡下大樽新田甚蔵・男子・女子都合3人、南寺内村空家借請け引越しにつき)	文化十癸酉年六月	1813	一紙	1

作 成	受 取	備 考
京都六条西本願寺末寺縁覚寺善照(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数ノ高帳共」「村扣」、「改 石崎喜多右衛門(印)、御横目 篠田伝蔵(印)」とあり、資料には「ほ三四」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主佐藤兵平(印)、同国同郡同村同断富五郎(印)、同国同郡同村同断市左衛門(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内」、「改 石崎喜多右衛門(印)、御横目 篠田伝蔵(印)」とあり、資料には「ほ三五」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主佐藤兵平(印)、同国同郡同村同断富五郎(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内」、「改 石崎喜多右衛門(印)、加藤国次郎(印)、御横目 渡辺源次郎(印)」とあり、資料には「ほ三六」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺善照(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数ノ高帳共」「ヒ」、「改 佐藤幾之丞(印)、日比奥右衛門(印)」とあり、資料には「ほ三七」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主佐藤兵平(印)、同国同郡同村同断大橋富五郎(印)	宗門御改御奉行所	破損あり、表紙「三冊之内」「ヒ」、「改 佐藤幾之丞(印)、日比奥右衛門(印)」とあり、資料には「ほ三八」と番号記載
京都六条西本願寺末寺縁覚寺善照	宗門御改御役所	破損あり、表紙「三冊之内 但人数ノ高帳共」、資料には「ほ三九」と番号記載
浅草東村五人組頭七五郎(印)、同村名主兵平(印)、同村同断見名右衛門(印)、同村同断富五郎(印)、同村同断市左衛門(印)	御代官御役所	破損あり、表紙「浅草東村」、「改 喜多村覚助(印)、御横目 坂唯蔵(印)」とあり、資料には「ほ四〇ノ一」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主富五郎(印)、同国同郡同村同断佐藤兵平(印)	御代官御役所	破損あり、表紙「浅草東村」、「改 石崎喜多右衛門(印)、加藤国次郎(印)、御横目 渡辺源次郎(印)」とあり、資料には「ほ四一」と番号記載
浅草東村五人組頭七五郎、同村名主兵平、同村同断皆右衛門、同村同断富五郎、同村同断市左衛門	御代官御役所	破損あり、資料には「ほ四〇ノ二」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村名主佐藤兵平、同国同郡同村同断大橋富五郎	民政寮御役所	破損あり、表紙「浅草東村」、資料には「ほ四二」と番号記載
善教寺状尊(印)、安八郡大垣竹嶋町年寄九八(印)、右同断市左衛門(印)、右同断安左衛門(印)	安八郡南寺内村名主新五右衛門殿、同郡同村五人組頭清七殿	
濃州本巢郡軽海村庄屋伊兵衛(印)、同国同郡同村年寄喜右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村名主庄左衛門殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	
美濃国多芸郡小倉村年寄源左衛門(印)、同国同郡同村庄屋仲右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村加勢名主新五右衛門殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	
美濃国池田郡西村五人組頭左之右衛門(印)、同国同郡同村名主磯右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	
美濃国安八郡下大桧新田年寄元右衛門(印)、同国同郡同村庄屋園右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
南	ほ56	古郷送り証文之事（厚見郡高桑村藤左衛門・女房・女子都合3人、南寺内村空家借請け引越しにつき）	文化十癸酉年九月	1813	一紙	1
南	ほ57	送り手形之事（南寺内村三四郎儀、7か年以前に俵町へ引越しの処、この度古郷南寺内村へ引越しにつき）	文化十四丁丑年六月	1817	一紙	1
南	ほ58	古郷送り証文之事（船町在住の源七・女房・男子・女子都合5人、南寺内村へ引越しにつき）	文政元戊寅年十一月	1818	一紙	1
南	ほ59	古郷送り証文之事（安八郡牧村太八・女房・男子都合4人、南寺内村空家借請け引越しにつき）	文政二己卯年九月	1819	一紙	1
南	ほ60	古郷送証文之事（多芸郡小倉村丹次、南寺内村へ引越しにつき）	文政二己卯年十二月	1819	一紙	1
南	ほ61	古郷送り証文之事（安八郡平村伝八、南寺内村空家借請け引越しにつき）	文政七甲申年閏八月	1824	一紙	1
南	ほ62	古郷送り証文之事（安八郡柳瀬村利助、加納宅左衛門組中間奉公の処、南寺内村空家借請け引越しにつき）	文政八乙酉年六月	1825	一紙	1
南	ほ63	古郷送り証文之事（安八郡大垣善教寺門前貸屋在住の常八・女房・男子・女子都合5人、南寺内村空家買請け引越しにつき）	文政八乙酉年七月	1825	一紙	1
南	ほ64	古郷送り証文之事（安八郡大垣善教寺門前貸屋在住の周助・女房・男子・女子都合4人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ65	古郷送り証文之事（安八郡大垣善教寺門前貸屋在住の宇兵衛・女房・女子都合3人、南寺内村の空家買請け引越しにつき）	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
南	ほ66	古郷送り証文之事（安八郡大垣善教寺門前貸屋在住の又四郎・女房・男子・女子都合6人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
南	ほ67	古郷送り証文之事（安八郡牧村市兵衛・女房都合2人、南寺内村の空家買請け引越しにつき）	文政九丙戌年六月	1826	一紙	1
南	ほ68	古郷送り証文之事（池田郡宮地村八百蔵・女房・男子・女子都合4人、南寺内村の空家買請け引越しにつき）	文政九丙戌年九月	1826	一紙	1
南	ほ69	古郷送り証文之事（安八郡高屋村休蔵・女房・男子都合3人、南寺内村へ引越しにつき）	文政九丙戌年十一月	1826	一紙	1
南	ほ70	古郷送り証文之事（池田郡溝尻村卯助儀、矢部翁助殿組中間奉公勤めにて、南寺内村の空家買請け引越しにつき）	天保八丁酉年正月	1837	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国厚見郡高桑村五人組頭林之助(印)、同国同郡同村庄屋宇右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	
大垣俵町年寄仁左衛門(印)、同勝太夫(印)、同孫左衛門(印)	南寺内村附名主治郎九殿、同村五人組頭嘉兵衛殿	
美濃国安八郡大垣船町年寄彦助(印)、同断九太夫(印)、同断助一(印)、同断勝太夫(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主勘助殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	
尾州御領美濃国安八郡牧村組頭彦八(印)、同国同郡同村庄屋庄六(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主嘉兵衛殿	
美濃国多芸郡小倉村年寄儀右衛門(印)、同国同郡同村庄屋善六(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	
美濃国安八郡平村五人組頭利兵次(印)、同国同郡同村同断三右衛門(印)、同国同郡同村名主周助(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	
美濃国安八郡柳瀬村名主喜平(印)、同国同郡同村同断嘉市(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村附名主市次郎殿	
美濃国安八郡大垣御掛所善教寺知恩(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	
美濃国安八郡大垣御掛所善教寺知恩(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ六五」と番号記載
美濃国安八郡大垣御掛所善教寺知恩(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ六六」と番号記載
美濃国安八郡大垣御掛所善教寺知恩(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ六七」と番号記載
美濃国安八郡牧村庄屋渡辺太右衛門(印)、同国同郡同村五人組頭伝右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ六八」と番号記載
美濃国池田郡宮地村五人組頭三左衛門(印)、同国同郡同村名主甚左衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ六九」と番号記載
美濃国安八郡高屋村五人組頭伝右衛門(印)、同国同郡同村附名主半之丞(印)、同国同郡同村同断助左衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ七〇」と番号記載
美濃国池田郡溝尻村五人組頭源吾(印)、同国同郡同村名主猪右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭四五右衛門殿	資料には「ほ七一」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ71	古郷送り証文之事（不破郡若森村武蔵儀、南寺内村名主四五右衛門の養子につき）	天保十五甲辰年五月	1844	一紙	1
南	ほ72	古郷送り証文之事（安八郡下開発村左蔵儀、近来病身にて南寺内村助蔵方へ懸人になるにつき）	嘉永七甲寅年四月	1854	一紙	1
南	ほ73	送り手形之事（大垣船町武八貸屋在住の勇蔵、寺内村へ引越しにつき）	安政四丁巳年八月	1857	一紙	1
南	ほ74	古郷送り証文之事（安八郡牧村栄次郎、南寺内村兵吉方へ懸人になり引越しにつき）	安政五戊午年四月	1858	一紙	1
南	ほ75	古郷送り証文之事（厚見郡江崎村小右衛門娘こと、南寺内村弥七方へ縁付けにつき）	安政五年午四月	1858	一紙	1
南	ほ76	古郷送り証文之事（羽栗郡本郷村栄吉、南寺内村の空家借請け引越しにつき）	万延元庚申年四月	1860	一紙	1
南	ほ77	古郷送り証文之事（石津郡高須大工町石屋和吉、南寺内村忠右衛門方へ懸人になり引越しにつき）	万延元庚申年四月	1860	一紙	1
南	ほ78	古郷送り証文之事（羽栗郡笠松村安兵衛・母・女房共3人、南寺内村の空家買請け引越しにつき）	文久二壬戌年十一月	1862	一紙	1
南	ほ79	覚（船町治三郎、善教寺門前貸屋へ引越しにて寺送り差上げにつき）	元治二乙丑年正月	1865	一紙	1
南	ほ80	古郷送証文之事（安八郡墨俣村金三郎・女房・男子・女子都合8人、南寺内村の空家借請け引越しにつき）	元治二乙丑年二月	1865	一紙	1
南	ほ81	送り手形之事（船町喜六妹たつ、南寺内村安吉方へ縁付けにつき）	慶応三丁卯年四月	1867	一紙	1
南	ほ82	縁付一札之事（真蔵妹とめ、太平女房に遣わしにつき）	慶応四戊辰年四月	1868	一紙	1
南	ほ83	古郷送り証文之事（安八郡北方村善三郎・父・女房都合3人、南寺内村伝吉方へ懸人になり引越しにつき）	慶応四戊辰年七月	1868	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国不破郡若森村五人組頭勘助(印)、同国同郡同村同断平助(印)、同国同郡同村名主源左衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村同断四五右衛門殿、同国同郡同村五人御組頭権助殿、同国同郡同村同断清左衛門殿	資料には「ほ七二」と番号記載
美濃国安八郡下開発村五人組頭喜兵衛(印)、同国同郡同村同断彦市(印)、同国同郡同村名主旧右衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主四五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿	付箋貼付、資料には「ほ七三」と番号記載
大垣船町年寄大橋六太夫(印)、同沢三八(印)、同喜右衛門(印)、同国枝一左衛門(印)	寺内村御名主衆	資料には「ほ七四」と番号記載
尾州御領分安八郡牧村御百姓代長四郎(印)、同国同郡同村庄屋庄七(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村右同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭幸右衛門殿	資料には「ほ七五」と番号記載
五人組頭久之輔(印)、庄屋塩谷新右衛門(印)	南寺内村御名主新五郎殿、同断加兵衛殿	資料には「ほ七六」と番号記載
美濃国羽栗郡本郷村五人組頭栄蔵(印)、同国同郡同村庄屋喜助(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭幸右衛門殿	資料には「ほ七七」と番号記載
美濃国石津郡高須大工町庄屋嘉兵衛(印)、同国同郡右同所五人組頭新三郎(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主成田四郎左衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ七八」と番号記載、付箋あり
美濃国羽栗郡笠松村庄屋重右衛門(印)、同国同郡同村年寄源助(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭幸右衛門殿	資料には「ほ七九」と番号記載
船町年寄大橋五兵衛(印)、同左衛門(印)、同沢彦助(印)、同沢三八(印)、同国枝一左衛門(印)	御掛所善教寺様御納所衆	資料には「ほ八〇」と番号記載
美濃国安八郡墨俣村庄屋年寄兼沢井亮治郎(印)、同断加野惣之助(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ八一」と番号記載
大垣船町年寄年寄安田左衛門(印)、同沢彦助(印)、同片山孫左衛門(印)、同国枝一左衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主成田新五右衛門殿、同断嘉兵衛殿	資料には「ほ八二」と番号記載
林入方五人組頭伊左衛門(印)、同村名主磯七(印)	南寺内村御役人衆中様	資料には「ほ八三」と番号記載
美濃国安八郡北方村庄屋立川三右衛門(印)、同国同郡同村五人組頭清水八郎次(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主成田四郎左衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ八四」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ84	古郷送証文之事（羽栗郡本郷村丈助・女房・子都合3人、南寺内村の貸家へ引越しにつき）	明治二己巳年三月	1869	一紙	1
南	ほ85	故郷送り証文之事（中嶋郡新井村庄屋弟半助、南寺内村加兵衛方へ懸人に差遣わしにつき）	明治三庚午年八月	1870	一紙	1
南	ほ86	〔多芸郡小倉孫右衛門・女房都合2人、東本願寺宗長勝寺檀那につき寺手形〕	文化五戊辰年八月	1808	一紙	1
南	ほ87	〔安八郡築捨村喜三郎、東本願寺宗本浄寺檀那につき寺手形〕	文化九壬申年二月	1812	一紙	1
南	ほ88	〔安八郡狐穴村卯蔵・女房都合2人、東本願寺宗大泉寺檀那につき寺手形〕	文化九壬申年十月	1812	一紙	1
南	ほ89	〔中嶋郡狐穴村卯蔵・女房都合2人、東本願寺宗大泉寺檀那につき寺手形〕	文化九壬申年十二月	1812	一紙	1
南	ほ90	〔多芸郡大野村定蔵・女房・女子都合3人、東本願寺宗谷念寺檀那につき寺手形〕	文化十癸酉年二月	1813	一紙	1
南	ほ91	〔安八郡神戸村伊三郎、西本願寺宗性顕寺檀那につき寺手形〕	文化十癸酉年十月	1813	一紙	1
南	ほ92	〔安八郡大森村菊蔵、東本願寺宗智雲寺檀那につき寺手形〕	文化十一甲戌年十一月	1814	一紙	1
南	ほ93	〔多芸郡下笠村繁蔵、東本願寺宗誓運寺檀那につき寺手形〕	文化十一甲戌年十一月	1814	一紙	1
南	ほ94	〔安八郡大垣新町喜蔵・男子・女子都合3人、東本願寺宗長勝寺檀那につき寺手形〕	文化十四丁丑年十一月	1817	一紙	1
南	ほ95	〔安八郡大垣新町医師柳珉・女房・女子都合3人、東本願寺宗順念寺檀那につき寺手形〕	文政元戊寅年五月	1818	一紙	1
南	ほ96	〔安八郡大垣船町源七・女房・男子・女子都合5人、東本願寺宗浄専寺檀那につき寺手形〕	文政元戊寅年十一月	1818	一紙	1
南	ほ97	〔安八郡北今ヶ淵村多四郎・女房・男子都合3人、東本願寺宗大泉寺檀那につき寺手形〕	文政二己卯年十二月	1819	一紙	1
南	ほ98	〔多芸郡小倉村丹次、東本願寺宗大泉寺檀那につき寺手形〕	文政二己卯年十二月	1819	一紙	1
南	ほ99	〔大野郡呂久村平次、東本願寺宗蓮生寺檀那につき寺手形〕	文政五壬午年三月	1822	一紙	1
南	ほ100	〔不破郡笠毛村休内・女房・男子・女子都合4人、東本願寺宗徳勝寺檀那につき寺手形〕	文政六癸未年十一月	1823	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国羽栗郡本郷村庄屋喜八(印)、同国同郡同村五人組頭休平(印)	大垣高田山御掛所善教寺殿御役僧衆	資料には「ほ八五」と番号記載
濃州中嶋郡新井村庄屋幸吉(印)、同国同郡同村庄屋半兵衛(印)	安八郡南寺内村名主成田四郎左衛門殿、同郡同村名主加兵衛殿、同郡同村組頭音八殿	資料には「ほ八六」と番号記載
美濃国安八郡大垣長勝寺法城(印)	美濃国安八郡南寺内村五人組頭嘉兵衛殿、同国同郡同村加勢名主新五右衛門殿、同国同郡同村附名主治郎九殿	資料には「ほ八七」と番号記載
美濃国安八郡築捨村本浄寺寂円(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭加兵衛殿	資料には「ほ八八」と番号記載
美濃国安八郡大垣大泉寺恵深(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ八九」と番号記載
美濃国安八郡大垣大泉寺恵深(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九〇」と番号記載
美濃国安八郡大垣谷念寺円霊(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九一」と番号記載
美濃国安八郡末寺村性顕寺了締(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九二」と番号記載
美濃国安八郡善光村智雲寺慈性(印)	美濃国安八郡南寺内村名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九三」と番号記載
美濃国安八郡大垣誓運寺宣順(印)	美濃国安八郡南寺内村名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九四」と番号記載
美濃国安八郡大垣長勝寺法城(印)	美濃国安八郡南寺内村名主治郎九殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九五」と番号記載
美濃国安八郡大垣順念寺義測(印)	美濃国安八郡南寺内村附名主勘助殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九六」と番号記載
美濃国安八郡大垣浄専寺秀道(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主勘助殿、同国同郡同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ九七」と番号記載
美濃国安八郡大垣大泉寺恵深(印)	美濃国安八郡南寺内村名主加兵衛殿	資料には「ほ九八」と番号記載
美濃国安八郡大垣大泉寺恵深(印)	美濃国安八郡南寺内村名主加兵衛殿	資料には「ほ九九」と番号記載
美濃国大野郡呂久村蓮生寺海浄(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一〇一」と番号記載
美濃国不破郡青柳村徳勝寺速成(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一〇二」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ101	〔多芸郡栗笠村惣兵衛・母都合2人、西本願寺宗浄円寺檀那につき寺手形〕	文政六癸未年十一月	1823	一紙	1
南	ほ102	〔石津郡駒野新田平治・女房・男子・女子都合4人、東本願寺宗円楽寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年五月	1825	一紙	1
南	ほ103	〔安八郡長沢村善弥、東本願寺宗福乗寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年六月	1825	一紙	1
南	ほ104	〔安八郡柳瀬村利助、東本願寺宗覚養寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年六月	1825	一紙	1
南	ほ105	〔安八郡大垣善教寺貸屋在住の常八・女房・男子・女子都合5人、東本願寺宗光泉寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年七月	1825	一紙	1
南	ほ106	〔安八郡大垣善教寺貸屋在住の甚助、西本願寺宗縁覚寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年七月	1825	一紙	1
南	ほ107	〔安八郡大垣善教寺貸屋在住の周助・女房・男子・女子都合4人、高田宗善教寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ108	〔安八郡大垣善教寺貸屋在住の吉蔵・女房・男子・女子都合4人、東本願寺宗誓運寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ109	〔安八郡大垣善教寺貸屋の宇兵衛・女房・女子都合3人、東本願寺宗円休寺檀那につき寺手形〕	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
南	ほ110	寺送り一札（室村勝右衛門娘、南寺内村伊三郎方へ縁付につき）	文政九丙戌年六月日	1826	一紙	1
南	ほ111	〔池田郡宮地村八百蔵・女房・男子・女子都合4人、東本願寺宗西法寺檀那につき寺手形〕	文政九丙戌年九月	1826	一紙	1
南	ほ112	〔安八郡高屋村休蔵・女房・男子都合3人、東本願寺宗本覚寺檀那につき寺手形〕	文政九丙戌年十一月	1826	一紙	1
南	ほ113	〔不破郡若森村武蔵、東本願寺宗浄宝寺檀那につき寺手形〕	天保十五甲辰年五月	1844	一紙	1
南	ほ114	〔安八郡下開発村左蔵、西本願寺宗常源寺檀那につき寺手形〕	嘉永七甲寅年四月	1854	一紙	1
南	ほ115	〔安八郡牧村常次、東本願寺宗笠縫寺檀那につき寺手形〕	安政五戊午年四月	1858	一紙	1
南	ほ116	〔羽栗郡本郷村栄吉、東本願寺宗受円寺檀那につき寺手形〕	万延元庚申年四月	1860	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国安八郡大垣浄円寺恵猛(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一〇三」と番号記載
美濃国安八郡大藪村円楽寺大林(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村附名主市次郎殿	資料には「ほ一〇四」と番号記載
美濃国安八郡長沢村福乗寺諦慈(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村附御名主市次郎殿	資料には「ほ一〇五」と番号記載
美濃国安八郡柳瀬村覚養寺顕道(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村附御名主市次郎殿	資料には「ほ一〇六」と番号記載
美濃国多芸郡多芸入方光泉寺良教(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	剥離付箋2点あり、資料には「ほ一〇七」と番号記載
美濃国安八郡大垣縁覚寺靈巖(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一〇八ノ一」と番号記載
美濃国安八郡大垣御掛所善教寺知恩(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一〇八ノ二」と番号記載
美濃国安八郡大垣誓運寺宜順(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ一〇九」と番号記載
美濃国安八郡木戸村円休寺宝立(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ一〇〇」と番号記載
青柳村徳立寺	大垣浄覚寺殿	資料には「ほ一八〇」と番号記載
美濃国池田郡般若畑村西法寺恵見(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ一一〇」と番号記載
美濃国安八郡直江村本覚寺義導(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	資料には「ほ一一一」と番号記載
美濃国不破郡若森村浄宝寺(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村同断四五右衛門殿、同国同郡同村五人組頭権助殿、同国同郡同村同断清左衛門殿	「右浄宝寺無住ニ付切石村了伝寺了昨代判仕者也」とあり、資料には「ほ一一二」と番号記載
美濃国安八郡下宮村常源寺恵実(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主四五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿	資料には「ほ一一三」と番号記載
当国安八郡築捨村本浄寺一	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村右同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	付箋貼付、資料には「ほ一一四」と番号記載
美濃国安八郡笠縫村受円寺了幡(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主新五右衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭幸右衛門殿	

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ117	〔安八郡大垣竹嶋町森太兵衛貸屋みえ儀・男子・女子都合5人、日蓮宗実相寺檀那につき手形〕	安政六戊己未年二月	1859	一紙	1
南	ほ118	〔石津郡高須大工町石屋和吉、東本願寺宗誓運寺檀那につき手形〕	万延元庚申年四月	1860	一紙	1
南	ほ119	〔羽栗郡笠松村安兵衛・母・女房都合3人、東本願寺宗養楽寺檀那につき手形〕	文久二壬戌年十一月	1862	一紙	1
南	ほ120	〔安八郡墨俣村金三郎・女房・男子・女子都合8人、東本願寺宗善念寺檀那につき手形〕	元治二乙丑年二月	1865	一紙	1
南	ほ121	〔安八郡大垣田町善教寺貸屋御伝馬長屋岩吉・女房・男子・女子都合6人、東本願寺宗善念寺檀那につき手形〕	慶応四戊辰年閏四月	1868	一紙	1
南	ほ122	〔安八郡北方村善三郎、西本願寺宗浄円寺檀那につき手形〕	慶応四戊辰年七月	1868	一紙	1
南	ほ123	御請状之事（安八郡楽田村庄兵衛・妹・男子・女子都合5人、南寺内村市郎兵衛引得屋敷に引越しにつき）	安永五丙申年十二月	1776	一紙	1
南	ほ124	御請状之事（不破郡久徳村与三兵衛後家倅文吉、南寺内村与右衛門方養子につき）	天明五年	1785	一紙	1
南	ほ125	御請状之事（安八郡福束村重之助、南寺内村与三次引得屋敷借請け引越しにつき）	文化十一甲戌年六月	1814	一紙	1
南	ほ126	御請状之事（池田郡草深村岩蔵、南寺内村へ引越しにつき）	文化十二乙亥年二月	1815	一紙	1
南	ほ127	下御請状之事（寺内村藤助、井田藤右衛門組下中間奉公に召し抱えられるにつき）	文化十二乙亥年十二月	1815	一紙	1
南	ほ128	御請状之事（城下船町正覚寺貸屋に罷り在りの源七・女房・男子・女子都合5人、南寺内村彦蔵方由緒在るにて引越しにつき）	文政元年戊寅年十一月	1818	一紙	1
南	ほ129	下御請状之事（南寺内村茂兵衛、加納宅左衛門御組中間奉公召し抱えられるにつき）	文政四辛巳年二月	1821	一紙	1
南	ほ130	御請状之事（美濃国池田郡片山文三郎・女房・男子・女子都合5人、南寺内村に引越しにつき）	文政四辛巳年十一月	1821	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国安八郡大垣実相寺目滂 (印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主新五右衛門殿、同国同郡 同村同断加兵衛殿、同国同 郡同村五人組頭乙八殿	資料には「ほ一一五」と番号記載
美濃国安八郡大垣誓運寺英順 (印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主新五右衛門殿、同国同郡 同村同断加兵衛殿、同国同 郡同村五人組頭幸右衛門殿	資料には「ほ一一七」と番号記載
美濃国安八郡原村養楽寺(印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主新五右衛門殿、同国同郡 同村同断加兵衛殿、同国同 郡同村五人組頭幸右衛門殿	資料には「ほ一一八」と番号記載
美濃国安八郡大垣善念寺大璉 (印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主新五右衛門殿、同国同郡 同村同断嘉兵衛殿、同国同 郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ一一九」と番号記載
美濃国安八郡大垣善念寺大璉 (印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主成田四郎左衛門殿、同国 同郡同村同断加兵衛殿、同 国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ一二〇」と番号記載
美濃国安八郡大垣浄円寺恵究 (印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主成田四郎右衛門殿、同国 同郡同村同断加兵衛殿、同 国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ一二一」と番号記載
本人庄兵衛(印)、美濃国安八 郡大垣中町請人久兵衛(印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主安右衛門殿、同国同郡同 村五人組頭加兵衛殿	資料には「ほ一二二」と番号記載
本人文吉(印)、同村請人源七 (印)	南寺内村名主庄左衛門殿、 同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ一二三」と番号記載
惣二郎組本人重之助、同組勘 蔵、同与三次、同長吉(印)、 同門次、同喜平、同組頭次惣 三郎	南寺内村名主治郎九殿、同 村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ一二四」と番号記載
本人 岩 蔵(印)、請人甚 蔵 (印)、同喜作(印)、同庄八、 同善三(印)	南寺内村附名主治朗九殿、 同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ一二五」と番号記載
寺内村奉公人藤助親藤三郎 (印)、同村請常吉(印)、同村 五人組頭重右衛門(印)、同村 同断利平次(印)、同村名主治 郎兵衛(印)、同村同断覚左衛 門(印)、南寺内村与三七(印)	村御役人衆	資料には「ほ一二六」と番号記載
本人 源七(印)、請人与七 (印)、同弥三次(印)	美濃国安八郡南寺内村御名 主勘助殿、同国同郡同村五 人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ一二七」と番号記載
南寺内村奉公人茂兵衛(印)、 同村請人平七(印)、右同断林 蔵(印)	寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一二八」と番号記載
本人文三郎(印)、請人弥三八 (印)、同藤右衛門(印)、同平 四郎(印)	南寺内村名主加兵衛殿	資料には「ほ一二九」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ131	仕上ル御請書之覚（南寺内村百姓仙助倅作弥、人柄宜しからず、手錠村預かり申し付けのところ、心応改め、親・五人組合、村役人へ詫びにつき）	文政六癸未年正月	1823	一紙	1
南	ほ132	御請状之事（美濃国不破郡笠毛村百姓休内・女房・男子・女子都合4人、南寺内村へ引越しにつき）	文政六癸未年十一月	1823	一紙	1
南	ほ133	御請状之事（近江国坂田郡中多羅村津右衛門・女房・男子都合4人、寺内村へ引越しにつき）	文政八年酉四月	1825	一紙	1
南	ほ134	御請状之事（安八郡柳瀬村利助、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年六月	1825	一紙	1
南	ほ135	御請状之事（安八郡大垣善教寺貸屋在住の常八・女房・男子・女子都合5人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年七月	1825	一紙	1
南	ほ136	御請状之事（安八郡大垣善教寺門前貸家在住の惣兵衛・女房・女子都合4人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ137	御請状之事（安八郡大垣善教寺門前貸家在住の周助、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ138	御請状之事（安八郡大垣善教寺門前貸家在住の甚助、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年八月	1825	一紙	1
南	ほ139	《身元などの請状》	文政8年	1825	一紙	1
南	ほ140	御請状之事（安八郡大垣善教寺門前貸家在住の又四郎・女房・男子・女子都合6人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
南	ほ141	御請状之事（安八郡林本郷村出屋敷在住の惣太郎・岩吉都合2人、南寺内村へ引越しにつき）	文政八乙酉年	1825	一紙	1
南	ほ142	御請状之事（安八郡牧村百姓市兵衛・女房都合2人、南寺内村へ引越しにつき）	文政九丙戌年六月	1826	一紙	1
南	ほ143	御請状之事（安八郡高屋村百姓休蔵・女房・男子都合3人、南寺内村へ引越しにつき）	文政九丙戌年十一月	1826	一紙	1
南	ほ144	下御請状之事（安八郡牧村源介、加納宅右衛門組中間奉公に召し抱えられるにつき）	文政十三庚寅十月	1830	一紙	1

作 成	受 取	備 考
南寺内村仙助倅作弥、同村同人親仙助、同村御百姓代長五郎、同村名主加兵衛、今村町分名主市次郎、今村入方名主市郎次、南頼村名主伊蔵、禾森村名主弥惣七、禾新田名主留蔵	御代官御役所	資料には「ほ一三〇」と番号記載
本人 休内(印)、請人 能七(印)、同林蔵(印)、同弥助(印)	南寺内村名主加兵衛殿	資料には「ほ一三一」と番号記載
本人 津右衛門、請人 久兵衛(印)、同民蔵(印)、同嘉吉(印)	寺内村名主加兵衛殿	資料には「ほ一三二」と番号記載
本人 利助(印)、請人 重助(印)、右同断武作(印)	南寺内村御名主加兵衛殿、同村附御名主市次郎殿	資料には「ほ一三三」と番号記載
本人 常八(印)、請人 又七(印)、同村蔵(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一三四」と番号記載
本人 惣兵衛(印)、請人 兵吉(印)、同兵治(印)、同為蔵(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一三五」と番号記載
本人 周助(印)、請人 並蔵(印)、右同断市次郎(印)	南寺内村五人組頭武作殿、同村御名主加兵衛殿	資料には「ほ一三六」と番号記載
本人 甚助(印)、請人 利助(印)、右同断市次郎(印)	南寺内村五人組頭武作殿、同村御名主加兵衛殿	破損あり、資料には「ほ一三七」と番号記載
		現在所在不明
本人 又四郎(印)、請人 周助(印)、右同断市次郎(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭武作殿	『大垣市史 資料編 近世二』pp. 515～516に収載、資料には「ほ一三九」と番号記載
本人 惣太郎(印)、請人 儀助(印)、同宅右衛門(印)、同権助(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同国同郡同村附御名主市次郎殿	資料には「ほ一四〇」と番号記載
本人 市兵衛(印)、請人 弥惣次代判林蔵(印)、同与七(印)、同彦内、庄之助後家(印)、同林蔵(印)、同庄六(印)	南寺内村御名主加兵衛殿、同村五人御組頭武作殿	資料には「ほ一四一」と番号記載
本人 休蔵(印)、請人 与七(印)、同彦内、同庄之助後家、同林蔵(印)、同市兵衛(印)、同庄六(印)	南寺内村御名主加兵衛殿、同村五人組頭武作殿	資料には「ほ一四二」と番号記載
安八郡牧村奉公人源助(印)、同郡同村請人此右衛門(印)、同郡南寺内村同断藤右衛門(印)、同郡牧村組頭伝右衛門(印)、同郡同村庄屋円七(印)	安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同郡同村同断新五右衛門殿	資料には「ほ一四三」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ145	下御請状之事（安八郡牧村源右衛門、平松三郎治組中間奉公に召し抱えられるにつき）	天保二年卯十一月日	1831	一紙	1
南	ほ146	下請証文之事（八五郎儀、先年中間奉公の処、このたび三本木村役人衆代替にて請状改める様につき）	天保四癸巳年七月	1833	一紙	1
南	ほ147	御請状之事（溝尻村百姓宇助、南寺内村へ引越しにつき）	天保七丙申年十二月	1836	一紙	1
南	ほ148	差入申一札之事（高橋平右衛門請状調印につき）	天保十四癸卯年	1843	一紙	1
南	ほ149	下請状一札之事（綾野村善助、病身にて仲間奉公望みの処、村役人共年越しにて受状新たに申上げにつき）	天保十五年辰二月	1844	一紙	1
南	ほ150	文助請合之事（今村入方の件につき）	天保十五甲辰年七月	1844	一紙	1
南	ほ151	請合一札之事（高須町由右衛門、辰次郎別家借請けにつき）	天保十五甲辰年八月	1844	一紙	1
南	ほ152	一札之事（庄吉、与三七方に借宅するにて請状）	天保十五甲辰年八月	1844	一紙	1
南	ほ153	一札之事（堀重之助、持筒組に召抱えにて請状）	天保十五甲辰年十月	1844	一紙	1
南	ほ154	差入申請状一札之事（長良百合蔵組左官方助蔵義、南寺内村勝次方借屋に住居したきにつき）	天保十五甲辰年十月	1844	一紙	1
南	ほ155	書付之覚（林幸平、浅野屑右衛門組下へ足軽奉公に召し抱えにて請状）	嘉永二己酉年六月	1849	一紙	1
南	ほ156	下請一札之事（山田源之助、岩手組奉公につき請状）	嘉永二己酉年七月	1849	一紙	1
南	ほ157	一札之事（大屋勘兵衛組、岡崎久助召抱えにて請状）	嘉永六癸丑年五月	1853	一紙	1
南	ほ158	一札之事（三浦太郎左衛門組、古沢喜代之助召抱えにて請状）	嘉永六癸丑年六月	1853	一紙	1
南	ほ159	差入申一札之事（波須村喜重郎、病氣にて六右衛門小家借受け養生願いにつき）	安政六己未年八月日	1859	一紙	1
南	ほ160	差入申一札之事（ふみ義、先年後家になり清七引請け明家に住居の処、このたび無帳者改めにて、これまで通り村方住居願いにつき）	安政六己未年八月日	1859	一紙	1
南	ほ161	差上申一札之事（多芸郡飯田村義八、病氣にて作間染物織したく当分家守として、三八方裏の作物入小屋借受けたきにつき）	安政六己未年八月	1859	一紙	1
南	ほ162	差出申一札之事（利平妹病氣にて養生のため小屋当分借用につき）	安政六己未年九月	1859	一紙	1

作 成	受 取	備 考
安八郡牧村奉公人源右衛門(印)、同郡同村請人孫市(印)、同郡南寺内村請人藤右衛門(印)、同郡牧村組頭彦重郎(印)、同郡同村庄屋円七(印)	安八郡南寺内村御名主加兵衛殿、同郡同村御名主四五右衛門殿	資料には「ほ一四四」と番号記載
南寺内村本人八五郎(印)、三本木村請人森右衛門(印)、同村同断嘉左衛門(印)、南寺内村請人權助	南寺内村御名主加兵衛殿、同村同断四五右衛門殿	資料には「ほ一四五」と番号記載
本人宇助(印)、請人惣兵衛(印)、組親久弥(印)	南寺内村御名主加兵衛殿、同村右同断四五右衛門殿	資料には「ほ一四六」と番号記載
請人園部志津太(印)、同佐藤平之助(印)	地内村名主四五右衛門殿、同村嘉兵衛殿	資料には「ほ一八一」と番号記載
綾野村年寄清次郎(印)、同村庄屋村右衛門(印)	南寺内村御名主衆	「南寺内村証人藤右衛門(印)」の奥印あり、資料には「ほ一四七」と番号記載
今村入方請人糸右衛門(印)、文助(印)	南寺内村御名主様	「丹次組」とあり、資料には「ほ一八二」と番号記載
俵町高木屋宇平(印)	南寺内村辰次郎殿	資料には「ほ一八三」と番号記載
本町嶋の屋平助(印)、堤町□屋惣助(印)	寺内むら兵吉殿	資料には「ほ一八四」と番号記載
藤田儀左衛門(印)、堀喜十郎(印)	加兵衛殿、四五右衛門殿、権助殿	資料には「ほ一八五」と番号記載
左官方助蔵(印)、江月村庄屋市兵衛(印)	寺内村名主四五右衛門殿、同断嘉兵衛殿	資料には「ほ一四八」と番号記載
林増右衛門(印)、親類大橋類助(印)	寺内村御名主嘉兵衛殿、同村五人御組頭清左衛門殿	資料には「ほ一八六」と番号記載
山田喜一(印)、加納五市郎(印)、渡部長十郎(印)	南寺内村加兵衛様、清左衛門様	包紙「山田源之助」、資料には「ほ一八七」と番号記載
福東村庄屋兄休太夫(印)、親類山田喜一(印)	嘉兵衛殿、清左衛門殿	資料には「ほ一八八」と番号記載
親類山田彦三郎(印)、山田斧三郎(印)	南寺内村加兵衛殿	資料には「ほ一八九」と番号記載
波須村親請人長蔵(印)、同村親類請人吉兵衛(印)、同村名主桂左衛門(印)	南寺内村御役人衆中様	資料には「ほ一九〇」と番号記載
引請人船町徳田屋清七(印)、加印同町加賀屋文蔵(印)	南寺内村御名主新五右衛門殿、同村同断加兵衛殿	資料には「ほ一九一」と番号記載
義八祖母請人当村甚九郎後家(印)、同宮平(印)、組頭忠三郎(印)	南寺内村御役人衆中様	資料には「ほ一九二」と番号記載
中町鍛屋利平(印)、加印藤九屋助七(印)、組頭薬屋甚吉(印)	寺内村御名主様	資料には「ほ一九三」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
南	ほ163	請状一札之事（南寺内村方喜宝院空家を南頼村東庵借り請け、身上手切れにて当分住居いたしたきにつき）	安政六丁未年九月	1859	一紙	1
南	ほ164	御頼申一札之事（竹島町庄助、老年にて通い勤めしたき旨頼み申すにて、南寺内村方清左衛門控小家借り請けたきにつき）	安政六己未年九月	1859	一紙	1
南	ほ165	差上申証書之事（牛嶋延之助、南寺内村へ住居の所、改めにて書付差上げにつき）	安政六己未年十月	1859	一紙	1
南	ほ166	覚（国枝市太郎儀、先年組奉公にて請判成し下しにつき）	万延元庚申年四月	1860	一紙 （包紙共）	1
南	ほ167	請状下請之事（清水定之助儀、先年組奉公に出るにつき）	万延二辛酉年二月	1861	一紙	1
南	ほ168	下請一札之事（安八郡牧村喜平、傍嶋丑蔵組下中間に召抱えにつき）	文久元辛酉年六月	1861	一紙 （包紙共）	1
南	ほ169	〔願いの趣聞済みにて、郷送り・寺手形差下げにて名主に預置きにつき達〕	七月十一日		切紙	1
南	ほ170	〔安八郡大垣船町時太郎貸屋仙助・女房都合2人、西本願寺宗浄円寺檀那につき寺手形〕	明治元戊辰年十月	1868	一紙	1
南	ほ171	一札之事（大垣船町時太郎貸屋仙助、不如意にて南寺内村太助方由緒あるにて仙助・女房都合2人、懸人になり同居したきにつき送り一札）	明治元戊辰年十月	1868	一紙	1
南	ほ172	差上申書付之事（中島郡新井村庄屋弟半助、木沢三津之丞方へ養子に差遣わしにつき請状）	明治三庚午年八月日	1870	一紙	1
南	ほ173	下請状一札之事（小三郎、中間奉公に召抱えにつき）	明治四辛未年七月	1871	一紙	1
南	ほ174	下請状一札之事（切石村喜八、中間奉公の節、養父請状調印の処、このたび使部に召抱えにて成田加兵衛請状調印に預りにつき）	明治四辛未年七月	1871	一紙	1
南	ほ175	一札之事（常助倅常次郎違筋にて、西本願寺宗縁覚寺より来年は東本願寺宗顕性寺へ宗門附けにて、当年は宗門請判済みにつき）	年号月日		一紙	1
南	ほ176	下請証文之事（八五郎、先年中間奉公の処、村役人代替わり請状改めるようにて請状印形下さるにつき）			一紙	1
南	ほ177	口上之覚（南寺内村にて山田安頑引得屋敷借り請け引越し、住居願いにつき）	寛政十二庚申年八月	1800	一紙	1
南	ほ178	乍恐奉願口上之覚（南寺内村無高百姓忠三郎、病身にて百姓勤めがたく、父・女房・娘召し連れ、俵町幸三郎へ貸置く扣屋取戻し引越しにつき）	文化元甲子年三月日	1804	一紙	1

作 成	受 取	備 考
借主南類村東庵(印)、同村親類水口屋儀助(印)、同村五人組頭半右衛門印形御役所江差上置申候間、追而調印可仕候	南寺内村御組頭庄助様御組中	資料には「ほ一四九」と番号記載
等覚坊(印)		資料には「ほ一五〇」と番号記載
牛嶋延之助(印)、親類加印米正権猪七郎(印)	寺内村御役人衆	資料には「ほ一九四」と番号記載
国枝勘之助(印)、山田喜一(印)	南寺内村名主嘉兵衛殿、同村五人組幸右衛門殿	包紙「山田喜一、国枝勘之助」、資料には「ほ一九五」と番号記載
定之助親類清水恒右衛門(印)、同人父荒川七三郎(印)	南寺内村嘉兵衛殿、幸右衛門殿	資料には「ほ一五一」と番号記載
牧村本人喜平(印)、南寺内村親類請人甚吉(印)	南寺内村名主加兵衛殿、同村五人組頭幸右衛門殿	包紙「上 牧村喜平、南寺内村請人甚吉」、資料には「ほ一五二」と番号記載
郡所調役(印)	南寺内村名主中	資料には「ほ一五三」と番号記載
美濃国安八郡大垣浄円寺恵究(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主成田四郎左衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ一五四」と番号記載
大垣船町締役安田空左衛門(印)	美濃国安八郡南寺内村御名主成田四郎左衛門殿、同国同郡同村同断加兵衛殿、同国同郡同村五人組頭音八殿	資料には「ほ一五五」と番号記載
箕浦祐蔵(印)、安部成一(印)	南寺内村御苗加兵衛殿	資料には「ほ一五六」と番号記載
南寺内村小三郎(印)、同請人桑吉(印)、同組頭同人弥五郎(印)	南寺内村名主成田嘉兵衛様	資料には「ほ一五七」と番号記載
右請人南寺内邨成田逸二郎(印)	御名主成田加兵衛殿	資料には「ほ一五八」と番号記載
一常助印	顕性寺殿	資料には「ほ一九六」と番号記載
一、一、一、南寺内村請人権助	南寺内村御名主加兵衛殿、一四五右衛門殿	資料には「ほ一九七」と番号記載
本人中嶋浅右衛門(印)、小頭久保田字八(印)、同野原園次(印)	南寺内村村役人衆	資料には「ほ一五九」と番号記載
南寺内村御百姓代市郎兵衛(印)、同村五人組頭嘉兵衛(印)、同村加勢名主新五右衛門(印)、同村附名主直次郎(印)	御代官御役所	端裏「引越之願 南寺内村忠三郎」、資料には「ほ一六〇」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ179	〔南寺内村にて犬ヶ渚村百姓作右衛門引得屋敷に有る空家買い引越し、住居したきにつき願書〕	文化九壬申年十二月	1812	一紙	1
南	ほ180	乍恐以口書奉願上候（戸田源右衛門家来高屋茂太夫、南寺内村の和田権進引得屋敷の空家買請け引越し住居したきにつき）	文化九壬申年二月	1812	一紙	1
南	ほ181	乍恐以書付奉願上候（南寺内村清水亀太郎引得屋敷に空家あるにて当分借り請け渋谷藤蔵住居したきにつき）	文化十一甲戌年四月	1814	一紙	1
南	ほ182	一札之覚（俵町貸屋在住の代八兄弟、去る12月南寺内村より当町へ引越しの処、兩人病身にて帰郷渡世の旨望み願ひ上げ、差戻しにつき）	文化十四丁丑年十月	1817	一紙	1
南	ほ183	乍恐以書付奉願上候（南寺内村無高百姓源吾・女房、3か年以前安八郡南今ヶ渚村より引越し百姓仕る処、源吾病身にて渡世成り難く2人とも古郷帰りたく望むにつき）	文政二己卯年五月	1819	一紙	1
南	ほ184	乍恐以書付奉願上候（安八郡外野村重郎次三男勘七、5か年以前南寺内村へ養子に引取りの処、不縁にて重郎次方へ差し戻したきにつき）	文政六癸未年四月	1823	一紙	1
南	ほ185	乍恐以書付奉願上候（南寺内村無高百姓佐兵衛、病身にて百姓勤めがたく、牧村藤蔵由緒あるにて、佐兵衛・女房都合2人、藤蔵懸人参りたきにつき）	文政六癸未年六月	1823	一紙	1
南	ほ186	乍恐以書付奉願上候（福田新田園四郎・倅、2人共中間奉公勤めにて、由緒ある代助方へ引越し同居したきにつき）	文政七甲申年正月	1824	一紙	1
南	ほ187	乍恐以書付奉願上候（南寺内村重兵衛、これまで高田宗善教寺檀那の処、甚願の儀にて改宗し禅宗徳秀寺檀那になりたきにつき）	文政九丙戌年六月	1826	一紙	1
南	ほ188	乍恐以書付奉願上候（安八郡牧村市兵衛・女房、南寺内村与七引得屋敷の空家買い、引越し願ひ上げにつき）	文政九丙戌年六月	1826	一紙	1
南	ほ189	乍恐以書付奉願上候（南寺内村百姓佐右衛門の倅病身にて、池田郡砂畑村仙助弟三助義、後藤孫三郎組中間奉公勤めの処、由緒あるにて婿養子にし相続願ひにつき）	文政十三庚寅年十一月	1830	一紙	1
南	ほ190	乍恐以書付奉願上候（南寺内村無高百姓茂八後家、近年病身にて渡世成り難く尾州名古屋袋町藤蔵由緒あるにて後家・男子・女子都合5人、藤蔵方へ引越し願ひにつき）	文政十三庚寅年十二月	1830	一紙	1
南	ほ191	〔磯貝藤兵衛、南寺内村の和田権進引得屋敷の空家買請け住居したきにつき願書〕	天保二辛卯年三月	1831	一紙	1
南	ほ192	〔中嶋十郎右衛門家来岩田左平、南寺内村の和田権進引得屋敷の空家買請け住居したきにつき願書〕	天保二辛卯年三月	1831	一紙	1
南	ほ193	〔吹原市三郎、江州松居久右衛門引得屋敷の空家借請け当分住居したきにつき願書〕	天保六乙未年五月	1835	一紙	1
南	ほ194	〔崎山多喜平、南寺内村の六右衛門引得屋敷の空家借請け当分住居したきにつき願書〕	天保十三壬寅年四月	1842	一紙	1

作 成	受 取	備 考
松井半兵衛組奥田健次(印)、加印清水佐助(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ一六一」と番号記載
南寺内村御百姓代庄吉(印)、同村五人組頭加兵衛(印)、同村附名主治郎九(印)	御代官御役所	附名主治郎九の印に墨消しあり、資料には「ほ一九八」と番号記載
南寺内村御百姓代庄吉(印)、同村五人組頭嘉兵衛(印)、同村附名主次郎九(印)	御代官御役所	「引得」とあり、印に墨消しあり、資料には「ほ一六二」と番号記載
大垣俵町年寄仁左衛門(印)、同勝太夫(印)、同孫左衛門(印)	南寺内村附名主治郎九殿、同村五人組頭嘉兵衛殿	資料には「ほ一六三」と番号記載
南寺内村願主源吾(印)、同村御百姓代長五郎、同村五人組頭嘉兵衛、同村附名主勘助	御代官御役所	資料には「ほ一六四」と番号記載
南寺内村願主勘四郎(印)、同村御百姓代長五郎(印)、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	印に墨消しあり、資料には「ほ一六五」と番号記載
南寺内村御百姓願主佐兵衛(印)、同村御百姓代長五郎(印)、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	「引得」とあり、印に墨消しあり、資料には「ほ一六六」と番号記載
南寺内村願主代助(印)、同村御百姓代長五郎印、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	資料には「ほ一六七」と番号記載
南寺内村願主周助事重兵衛(印)、同村五人組頭武作(印)、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	資料には「ほ一六八」と番号記載
南寺内村御百姓代留次郎(印)、同村五人組頭武作(印)、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	資料には「ほ一六九」と番号記載
南寺内村願主佐右衛門(印)、同村御百姓代権助(印)、同村名主新五右衛門(印)、同村同断加兵衛(印)	御代官御役所	印に墨消しあり、資料には「ほ一七〇」と番号記載
南寺内村願主茂八後家、同村御百姓代伝吉、同村名主新五右衛門、同村同断加兵衛	御代官御役所	資料には「ほ一七一」と番号記載
新組磯貝藤兵衛(印)、小頭宮田亦市(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ一九九」と番号記載
中嶋十郎右衛門家来森順平(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ二〇〇」と番号記載
山村定助組吹原市三郎(印)、右同人組加印外谷左平(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ二〇一」と番号記載
水野友右衛門組崎山多喜平(印)、小頭加印筑間泉助(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ二〇二」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ほ195	〔松村松右衛門引得屋敷の空家借請け当分住居したきにつき願書〕	天保十五甲辰年十二月	1844	一紙	1
南	ほ196	〔井深権八郎、南寺内村の六右衛門引得屋敷の空家借請け当分住居したきにつき願書〕	天保十五甲辰年十二月	1844	一紙	1
南	ほ197	〔戸田治部左衛門家来深貝一郎、南寺内村和田権進引得屋舗の空家買請け住居したきにつき願書〕	安政五戊午年十二月	1858	一紙 (包紙共)	1
南	ほ198	御頼申入一札之事 (扣屋敷の空家に留守居往来出入りし当分差置くの間、承知につき)	安政六己未年八月	1859	一紙 (包紙共)	1
南	ほ199	乍恐以書付奉願上候 (石津郡高須大工町石屋和吉、南寺内村忠右衛門由緒あるにて掛人になり引越し願いにつき)	万延元庚申年四月	1860	一紙	1
南	ほ200	乍恐以書付奉願上候 (羽栗郡笠松村安兵衛・母・女房都合3人、加兵衛引得屋敷の空家買請け引越し願いにつき)	文久二壬戌年十一月	1862	一紙	1
南	ほ201	乍恐以書付奉願上候 (安八郡墨俣村金三郎・女房・男子・女子都合8人、加兵衛引得屋敷の空家買請け引越し願いにつき)	元治二乙丑年二月	1865	一紙	1
南	ほ202	御願奉申上候 (倅2人病死にて宗門帳除き願いにつき)	慶応三卯ノ五月	1867	一紙	1
南	ほ203	乍恐以書付奉願上候 (安八郡北方村善三郎・父・女房都合3人、南寺内村方伝吉由緒あるにて懸人になり引越し願いにつき)	慶応四戊辰年七月	1868	一紙	1
南	ほ204	乍恐以書付奉願上候 (南寺内村国次倅健次、病身にて百姓相続成り難きにて、新町浄専寺貸屋借請け引越し小商いしたきにつき)	慶応四戊辰年九月	1868	一紙	1
南	ほ205	乍恐以口書奉願上候 (南寺内村無高百姓丈八、病身にて百姓相続成り難きにて、下大樽村源七由緒あるにて引越し懸人になり一緒渡世したきにつき)			一紙	1
南	ほ206	奉願上口上之覚 (拙僧院内宗門証拠判の儀、例年差上げの処、本山表より役所へ宗旨請合証文など出すようにて、当年より拙僧院内の者・弟子などまで拙僧印形にて済むよう願上げにつき)	文政四辛巳年正月	1821	一紙	1
	へ1	横曾根村・浅草三ヶ村・外測村組合水落自普請代金渡方覚帳	安永六丁酉年正月二日 歛始	1777	横長	1
	へ2	横曾根邑・浅草三ヶ邑・外測邑組合水落御普請諸鳥(取)調物并進物覚帳	安永六丁酉年正月日	1777	横長	1
	へ3	内阿原・川口村郷境通浅東村囲御普請所御目論見写	安永六丁酉年四月	1777	縦	1

作 成	受 取	備 考
新組井深左右平(印)、小頭福田喜十郎(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ二〇三」と番号記載
錦見倉右衛門組井深権八郎(印)、右組加印林専蔵(印)	南寺内村役人衆	資料には「ほ二〇四」と番号記載
戸田治部左衛門吉田国助(印)	南寺内村役人衆	包紙「戸田治部左衛門家来吉田国助」、資料には「ほ二〇五」と番号記載
代判丹羽与助木沢三津之丞(印)	南寺内村役人中	包紙「木沢三津之丞」、資料には「ほ二〇六」と番号記載
南寺内村忠右衛門(印)、同村御百姓代伝吉(印)、同村五人組頭幸右衛門(印)代判御百姓代仕候、同村名主加兵衛(印)、同村同断新五右衛門(印)	御代官御役所	裏書「表書願之趣聞届候、此旨御申渡可有之候、以上、四月七日 郡奉行(印)伊藤伝右衛門殿、猶以差出候古郷送并宗門寺手形、名主預り置候様御申渡之事」、資料には「ほ一七二」と番号記載
南寺内村百姓代伝吉(印)、同村五人組頭幸右衛門(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断新五右衛門(印)	御代官御役所	裏書「表書願之趣聞届候、此旨御申渡可有之候、以上、十一月晦日 郡奉行(印)松村芝右衛門殿、猶以差出候古郷送り并宗門寺手形共、名主預り置候様、是又御申渡之事」、資料には「ほ一七三」と番号記載
南寺内村御百姓代伝吉(印)、同村五人組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断新五右衛門(印)	御代官御役所	裏書「表書願之趣聞届候、此旨御申渡可有之候、以上、二月九日 郡奉行(印)奥村房右衛門殿、猶以差出候古郷送り并宗門寺手形共、名主預り置候様、是又御申渡之事」、資料には「ほ一七四」と番号記載
曾右衛門(印)、同人組頭太助(印)	村方御名主様	資料には「ほ一七五」と番号記載
南寺内村御百姓代願主伝吉(印)、同村五人組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断成田四郎左衛門(印)	地方御役所	裏書「表書之趣聞届候事、七月十八日 地方御役所(印)、猶以古郷送り并寺手形とも、名主預り度可申事」、資料には「ほ一七六」と番号記載
南寺内村願主国次(印)、同村御百姓代伝吉(印)、同村五人組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断成田四郎左衛門(印)	地方御役所	裏書「表書之趣聞届候事、九月二日 地方御役所(印)、資料には「ほ一七七」と番号記載
		後欠カ、資料には「ほ一七八」と番号記載
南寺内村喜宝院清栄(印)、同村名主加兵衛(印)	寺社御奉行所	名主加兵衛の印に墨消しあり、資料には「ほ一七九」と番号記載
		破損あり
関谷喜兵衛印、稲川弥次兵衛印、浅東村名主		

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	へ4	先年伏越場御手伝御目論見金仕分帳	文化十二乙亥年八月	1815	横長	1
	へ5①	伏越樋方御仕様帳写（多芸郡横曾根村地内）	文化十二年亥十二月	1815	縦	1
	へ5②	古宮落仕様（伏越樋33間など）			縦	1
	へ6	鵜森伏越樋御普請中諸小屋并矢来竈其外渡方諸具損料物共覚帳	文化十二乙亥年十二月	1815	横長	1
	へ7	鵜森伏越樋御普請中諸具請取覚帳	文化十二乙亥年十二月日	1815	横長	1
	へ8	伏越樋并留樋御伏替諸入用勘定帳	文化十二年乙亥十二月	1815	横長	1
	へ9	鵜森伏越樋御普請中諸具渡方覚帳	文化十二乙亥年十二月日	1815	横長	1
	へ10	二艘樋・江西樋夜普請二付人足諸色改帳	文化十三年子正月晦日	1816	横長	1
	へ11	嶋村地内水門川伏越樋御普請中損料物并買物 [ ]	文化十三子年正月日	1816	横長	1
	へ12	嶋村地内水門川伏越樋御普請中日雇覚帳	文化十三子年正月日	1816	横長	1
	へ13	御普請金御入用渡帳	文化十三年子正月	1816	横長	1
	へ14	御普請金御入用指引御出張上ル扣	文化十三年子正月（～4月22日）	1816	横長	1
	へ15	伏越樋代永調帳	文化十三丙子年正月日	1816	横長	1
	へ16	鵜森・嶋村伏越樋御普請中空俵・縄并松明請払覚帳	文化十三丙子年正月日	1816	横長	1
	へ17	横曾根村地内・塩喰村地内・島村地内伏越樋并留樋御入用御普請樋方伏方請負人場所割分ヶ帳	文化十三丙子年二月	1816	横長	1
	へ18	出水二付東堰其外所々堰所困ひ人足諸色改附立帳	文化十三年子三月三日夜より四日迄	1816	横長	1
	へ19	江面伏越樋壺艘留樋三艘古木類改帳	文化十三年子三月五日	1816	横長	1
	へ20	嶋村塩喰村地内伏越樋御伏替諸入用割符帳	文化十三年丙子三月	1816	横長	1
	へ21	塩喰村・横曾根村・島村地内伏越樋御普請踏荒場所竿入野帳	文化十三丙子年三月廿六日初日同廿七日終	1816	横長	1
	へ22	伏越樋御普請諸入用金渡方指引帳	文化十三年丙子三月	1816	横長	1
	へ23	伏越樋追入用割賦帳	文化十三丙子年七月日	1816	横長	1
	へ24	伏越惣代七話料御他領江割賦帳	文化十三丙子年七月	1816	横長	1
	へ25	伏越樋御入用割并尻割割符差引帳	文化十三年丙子八月十四日	1816	横長	1
	へ26	塩喰・横曾根・島村地内伏越御普請踏荒代米小前帳	文化十三丙子年十二月四日	1816	横長	1
	へ27	塩喰・横曾根・島村地内伏越御普請踏荒代米小前帳	文化十三丙子年十二月四日	1816	横長	1

作 成	受 取	備 考
会所扣		へ5①～②は綴られている、破損あり
		破損あり、表紙「弐番」
		破損あり
		破損あり、表紙「但提灯共」
		結び文3点あり、表紙「扣」、請負人に「尾州善七、同所源八、大垣休兵衛、同所忠蔵」とあり
		表紙「但提灯共」
市左衛門、三四郎、太右衛門、武右衛門、留蔵、百次郎、徳助、周助、御□兵衛、喜与八、吹蔵、太兵衛、利八、伝十郎、左五郎、牛右衛門、治郎九	御出張御役所	表紙「本引得」
		破損大
		破損あり
		破損あり、表紙「立会 市左衛門、三四郎、百治郎、徳助、牛右□□（衛門）、周助」
		破損あり、表紙「立会 市左衛門、三四郎、百治郎、徳助、牛右衛門、周助」
		破損あり
		破損あり
		破損あり、表紙「但シ積ヶ分番附改入札代銀書付共」
		表紙「壺番割」「従上ヶ帳本引得 五月七日調」、挿入紙あり
		破損あり、表紙「附り今福村共」
		綴じ紐切れ、表紙「牧三兵衛・恵助立合割本扣」
		破損あり
		破損あり、表紙「惣代立会」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	～28	伏越樋諸入用当春立会先割渡不足書出帳	文化十三子十二月廿七日	1816	横長	1
	～29	笠松御入用割御手限割并御旅宿尻抱割差引帳	文化十三丙子年十二月	1816	横長	1
	～30	〔伏越樋御普請金書付帳〕	文化十三年子十二月	1816	横長	1
	～31	鵜森・嶋村御普請縄俵松明御上納分両筋御小屋へ御渡村々(書付帳)	文化十三丙子年十月	1816	横長	1
	～32	伏越樋御普請諸雑用金諸払帳	文化十三丙子年十二月	1816	横長	1
	～33	鵜森・嶋村伏越樋御伏替古木并小屋諸色払帳	文化十三丙子年十二月立会改	1816	横長	1
	～34	嶋村塩喰村地内伏越樋御伏替諸入用追割物取調帳	文化十三丙子年十二月日	1816	横長	1
	～35	伏越樋諸入用之内舩金借用分元利上納割帳	文化十四丁丑年十一月十四日	1817	横長	1
	～36	鵜森并嶋村地内伏越樋留樋共惣金高請払御勘定割符帳	文化十四丁丑年十一月日	1817	横長	1
	～37	鵜森嶋村両所伏越樋六艘樋前後類杖仕立御普請諸入用割符帳	文化十四丁丑年十二月十六日	1817	横長	1
	～38	塩喰村并嶋村地内伏越樋并留樋御伏替諸入用弁金割帳	文化十五戊寅年三月	1818	横長	1
	～39	〔組合別伏越樋入用金など書付帳〕	文政元戊寅年十二月	1818	横長	1
	～40	伏越樋御普請土方□(請)負并諸取替諸入用弁金割賦勘定帳	文政二己卯年四月五日	1819	横長	1
	～41	外測村外四ヶ村組合伏越樋新造仕様帳	文政七甲申年十二月	1824	縦	1
	～42	鵜森地新水戸御伏替人足覚帳	安政六年未正月吉日	1859	横長	1
	～43	御堤御普請銀人足割賦帳	安政六己未年三月	1859	横長	1
	～44	浅草東村新囲桁御見分小前毛分帳	文久三癸亥年二月	1863	横長	1
	～45	荒樋歩広ヶ皆出来諸入用式度目割符帳	文久三癸亥年七月	1863	横長	1
	～46	外郷伏越樋土方積り帳	亥十月		横長	1
	～47	伏越樋組合村々御高附帳			横長	1
	～48	浅草東村古御堤敷地引割符下扣			横長	1
	～49	浅草東村水囲古桁・新桁見積御窺帳			横長	1
	～50	輪中悪水落江代米之訳			縦	1
	～51	〔伏越樋など普請人足帳〕			縦	1
	～52	〔江西坝など普請人足帳〕			縦	1
	～53	〔二艘樋坝など普請人足帳〕			縦	1
	～54	〔嶋村地内伏越樋など普請人足帳〕			縦	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、綴じ紐切れ
伏越惣代西築捨村名主治郎九、内阿原村名主牛右衛門	御見取御奉行衆様	破損あり、表紙「上ヶ帳本引得」
伏越樋惣代	御見取御奉行衆様	「子十二月立会仕上ル扣へ」とあり
古宮筋惣代犬ヶ淵村名主谷蔵(印)、同断西築捨村名主治郎九(印)	御見取御奉行衆様	へ31・へ32は綴られている、結び文あり、破損あり
		破損あり
伏越惣代西築捨村名主治郎九、小泉村名主武右衛門、犬ヶ淵村名主谷蔵、禾森村名主留蔵、嶋里村留兵衛、高淵村名主太兵衛、内阿原村名主牛右衛門、浅草東村小林徳助	御見取御奉行所様	綴じ紐切れ、表紙「貳番割」「上ヶ本引得」
		破損あり、表紙「立会惣代」
		表紙「三番割」「本引得」
		破損あり
組合立会惣代		
古宮筋惣代犬ヶ淵村名主谷蔵、今村筋惣代青柳村名主周助	御奉行衆様	破損大
立会 高淵市左衛門、内阿原牛右衛門、浅東徳助、小泉武右衛門、犬ヶ淵谷蔵、青柳周助		破損あり、表紙「牧村馬瀬村分」「組合立会調市左衛門、徳助、太兵衛、武右衛門、善蔵、牛右衛門」
		破損あり、表紙「善七引得」
浅西村セ話人		
浅草東村		綴じ紐一部分
浅草東村		破損あり
		破損あり、表紙「引得」
惣代		表紙「曾根村ニ而上ル」「引得」
		破損あり
		破損あり、「六」「続合済 六」とあり
		破損あり
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西 暦	形 態	数
	～55	〔伏越樋仕様帳〕			縦	1
	～56	五ヶ村樋今村筋引請(帳)			横長	1
	～57	伊尾川伏越水筒并塩喰村新江堀仕様積り	申正月七日		横長	1
	～58	申船床不足	(申年)		横長	1
	～59	御手伝御普請御用先触	十一月廿日		横長	1
	～60	〔伏越樋代金勘定帳〕			横長	1
	～61	〔普請人足代など取替帳〕			横長	1
	～62	留塚三艘分割合			横長	1
	～63	嶋村地内古宮筋引請(人足帳)			横長	1
	～64	〔土坪数・代金など書付帳〕			横長	1
	～65	〔買物覚帳〕	申之年		横長	1
	～66	〔普請材・人足代など書付帳〕	亥十月八日		横長	1
	～67	覚(普請金割符高勘定につき)			横長	1
	～68	〔舟代金など覚帳〕			横長	1
	～69	〔伏越樋取替金勘定帳〕			横長	1
	～70	覚(伏越樋・留樋代金など御役方積り高の件につき)	十月		横長	1
	～71	〔普請代金取替覚帳〕			横長	1
	～72	〔水利組合村役人名書付〕			横長	1
	～73	〔村々囲桁の義、修復などの件につき歎願書〕	(文久元年5月)	1861	一紙	1
	～74	乍恐以書付再御歎願奉申上候(釜笛・内阿原・川口3か村地内、浅草三郷・外測村組合囲桁御普請訴訟の件につき)	文久元辛酉年七月	1861	一紙	1
	～75	乍恐以口書御請奉申上候(内阿原・川口村地内、浅草三郷田場囲桁の大破にて御普請の件につき)	文久二壬戌年二月	1862	一紙	1
	～76	乍恐以書付奉願上候(古宮筋組合今福村地内落樋修復中、度々出水にて空俵・小縄・松明などの諸具渡し願ひにつき)			一紙	1
南	～77	乍恐以書付御請奉申上候(御用水損樋、雨天の節に作法通り開閉なら、向後御用水方当番へ開閉届け申上げるよう仰渡しにつき)	年号月日		一紙	1
	～78	仕上候御請書之覚(人足数・名前書付)			一紙	1
	～79	寺内古河水論訳書	(貞享4年)	1687	横半	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり
		破損あり
弥右衛門、円右衛門、七右衛門、留兵衛、小左衛門、牛右衛門、庄藏、三郎次、三四郎、安田彦八	笠松御郡代所	破損大、表紙「ひかへ」
加藤伴太夫	浅草村庄屋中	破損大、表紙「ひかへ」
		破損大
		「立合 武右衛門、次郎九、周助、牛右衛門、留兵衛」とあり
		破損あり
		破損あり
見取奉行		破損あり、「扣」とあり
		今・若森・青柳・割田・外花・外野・友江・多芸入方・多芸嶋・上笠・東大外羽・西大外羽・上屋・高測・浅西・浅中・浅東・川口・内阿原・嶋里・釜笛・外測村の村役人名あり
(旧井儀平次、浅野平五左衛門、増田□兵衛)	(御代官御役所)	端裏「地先より歎願書前後両通」
浅草東村名主市左衛門、同西村名主七右衛門、同中村名主河合兵四郎、外測村名主大橋七郎平	御代官御役所	端裏「西七月六日 浅三郷外測歎願 外ニ規定書添」、「今村名主六郎兵衛」の奥書あり
浅草東村名主市左衛門、同西村名主七右衛門、同中村名主河合兵四郎	御代官御役所	端裏「戌二月 浅三郷より上ル御請書 但川口内阿原堀桁之分」、「若森村名主源藏」の奥書あり
		下書
南寺内村抱番一、同村名主一	御用水方御奉行衆様	端裏「南寺内村」
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	へ80	乍恐以口書奉申□□（上候、鵜森伏越樋3艘などの伏替、急ぎ普請ゆえ樋切組方の儀は内談などにて伺いにつき）	文化十二乙亥年十二月	1815	切紙	1
	へ81	鵜森并嶋村地内伏越樋御伏替諸入用割落調帳并顔杖入用割落銀横曾根村高当り出不足金共追割帳	文化十五戊寅年三月	1818	横長	1
	と1	困窮ニ付難渋之者江助精勘定	万延式辛酉年	1861	横長	1
	と2	卯四月御救講被下銀割符判取帳	慶応三（4月21日）	1867	横長	1
	と3	浅草東村入水ニ付御救金人別割符帳	慶応四戊辰年七月	1868	横長	1
	ち1	美江寺助郷御入用帳	戊極月		横長	1
南	り1	奉願上口上之覚（喜宝院清山病身にて隠居願いの処、跡目相続者無きにて石津郡多良村神護寺清順弟清円、由緒あるにて養子貰請け喜宝院跡目修験山伏相続したく願上げにつき）	文化八辛未年十二月	1811	折紙	1
南	り2	奉願上口上之覚（喜宝院清山病身にて隠居願いの処、跡目相続者無きにて石津郡多良村神護寺清順弟清円、由緒あるにて養子貰請け喜宝院跡目修験山伏相続したく願上げにつき）	文化九壬申年正月	1812	一紙	1
南	り3	奉願上口上之覚（安八郡藤江村の山伏、神明宮を守護の処、名跡断絶にて神役諸事を南寺内村喜宝院引請けの処、先住清山義、神明宮を守護し神役勤めたく願上げにつき）	文化十癸酉年九月	1813	一紙	1
南	り4	仕上御請証文之事（神明宮境内天満宮さや家、この度出来にて当月5日遷宮致したく境内に灯笼少々燈したき願い聞き届けにつき）	文化十癸酉年二月	1813	一紙	1
南	り5	乍恐御吟味ニ付以口書奉申上候引得（南寺内村大悲院宿坊・寺役の儀につき）	文政四辛巳年六月	1821	一紙	1
大	ぬ1	卯船トコ請取覚帳	文化四丁卯曆十二月吉日	1807	横長	1
大	ぬ2	歳々舟トコ残書出シ帳	文化四丁年卯十二月吉日	1807	横長	1
大	ぬ3	申酉船トコ書出シ帳	文化九年申十二月吉日	1812	横長	1
大	ぬ4	申歳仲間船トコ書出帳	文化九年申十二月吉日	1812	横長	1
大	ぬ5	酉船トコ書出シ帳	文化十癸年十二月吉日	1813	横長	1
大	ぬ6	戌船トコ書出シ帳	文化十一年十二月吉日	1814	横長	1
大	ぬ7	亥船トコ書出シ帳	文化十二年十二月吉日	1815	横長	1
大	ぬ8	子船トコ書出シ帳	文化十三年十二月吉日	1816	横長	1
大	ぬ9	丑船トコ書出シ帳	文化十四年寅改十二月吉日	1817	横長	1
大	ぬ10	丑船トコ集覚帳	文化十四年十二月吉日	1817	横長	1
大	ぬ11	巳船とこ残書出し覚帳	文政五年午三月吉日	1822	横長	1
大	ぬ12	当未船床書出シ覚帳	文政六癸未歳十二月吉日	1823	横長	1

作 成	受 取	備 考
内阿原村名主牛右衛門、禾新田村名主留蔵、築捨村名主金三郎、嶋里村名主留兵衛、西築捨村名主治郎九、浅草東村名主徳竹	御見取御奉行衆様	
		へ38とへ39の間にあり、表紙「四番割」「本引得」
富五郎		
佐藤兵平、大橋富五郎		表紙「浅草東村」
御百姓代藤内、同村名主佐藤兵平、同村同断大橋富五郎	地方御役所	
京丸屋平吉		
南寺内村喜宝院清山、同村五人組頭嘉兵衛、同村加勢名主新五右衛門、同村附名主治郎九	寺社御役所	
南寺内村喜宝院清山、同村五人組頭嘉兵衛、同村附名主治郎九	寺社御奉行所	
南寺内村喜宝院清円(印)、同村百姓代庄吉(印)、同村五人組頭嘉兵衛(印)、同村名主治郎九(印)	御代官御役所	百姓代・五人組頭・名主の印に墨消しあり
南寺内村千明院了栄(印)、同村五人組頭嘉兵衛、同村附名主次郎九(印)	御代官御役所	紙全体に墨消しあり
一加兵衛印、一 一 松太郎印	一	破損あり、継目剥がれ、端裏「大悲院一件」
松永喜藤次		
松永喜藤次		
松永長九郎		
		表紙「金銀請取扣」
		破損あり、表紙「他所」
松永長九郎		
		表紙「□□□、上笠、柳原、大野、大樽、大場、志津、岡村、船付、津屋、北海松」
大場村松永長九郎		
大場村松永長九郎		

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
大	ぬ13	当未船床書出シ覚帳	文政六癸未歳十二月吉日	1823	横長	1
大	ぬ14	船床未残書出し覚帳	文政七年申三月吉日	1824	横長	1
大	ぬ15	当申船床書出シ覚帳	文政七甲申歳十二月吉日	1824	横長	1
大	ぬ16	当申船床書出シ覚帳	文政七甲申歳十二月吉日	1824	横長	1
大	ぬ17	当申船床書出シ覚帳	文政七甲申歳十二月吉日	1824	横長	1
大	ぬ18	当戌船床小前書出シ帳	文政九酉戌年十二月吉日	1826	横長	1
大	ぬ19	当亥船床小前書出シ帳	文政十丁年十二月吉日	1827	横長	1
大	ぬ20	当子船床小前書出シ帳	文政十一年十二月吉日	1828	横長	1
大	ぬ21	当丑船床小前書出シ帳	文政十二年十二月吉日	1829	横長	1
大	ぬ22	当寅船床小前書出シ帳	文政十三歳十二月吉日	1830	横長	1
大	ぬ23	当辰船床書出シ取立帳	天保十五年十二月吉日	1844	横長	1
大	ぬ24	当巳船床書出シ取立帳	弘化二年十二月吉日	1845	横長	1
大	ぬ25	当申船床書出シ帳	嘉永元年十二月日	1848	横長	1
大	ぬ26	当酉船床書出シ帳	嘉永二年十二月日	1849	横長	1
大	ぬ27	当戌船床書出シ帳	嘉永三年十二月日	1850	横長	1
大	ぬ28	当亥船床書出シ帳	嘉永四年十二月吉日	1851	横長	1
大	ぬ29	当子船床書出シ帳	嘉永五年十二月吉日	1852	横長	1
大	ぬ30	当丑船床書出シ帳	嘉永六年十二月吉日	1853	横長	1
大	ぬ31	当寅船床書出帳	嘉永七年十二月吉日	1854	横長	1
大	ぬ32	寅船一通覚帳	文化十五年戌正月吉日	1818	横長	1
大	ぬ33	申船一通覚帳	文政七甲申歳正月吉日	1824	横長	1
大	ぬ34	酉船一通覚帳	文政八乙酉年正月吉日	1825	横長	1
大	ぬ35	当戌船一通覚帳	文政九丙戌歳正月吉日	1826	横長	1
大	ぬ36	亥船一通覚帳	文政十丁亥歳正月吉日	1827	横長	1
大	ぬ37	子船一通覚帳	文政十一年正月吉日	1828	横長	1
大	ぬ38	丑船一通覚帳	文政十二年己丑年正月吉日	1829	横長	1
	ぬ39	金銀出入覚帳	寛政十二未年正月十一日	1800	横長	1
	ぬ40	金銀請払帳・当座帳	文化十二年亥十二月	1815	横長	1
大	ぬ41	午出入覚帳	天保五甲午年正月吉日	1834	横長	1
大	ぬ42	当未金銀出入覚帳	天保六乙未歳正月吉日	1835	横長	1
	ぬ43	金銀出入并御上納帳	天保十四年癸卯正月吉日	1843	横長	1
	ぬ44	金銀出入并御上納帳	嘉永七年甲寅正月吉日	1854	横長	1

作 成	受 取	備 考
大場邑松永長九郎		
大場村松永長九郎		
大場村松永長九郎		ぬ15・ぬ16は綴られている
大場村松永長九郎		
松永長九郎		
松永長九郎		破損あり
松永長九郎		
松永長九郎		
松永長九郎		破損あり
松永長九郎		
松永長九郎		表紙「根古地村、根古地新田、大樽村、駒野新田、小坪新田、外釜之段、五反郷村、北海松新田、下笠村」
松永長九郎		破損あり
大場村松永長九郎		
大場村松永長九郎		
松永長九郎		
松永長九郎		
松永長九郎		綴じ紐切れ
松永長九郎		
松永長九郎		
松永長九郎		資料には「ぬ三二ノ一」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三二ノ二」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三三」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三四」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三五」と番号記載
松永長九郎		裏表紙綴じ紐部分に結び文あり、資料には「ぬ三六」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三七」と番号記載
		裏表紙「浅東村大橋□」、資料には「ぬ三八ノ一」と番号記載
		資料には「ぬ三八ノ二」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ三九」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ四〇」と番号記載
浅東村安□正八郎		資料には「ぬ四一」と番号記載
浅草東村大橋富五郎		資料には「ぬ四二」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
大	ぬ45	申商売并萬覚帳	文化九壬申曆正月吉日	1812	横長	1
大	ぬ46	当戌より売買覚帳	嘉永三四五六年亥子丑寅正月吉日	1850	横長	1
大	ぬ47	当申より売買覚帳	安政七八万延文久元治酉戌亥子正月吉日	1860	横長	1
大	ぬ48	当午より売買萬覚帳	明治三四年午未正月吉日	1870	横長	1
大	ぬ49	当申ヨリ売買萬覚帳	明治五六七年壬申酉戌正月吉日	1872	横長	1
大	ぬ50	田宝萬覚帳	明治二十二年丑一月吉日	1889	横長	1
大	ぬ51	酉仲間船トコ金銀集帳	文化十癸年十二月吉日	1813	横長	1
大	ぬ52	戌仲間船トコ金銀集帳	文化十一年戌十二月吉日	1814	横長	1
大	ぬ53	戌船トコ金銀集帳	文化十一年戌十二月吉日	1814	横長	1
大	ぬ54	戌仲間船トコ金銀集帳	文化十一年十二月吉日	1814	横長	1
大	ぬ55	亥仲間船トコ金銀集帳	文化十二年十二月吉日	1815	横長	1
大	ぬ56	亥仲間船トコ金銀集帳	文化十二年十二月吉日	1815	横長	1
大	ぬ57	亥仲間船トコ金銀集帳	文化十二年十二月吉日	1815	横長	1
大	ぬ58	子仲間船共金銀集帳	文化十三年十二月吉日	1816	横長	1
大	ぬ59	丑船トコ仲間共金銀集帳	文化十四年十二月吉日	1817	横長	1
大	ぬ60	巳船トコ金銀集帳	文政四辛巳年十二月吉日	1821	横長	1
大	ぬ61	借船作順番付帳	文化八辛曆未正月吉日	1811	横長	1
大	ぬ62	未より借シ船覚帳	文化八辛曆未正月吉日	1811	横長	1
大	ぬ63	申改借船書出シ帳	文化九壬歳申十二月吉日	1812	横長	1
大	ぬ64	酉改借シ船元帳	文化十癸歳十二月吉日	1813	横長	1
大	ぬ65	戌改借船覚帳	文化十一歳戌十二月吉日	1814	横長	1
大	ぬ66	亥借船改覚帳	文化十二年亥十二月吉日	1815	横長	1
大	ぬ67	子改借船覚帳	文化十三年十二月吉日	1816	横長	1
大	ぬ68	丑借船改覚帳	文化十四年寅卯十二月吉日	1817	横長	1
大	ぬ69	午船数書出シ覚帳	文政五壬午歳十二月吉日	1822	横長	1
大	ぬ70	午借舟帳	文化七庚歳	1810	横長	1
大	ぬ71	船木代金払請取帳	文化八辛曆未十二月吉日	1811	横長	1
大	ぬ72	舟代銭金書出シ勘定帳	文化八歳未極月吉日	1811	横長	1
大	ぬ73	丑年追々付込帳	文化十四乙年正月吉日	1817	横長	1
大	ぬ74	当亥出入覚帳	文政十丁亥歳子正月吉日	1827	横長	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、資料には「ぬ四三」と番号記載
松永長九郎		破損あり、資料には「ぬ四四」と番号記載
松永長九郎		綴じ紐切れ、資料には「ぬ四五」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ四六ノ一」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ四六ノ二」と番号記載
松永長九郎		破損あり、資料には「ぬ四七」と番号記載
		表紙「扣」「扣帳」、資料には「ぬ四八」と番号記載
		資料には「ぬ四九」と番号記載
		ぬ53・ぬ54は綴られている、表紙「他所」、資料には「ぬ五〇」と番号記載
		表紙「他所」、資料には「ぬ五一」と番号記載
		表紙「他所」、資料には「ぬ五二」と番号記載
		表紙「他所」、資料には「ぬ五三」と番号記載
		資料には「ぬ五四」と番号記載
		資料には「ぬ五五」と番号記載
		資料には「ぬ五六」と番号記載
松永長九郎、同中間共		資料には「ぬ五七」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ五八」と番号記載
松永軽□(蔵カ)		資料には「ぬ五九」と番号記載
元中間		資料には「ぬ六〇」と番号記載
中間		資料には「ぬ六一」と番号記載
中間		資料には「ぬ六二」と番号記載
中間		資料には「ぬ六三」と番号記載
中間		資料には「ぬ六四」と番号記載
中間		資料には「ぬ六五」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ六六」と番号記載
		資料には「ぬ六七」と番号記載
松永軽蔵		資料には「ぬ六八」と番号記載
松永喜藤司		綴じ紐に結び文あり、資料には「ぬ六九」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七〇」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七一」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
大	ぬ75	当丑出入覚帳	□(文)政十二己丑歳寅 正月吉日	1829	横長	1
大	ぬ76	当寅改船番付覚帳	文政十三庚寅年正月吉 日	1830	横長	1
大	ぬ77	当未より船出入覚帳	弘化四五年申正月吉日	1847	横長	1
大	ぬ78	当亥田畑掟小前年貢帳	嘉永四年十一月吉日	1851	横長	1
大	ぬ79	当子田畑掟小前年貢帳	嘉永五年十一月吉日	1852	横長	1
大	ぬ80	当丑田畑掟小前年貢帳	嘉永六年十一月吉日	1853	横長	1
大	ぬ81	当酉田畑掟小前年貢帳	文久元年酉十一月吉日	1861	横長	1
大	ぬ82	当未田畑掟小前年貢帳	明治四年未十一月日	1871	横長	1
大	ぬ83	当酉田畑掟小前年貢帳	明治六年酉十一月吉日	1873	横長	1
大	ぬ84	切手出入帳	丙午弘化□□(三年)□ 月(～明治20年)	1846	横長	1
大	ぬ85	田畑掟年々畝歩改元帳	安政四年巳十一月吉日	1857	横長	1
大	ぬ86	酉年嶋里村六人舩地田畑掟取米帳	文久元辛酉年十月日	1861	横長	1
大	ぬ87	酉船床残書出シ覚	(酉年)		横長	1
	ぬ88	亥三月過不足帳	(亥三月)		横長	1
	ぬ89	覚(年貢など勘定につき)	(弘化4～文久2年)		横長	1
	ぬ90	(欠番)				
南	ぬ91	乍恐以書付奉願上候(南寺内村百姓常右衛 門、病身になり百姓相統難にて、与三治控田 地借受け家作し、作間稼ぎに洗湯願ひなどにつ き)	文化九壬申年十二月	1812	一紙	1
南	ぬ92	仕上候御請書之覚(不届者伝四郎、先年追放 の処、商いなどする始末にて徘徊差し止め、 南寺内村五里四方・御預所御領分中立入禁止 の旨申し渡しにつき)	文化十四丁丑年四月	1817	一紙	1
南	ぬ93-1	乍恐以書付奉申上候(南寺内村善教寺境内除 地の内の伝馬長屋、見分改め済みにつき)	文政八乙酉年十月	1825	一紙	1
南	ぬ93-2	[南寺内村善教寺境内除地の内の伝馬長屋見 分図面]	(文政8年10月)	1825	一紙	1
南	ぬ94	乍恐以書付奉願上候(南寺内村吉川宗元倅敬 周、医業相統にて苗字吉川と名乗りたきにつ き)	文政八乙酉年九月	1825	一紙	1
	ぬ95	乍恐以口書奉願上候(年来御目見の処、老年 にて隠居したきにて、倅へ御目見仰せ付け願 ひにつき)	文政九丙戌年十一月	1826	一紙	1
南	ぬ96	乍恐以□□奉願上候(南寺内村敬助病身にて 渡世成り難く東久世川吉川廣簡弟子になり作 間に医業したく、また医業中惣髮赦免願ひにつ き)	文政十丁亥年九月	1827	一紙	1
南	ぬ97	乍恐以書付奉願□□(上候)(鈴木主斗引得屋 敷、家来森儀太郎家作したきにて引越し願ひ につき)	文政十二己丑年五月	1829	一紙	1

作 成	受 取	備 考
松永長九郎		資料には「ぬ七二」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七三」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七四」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七五」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七六」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ七七」と番号記載
		資料には「ぬ七八」と番号記載
		資料には「ぬ七九」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ八〇」と番号記載
		資料には「ぬ八六」と番号記載
松永長九郎		資料には「ぬ八一」と番号記載
		資料には「ぬ八二」と番号記載
		資料には「ぬ八三」と番号記載
		資料には「ぬ八四」と番号記載
		破損あり、資料には「ぬ八五」と番号記載
南寺内村願主常右衛門(印)、 同村御百姓代庄吉(印)、同村 五人組頭嘉兵衛(印)、同村名 主治郎九(印)	御代官御役所	『大垣市史 資料編 近世二』 pp. 514～515に収載
南寺内村元百姓伝四郎親類喜 兵衛、同村御百姓代清左衛 門、同村附名主留蔵	御横目平野園四郎殿、高橋 八郎殿	
南寺内村御百姓代富次郎 (印)、同村五人組頭武作 (印)、同村名主加兵衛(印)	御代官御役所	ぬ93-1 が-2 を巻き込んでいた、端裏「繩請相済 候ニ付別紙墨引添 南寺内村」
南寺内村敬周(印)、同村百姓 代留次郎(印)、同村五人組頭 武作(印)、同村名主加兵衛 (印)	御代官御役所	印に墨消しあり、下書
浅草東村小林善助	御代官御役所	紙全体に墨消しあり、端裏「文政九丙戌年十一月 廿四日 六代目善七継目 御目見へ差紙願共入」
南寺内村願主敬助、同村御百 姓代伝吉、同村名主留次郎、 同村同断芳右衛門	御代官御役所	破損あり、下書
南寺内村御百姓代伝吉(印)、 同村名主新□□□□ (五右衛 門)、同村同断 [ ]	御代官御役所	破損大

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
南	ぬ98	乍恐以書付奉願上候（南寺内村百姓彦八葉湯冥加錢1貫文上納の処、箱風呂2人入りにしたく冥加錢500文増し上納につき）	文政十三庚寅年十月廿九日	1830	一紙	1
南	ぬ99	乍恐以書付奉願上候（南寺内村百姓佐右衛門男子病身にて百姓相続し難く、池田郡砂畑村三助由緒あるにて婿養子願いにつき）	文政十三庚寅年十一月	1830	一紙	1
南	ぬ100	仕上ル御請書之覚（御番足輕国枝太兵衛母なを、去冬より権助物置当分借請け在住の処、5月盜賊立入り吟味の処、願書無く母なを差置きにて心得違い無きようにつき）	文政十三庚寅年十一月九日	1830	一紙	1
南	ぬ101	乍恐以書付御注進奉申上候（伊藤九太夫様門留落の内に女子捨子あるにつき注進状下書）	文政十三庚寅年十一月	1830	一紙	1
	ぬ102	覚（屋敷古証文、出水の節に取失いにて、吟味中分かり次第申上げにつき）	天保九戊戌年七月	1838	一紙	1
	ぬ103	奉願口上之覚（田辺源八郎儀、先年御暇下し置かれの処、寅年城下徘徊免許仰せつけにて住居免許仰せ付け願いにつき）	天保十四癸卯年十二月	1843	一紙	1
南	ぬ104	御糺二付申上候覚（南寺内村清水安仲様扣家屋鋪の元上秋村茂左衛門と申す家守を召捕りの旨、村方懸り合い無きにつき）	天保十五甲辰年十月	1844	一紙	1
南	ぬ105	仕上御請書之覚（とふ娘、先年家出し帳外の処、病気により、とふ方にて内々養生の件、不行届にて向後心得違い無きようにつき）	天保十五甲辰年十一月	1844	一紙	1
	ぬ106	乍恐以書付奉願上候（古宮筋悪水落樋今福村東大樋修繕の処、西大樋前土持板6枚腐りにて東大樋古板6枚下さるようにつき）	弘化三丙午年五月	1846	一紙	1
南	ぬ107	一札之事（医者の内は名字名乗り赦免願いにつき）	嘉永二己酉年十二月	1849	一紙	1
南	ぬ108	乍恐以書付御注進奉申上候（西黒野村と野村の者と口論となり怪我人出来、和熟届けざるにて御検使の儀願いにつき）	安政二乙卯年八月十二日	1855	一紙	1
	ぬ109	乍恐以書付奉願上候（徳助年来御目見の処、病身にて勤め難きにて倅相六に継目御目見仰せ付け願いにつき）	安政三丙辰十二月	1856	一紙	1
南	ぬ110	差入申一札之事（南寺内村控屋敷内の空家へ数代出入りの者を家守とするにて村方へは厄介懸けざるにつき）	安政六己未八月	1859	一紙 (包紙共)	1
南	ぬ111	差上申一札之事（市兵衛倅鉄治郎、年貢差詰り城下辺在町へ日雇い働きの処、庄助小屋借用し逗留・帳入願いたきにつき）	安政六未年九月	1859	一紙	1
	ぬ112	為書替証文之事（一流由緒あり親類同様に暮すにて、系図などの儀、相互に争論など申さず久しく睦まじく百姓するにつき）	万延元庚申年七月	1860	切紙	1

作 成	受 取	備 考
南寺内村願主彦八、同村御百姓代伝吉、同村名主新五右衛門、同村同断加兵衛	御見取御奉行衆様、御代官御役所	
南寺内村御百姓願主佐右衛門、同村御百姓代、同村名主新五右衛門、同村同断加兵衛	御代官御役所	
南寺内村名主新五右衛門、同村同断加兵衛		裏に書付あり
本人御早送善八(印)、小頭惣吉(印)	名主衆中様	
田辺五郎右衛門(印)	法受院様	
南寺内村御百姓代藤右衛門、同村五人組頭清左衛門、同村同断権助、同村名主四五右衛門、同村同断加兵衛	御吟味懸り御役所	「附添南頼村名主半右衛門」の奥書あり
南寺内村御百姓彦内母とふ、彦内、同村同人組合与七、同村同断太内、同村同断林蔵後家、同村御百姓代伝吉、同村五人組頭清左衛門、同村名主四五右衛門、同村同断加兵衛、同村附名主半右衛門	御代官御役所	
古宮筋惣代禾新田名主留七、同断東前村名主金郎九	樋御奉行衆様	
南寺内村宗元(印)	南寺内村嘉兵衛殿	下部破損
寺内村五人組頭利右衛門、同村同断小市郎、同村同断庄左衛門、同村名主畹作、同村附名主堀口善五右衛門	御役所	破損あり
浅草東村徳助	御代官御役所	端裏「七代目相六 御目見え継目願」、紙全体に墨消し線あり
清水周右衛門(印)	南寺内村役人衆	包紙「詫書 清水周右衛門」
安八郡南波村市兵衛(印)、同村親類銀介(印)	寺内村庄助殿	「右(寺内)村庄屋儀左衛門(印)、同断斧右衛門(印)、同断寛之丞(印)」の奥印あり
幸次郎、浅草東村小林姓相六	同村御一流佐藤姓公平殿	

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
南	ぬ113	乍恐御札ニ付奉申上候（丹次引得屋敷の空家に無帳弥八郎差置きの件につき）	文久二壬戌年三月	1862	一紙	1
南	ぬ114	乍恐御札ニ付奉申上候（下町源太郎貸家の空家に太吉郎差置くの処、身上宜しからざる旨ありて引き取りの件につき）	文久二壬戌年三月	1862	一紙	1
南	ぬ115	〔丹次引得空家に無帳弥八郎・下町源太郎貸家に太吉郎を差置きの処、糺しにつき申上状〕	文久二壬戌年三月	1862	一紙	1
南	ぬ116	差入申一札之事（南寺内村内の吉川敬周扣地面・長屋3か所を質物に譲り受け、長屋は貸屋になる処、村方へは難渋懸げざるにつき）	慶応三丁卯年二月	1867	一紙	1
南	ぬ117	乍恐以書付奉願上候（南寺内村名主加兵衛三男直吉、藩中金森弁助が婿養子に願上げにつき）	明治四辛未年二月	1871	一紙	1
南	ぬ118	乍恐御札ニ付奉申上候（清水安助様扣家屋敷に家守置く処、召捕らえの件につき）	—		一紙	1
南	ぬ119	乍恐以書付御届奉申上候（伊藤九太夫様門留落の内に女子捨置きにつき）	（文政13年）寅十一月晦日夜	1830	一紙	1
	ぬ120	《願書》				
南	ぬ121	乍恐以書付奉願上候（南寺内村彦蔵・代八、鉄蔵と口論となり鉄蔵痛所出来にて注進の処、内輪済にて先の注進書差し下げ願いにつき）			一紙	1
南	ぬ122	乍恐以書付奉願上候（船町貸家在住の仙助義、不如意にて太助方由緒あるにて仙助ら2人掛人として同居したく引取り願いにつき）	明治元戊辰年十月	1868	一紙	1
	ぬ123	仕上ル御請書之覚（人足数書付）	（文政13年11月9日）	1830	一紙	1
	ぬ124	乍恐以書付奉願上候（落札の仕銀通い取掛かり日数などの件につき）			一紙	1
南	ぬ125	乍恐以口書奉願上候（池田郡西村佐兵衛、南寺内村和田権進様引得屋敷在住の処、家買請け引越し請作百姓し、作間に大工職望みにつき）			一紙	1
南	ぬ126	差遣シ申一札之事（南寺内村彦蔵・代八儀、口論にてなぐり合い鉄蔵痛所出来し注進の処、内済にて差出しの注進書願下げにつき）			一紙	1
南	ぬ127	乍恐以書付御注進奉申上候（黒綿入・帯などを包んだ風呂敷を、南寺内村平四郎の浦川向干場に何者かが置きにつき）	申十二月二日		一紙	1

作 成	受 取	備 考
南寺内村丹次組合孫右衛門(印)、同村同断八五郎(印)、同村同断三吉(印)、同村同断作右衛門(印)	御代官御役所	端裏「糺書 三月廿九日 南寺内村組合之者 孫右衛門外三人」、「今村入方名主市郎次」の奥印あり
南寺内村清吉組合弥五郎(印)、同村同断濱吉(印)、同村同断甚吉(印)	御代官御役所	端裏「糺書 三月廿九日 南寺内村清吉組合之者 弥五郎外貳人」、「今村入方名主市郎次」の奥印あり
南寺内村御百姓代伝吉(印)、同村五人組頭幸右衛門(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断新五右衛門(印)	御代官御役所	前欠、「今村入方名主市郎次」の奥印あり
持主清水宗兵衛(印)、請人同庄之助(印)	南寺内村名主成田新五右衛門殿、右同断成田加兵衛殿	
南寺内村願主加兵衛(印)、同村御百姓代伝吉(印)、同村組頭音八(印)、同村名主成田四郎左衛門(印)	大垣藩御役所	端裏「養子願 南寺内村」
御百姓代一、五人組頭一、名主一	一	
		下書、裏に書付あり
		現在所在不明
嘉兵衛、治郎九	御代官御役所	
南寺内村願主太助(印)、同村御百姓代伝吉(印)、同村五人組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断成田四郎左衛門(印)	地方御役所	裏書「表書之趣□届候事 十月廿二日 地方御役所(印) 猶以差出候古郷送り宗門寺手形共名主預り置可申事」
		後欠、裏に書付あり
落札主□□□誰、請人誰、同村五人組頭一、同名主一		下書カ
		端裏「大工職願」
南寺内村御百姓鉄蔵(印)、鉄蔵親類利助(印)、鉄蔵組合忠三郎(印)、南寺内村御百姓彦蔵(印)、彦蔵親類源八(印)、南寺内村御百姓代八(印)、代八親類林右衛門(印)、右両組合惣代与七(印)	南寺内村名主治郎九殿、同村五人組頭嘉兵衛殿	
南寺内村五人組頭嘉兵衛(印)	御代官御役所	紙全体と作成者の印に墨消しあり

推定	番号	表 題	年 代	西 暦	形 態	数
南	ぬ128	乍恐以書付御注進奉申上候（南寺内村忠三郎方添家に入置きの畝1挺紛失注進の処、畑中に畝有るにつき）			切紙	1
	ぬ129	覚（浅草東村名主善七、年来役義の働きにて褒美として御目見仰せにつき申渡書）	十一月廿七日		一紙	1
	ぬ130	〔中間者名書付〕			一紙	1
南	ぬ131	〔旧井平兵衛組合の者と、組合一同付き合い無しにて帳外者の件など計らい願上げにつき届書〕	未八月		切紙	1
南	ぬ132	〔長浜より乗船の処、風荒れ気分悪く礼状延引などの件につき書状〕	三月八日		一紙	1
南	ぬ133	〔香村氏よりの拝借金返済の件などにつき書状〕			一紙	1
南	ぬ134	〔金30円請取の件につき書状〕	七月十四日		一紙	1
南	ぬ135	〔香村氏よりの催促にて金14円返納の件、助け願ひにつき書状〕	三月六日		一紙	1
南	ぬ136	〔家拝の義、借入金返済の件などにつき書状〕	八月四日認メ		一紙	1
南	ぬ137	〔地所売払いにて金円出入り済みにつき書状並びに約定証〕	明治十六年五月一日	1883	一紙	1
	ぬ138	〔加増60石にて都合230石知行宛行状〕	慶安二 十二月十三日	1649	折紙	1
大	ぬ139	申船トコ書出シ帳	文化九年申十二月吉日	1812	横長	1
大	ぬ140	当船一通寅覚帳	文政十三庚寅年正月吉日	1830	横長	1
	る 1	浅草東村御講人別名前帳	嘉永四辛亥年十二月	1851	横長	1
	る 2	売渡し申田之事（下田 8 畝23歩、代金 3 両 1 分余）	宝暦三年酉極月廿九日	1753	一紙	1
	る 3	質流ニ相渡し申畑之事（下畑 5 畝余、代金 3 両 2 分）	明和八年卯二月	1771	一紙	1
南	る 4	質流申田地之事（上田 1 反、代金 6 両 3 分）	文化八辛未年十一月	1811	一紙	1
南	る 5	借用申御年貢金之事（南寺内村年貢金10両借用、村借の儀にて高割にて返弁につき）	文政三庚辰年十二月	1820	一紙	1
南	る 6	差上申質地証文之事（上田 4 畝20歩ほか 2 か所、文金10両、赤坂宿人馬刃銭・宿場金貸附金の拝借願ひにつき）	天保十二辛丑年十二月	1841	一紙	1
南	る 7	覚（民蔵の家屋敷代金10両 2 分のうち 7 両渡しにて、残金の件につき）	天保十五甲辰年六月	1844	一紙	1
	る 8	書附一札之事（別紙由緒の訳柄にて金30両受取につき）	万延元庚申年七月日	1860	一紙	1
南	る 9	〔発起講の入費勘定の件につき書状〕	第二月十八日		一紙	1
	明治 1	浅草三郷囲川口村内阿原村地内古桁笠置御普請目論見帳	明治三庚午年二月	1870	縦	1

作 成	受 取	備 考
		下書カ
郡奉行	小川祐右衛門殿	写
南寺内村組合惣代喜藤次	御村役人衆様	
成田九兵衛	成田栄治郎殿	
		下書カ
成田九兵衛	成田加右衛門様	
徳次郎	成田栄次郎様	
成田九兵衛	成田嘉右衛門殿	
成田九兵衛(印)	成田嘉右衛門殿	成田九兵衛と成田嘉右衛門は兄弟
定政(花押)	伴源五左衛門殿	
		ぬ4とぬ5の間にあり、表紙「他所出帳」
		ぬ38の後にあり
売主藤七(印)、きも入繁右衛門(印)	豊三郎殿	端裏「藤七」
うり主七郎左衛門(印)、証人松右衛門(印)	孫三郎殿	端裏「七郎左衛門証文」
南寺内村売主市郎兵衛、同村組頭加兵衛、同村附名主治郎九、今村入方証人友蔵	南寺内村与三次殿	
南寺内村御百姓代富次郎(印)、同村同断権助(印)、同村同断六右衛門(印)、同村同断庄吉(印)、同村同断長五郎(印)、同村名主加兵衛(印)	舩金差配人衆	作成の印に墨消しあり、端裏「南寺内村」、「安藤弥左衛門」の裏印あり
南寺内村御百姓代助蔵(印)、同村五人組頭権助(印)、同村名主四五右衛門(印)、同村同断加兵衛(印)	郡御役所	端裏「丑十二月元 南寺内村」
南寺内村伝八(印)		
浅草東村耕次郎(印)、同村同断相六(印)	同村兵平殿	紙全体・作成の印に墨消しあり、裏「証文 兵平書替并差引出入」
渡辺三蔵	成田栄次郎様	
八代孝之助㊦、安藤徳次㊦、松野清之助㊦	浅草三郷組合名主中	写、資料には「明治一ノ一」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西曆	形態	数
	明治2	内阿原村川口村地内浅草三郷囲桁地杭間尺書上帳	明治三庚午年六月	1870	横長	1
	明治3	未十二月書出シ扣帳（人別金銭書付）	明治三年	1870	横長	1
	明治4	寅年・辰年村入用一件熟談濟口高割返シ銀割帳	明治五壬申年四月	1872	横長	1
	明治5	米つき扣帳	明治五年申十月日	1872	横長	1
	明治6	〔人別田畑反別帳〕	明治五壬申年八月上旬より	1872	横長	1
大	明治7	大場村・同新田・有尾村・根古地村・同新田・下笠御高懸御年貢諸役年々割符附込勘定書付帳	明治七年戌正月吉日	1874	横長	1
	明治8	四反畑実地有尾村立会ニ而改帳	明治七年戌七月五日	1874	横長	1
大	明治9	中間地引訳ケ簿	明治八年亥二月	1875	横長	1
	明治10	酉年より差引帳	明治八年亥七月吉日	1875	横長	1
	明治11	多芸郡栗笠村小作横折帳	明治八年亥九月	1875	横長	1
	明治12	根古地村同新田実地取調ニ付礼相遣し割符帳	明治十年丑五月	1877	横長	1
大	明治13	根古地村・同新田・有尾村地券証書抜簿	明治十一年	1878	横長	1
	明治14	寅年掬米勘定帳	明治十一年十二月	1878	横長	1
	明治15	田畑地券御改正ニ付替地取調帳	明治十一年九月	1878	横長	1
	明治16	古酒元払日計簿并ニ玄米及白米出入糖粕売払	明治十二年十月一日	1879	横長	1
	明治17	大橋氏持地卯之掬米勘定簿	（明治）十二年十二月	1879	横長	1
	明治18	卯年掬米取上勘定帳	明治十三歳辰二月日	1880	横長	1
	明治19	巳八月書出扣帳（人別金銭書付）	明治十四年八月吉日	1881	横長	1
	明治20	酒蔵出帳	明治十五年十月一日ヨリ	1882	横長	1
	明治21	金銭出入控簿	明治二十年七月始メ	1887	横長	1
大	明治22	大場村・同新田・有尾村・下笠村・□□（根古）地村・同新田御年貢并地□□諸入費年々割符勘定帳	明治二十一年正月吉祥日	1888	横長	1
	明治23	明治廿四年度田方掬小作米勘定帳	明治廿五年三月	1892	横長	1
	明治24	再築掛御通	明治廿五年七月	1892	横半	1
	明治25	田畑御年貢小作掬米上納記帳	明治廿六年三月廿四日	1893	横長	1
	明治26	辰歳田畑宅地掬米取立帳	明治廿五年十二月	1892	横長	1
	明治27	〔人別反別等書付帳〕	（明治36年度）	1903	横長	1
	明治28	自廿四年一月至廿七年四月村内協議費割賦帳	明治二十七年四月二十三日	1894	横長	1

作 成	受 取	備 考
浅草東村百姓代藤内(印)、同村組頭次郎左衛門(印)、同村同断兵四郎(印)、同村名主大橋富五郎(印)	大垣藩民政寮御役所	資料には「明治一ノ二」と番号記載
浅草屋元七		資料には「明治二」と番号記載
大橋富五郎、佐藤兵平		資料には「明治三」と番号記載
東村浅草屋見せ		資料には「明治四」と番号記載
		破損あり、表紙「地券ニ付大場新田毛殊ニ改、札建番打掟以前高公畝夫より代価十ヶ年取置并入用平均仕、其公畝ニ相懸申候カ」、資料には「明治五」と番号記載
松永長九郎		資料には「明治六」と番号記載
		表紙綴じ紐に結び文あり、資料には「明治七」と番号記載
松永喜藤治、岡田重左衛門、松永長九郎		資料には「明治八」と番号記載
佐藤兵四郎	大橋庄八様	資料には「明治九」と番号記載
栗笠村佐藤与三郎(印)	多芸郡蛇持村佐野柳次郎殿	資料には「明治一〇」と番号記載
地持中		資料には「明治一一」と番号記載
松永姓		破損あり、資料には「明治一二」と番号記載
支配人高橋磐三郎	大橋様	資料には「明治一三」と番号記載
		資料には「明治一四」と番号記載
大橋富五郎		資料には「明治一五」と番号記載
支配人高橋磐三郎	大橋殿	資料には「明治一六」と番号記載
浅草東村大橋庄八殿扣		裏表紙「安八郡築捨村 河合善三郎支配人」、資料には「明治一七」と番号記載
		資料には「明治一八」と番号記載
安八郡浅草東村大橋荘八		資料には「明治一九」と番号記載
		表紙綴じ紐に結び文あり、資料には「明治二〇ノ一」と番号記載
松永長九郎		資料には「明治二〇ノ二」と番号記載
安福文吉(印)	大橋□四郎殿	資料には「明治二一」と番号記載
末広屋庄七	再築掛御中	資料には「明治二二ノ一」と番号記載
支配人桑原仙太郎(印)	地主大橋庄八殿	表紙「明治廿五年度分十二月改 安八郡南杭瀬村字割田地内」、資料には「明治二二ノ二」と番号記載
安八郡大垣町安田休右衛門		資料には「明治二三」と番号記載
		資料には「明治二四」と番号記載
浅草東村		荒地特別処分費・新道開通及桁修繕費・神社費・上樋一件樋・樋管費・諸費など書付、資料には「明治二五」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治29	通（講金受取につき）	明治廿七年九月日	1894	横半	1
	明治30	明治廿八年度福東村掬米勘定帳	明治廿九年三月廿五日 調製	1896	横長	1
	明治31	船附小作米取立帳	明治三十年度	1897	横長	1
	明治32	算術	明治卅年六月七日	1897	横長	1
	明治33	浅草三郷組合割賦帳	明治三十一年三月廿七日	1898	横長	1
	明治34	軍資献金名簿	明治参拾七年三月	1904	横長	1
大	明治35	当卯田畑掬小前年貢帳	明治三十六年度癸卯十二月	1903	横長	1
大	明治36	当寅田畑掬小前年貢帳	大正三年（明治四十七年）寅拾三月より	1914	横長	1
	明治37	記（田地売渡しにつき）	明治六酉年十二月	1873	横長	1
	明治38	宮入費支払ノ部(書付)	(明治25年～26年)	1892	横長	1
	明治39	[手習人数・代金など書付帳]	(明治)二十三年三月	1890	横長	1
	明治40	記（諸勘定調査につき）	明治四十一年二月	1908	横長	1
大	明治41	記（諸勘定済みにつき）	明治十六年十二月	1883	横長	1
	明治42	[小作掬勘定帳]			横長	1
	明治43	[村別地方税書付帳]			横長	1
	明治44	[地券下げ渡しにて地所改帳]			横長	1
	明治45	築捨小作掬帳			縦	1
	明治46	明治十四年度酒類造石検査簿	(明治14年)	1881	縦	1
	明治47	明治十五年度酒類造石検査簿	(明治15年)	1882	縦	1
	明治48	明治十六年度酒類造石検査簿	(明治16年)	1883	縦	1
	明治49①	明治十七年度酒類造石検査簿	(明治17年)	1884	縦	1
	明治49②	造酒搾り蒸溜器械封緘御請書	明治十七年十一月廿四日	1884	縦	1
	明治50①	明治十九年度酒類造石検査簿	(明治19年)	1886	縦	1
	明治50②	造酒搾り器械封緘請書	明治十九年十月九日	1886	縦	1
南	明治51	差入申一札之事（請状調印願いにつき）	明治元戊辰年十二月	1868	一紙	1
南	明治52	乍恐以書付奉願上候（御堤悪敷箇所取繕いにて船1艘貸渡し願いにつき）	明治元戊辰年十二月	1868	一紙	1
	明治53	乍恐以書付奉願上候（浅草三郷田場圃桁大破にて見分・目論見願いにつき）	明治二己巳年正月	1869	縦	1

作 成	受 取	備 考
八講世話方川瀬武平治(印)、 右同断大角清七(印)	大橋莊八殿	資料には「明治二六ノ一」と番号記載
		資料には「明治二六ノ二」と番号記載
支配人武内勘吉扣		表紙「大橋莊八所有地」、資料には「明治二七」と番号記載
尋常科第四学年生大橋みへ		資料には「明治二八」と番号記載
		表紙「於桑山民三郎宅」、表紙に浅草三郷組合諸雑費立替金受取証添付、資料には「明治二九」と番号記載
浅草東区		資料には「明治三〇」と番号記載
松永		資料には「明治三一」と番号記載
松永長九郎		資料には「明治三二」と番号記載
売渡主文三郎	買請人勘三郎殿	資料には「明治三三」と番号記載
		資料には「明治三四」と番号記載
勇治郎	大橋庄八様	資料には「明治三五」と番号記載
増田精一	大橋庄八様、同貞司様	資料には「明治三六」と番号記載
松永長之助(印)、松永範二(印)		資料には「明治三七」と番号記載
		資料には「明治三八」と番号記載
		資料には「明治三九」と番号記載
		表紙欠損、破損あり、資料には「明治四〇」と番号記載
		罫紙使用、資料には「明治四四」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 大橋莊八		破損あり、資料には「明治四五」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 大橋莊八		挿入紙あり、資料には「明治四六」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 大橋莊八		資料には「明治四七」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 大橋莊八		資料には「明治四八」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 酒造営業人大橋庄八(印)	岐阜県令小崎利準殿	「一免許鑑札第二四六八二号 美濃国安八郡浅草東村二番地 酒造場」とあり
美濃国安八郡浅草東村二番地 大橋莊八		資料には「明治四九」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地 酒造営業人大橋庄八(印)	岐阜県令小崎利準殿	「一免許鑑札第二四六八二号 美濃国安八郡浅草東村二番地 酒造場」とあり
本人松永沢之助(印)、親類箕浦豊之助(印)	南寺内村名主加兵衛殿、同村五人組頭音八殿	
南寺内村五人組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)	御堤方御役所	
浅草西村名主七右衛門、同中村名主河合十郎次、同東村名主大橋留五郎	郡政局水工方御役所	

推定	番号	表 題	年 代	西 暦	形 態	数
南	明治54	乍恐以書付奉願上候（南寺内村御堤通にて西大部屋北通り住居の惣兵衛ならびに只右衛門後家の義、間狭にて堤外原拝借し掛家作り願上げにつき）	明治三庚午年七月	1870	一紙	1
南	明治55	〔正月18日夜居宅より失火、隣家も類焼の科にて咎40処す処、過失の儀にて贖罪金3両申付状〕	（明治4年）辛未四月	1871	切紙	1
南	明治56	乍恐以書付奉願上候（柳作懸人甚蔵、病身にて安八郡久瀬川村勝治分引得貸屋を借り受け引越し、瀬戸物売買したく願上げにつき）	明治四辛未年六月	1871	一紙	1
南	明治57	乍恐以書付奉願上候（喜八懸人庄七、病身にて大垣俵町木村さく貸屋借り受け古郷へ帰り、古鋏道具商売したく願上げにつき）	明治四辛未年六月	1871	一紙	1
南	明治58	乍恐以書付奉願上候（林治娘さき、宮村永井藤左衛門方へ縁付け差遣わしたきにつき）	明治四辛未年六月	1871	一紙	1
南	明治59	乍恐以書付御尋ニ付奉申上候（南寺内村高辻内に大垣藩土屋敷内年貢地の処、先年より屋敷替えにても年貢申請けにて迷惑至極につき）	明治四辛未年六月	1871	一紙	1
南	明治60	人別送り書之事（善教寺貸地元伝馬長屋もんら2人、大垣竹嶋町善教寺へ引越し願い済み、寺人別に差加えにつき）	明治四辛未年七月	1871	一紙	1
南	明治61	人別送り書之事（大垣西船町高木留治郎ら5人、善教寺貸屋借請け引越し願い済み、寺貸屋人別に差加えにつき）	明治四辛未年七月	1871	一紙	1
南	明治62	乍恐以書付御願奉申上候（南寺内村惣助ら2人、大阪府管内摂州西成郡曾根崎村綿屋小兵衛貸屋借受け引越ししたきにて人別送り証印下付願いにつき）	明治四辛未年十月	1871	一紙	1
南	明治63	〔2月5日夜、政吉宅にての賭博により杖罪申付状〕	（明治5年カ）壬申二月	1872	切紙	1
南	明治64	覚（居宅並びに品々など金10両にて買取りの処、12月まで差し支えにて当人に貸し渡しにつき）	明治五壬申年七月	1872	一紙	1
南	明治65	送籍（愛知県愛知郡上日置町栗田たけら3人、美濃国安八郡南寺内村実父方へ附籍願いあるにて除籍につき）	明治五年壬申十月	1872	一紙	1
南	明治66	覚（松明、小縄、杭木数書上げにつき）	明治五壬申年	1872	一紙	1
	明治67	記（尾州小玉村大矢作左衛門扣地所、譲渡しの約定にて手附金35両余受取の処、皆金の義は地券下渡し約定につき）	明治六年十月	1873	一紙	1
	明治68	質流二相渡田畑証文之事（高7石余、代金75円）	明治七年戌一月	1874	一紙	1
	明治69-1	質流相渡申田地証券（田1反余ほか1か所、代金31円）	明治七年戌八月	1874	一紙	1
	明治69-2	記（反別・取米・高数書付）			切紙	1

作 成	受 取	備 考
南寺内村願主惣兵衛(印)、同村同断只右衛門後家(印)、同村御百姓代伝吉(印)、同村組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)、同村同断成田四郎左衛門(印)	大垣藩生産御役所	裏書「表書願之趣聞届候事 明治三年八月二日 生産局(印)」、端裏「寺内村宗兵衛外参人」
大垣藩	南寺内村卯三郎	
南寺内村願主柳作(印)、同村組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)	大垣藩御役所	端裏「引越願 六月十七日 南寺内村」
南寺内村願主喜八(印)、同村組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)	大垣藩御役所	端裏「帰町願 六月十七日 南寺内村」
南寺内村林次(印)、同村組頭音八(印)、同村名主加兵衛(印)	大垣藩御役所	端裏「縁付願 六月十九日 南寺内村」
南寺内村組頭音八、同村名主加兵衛、同村同断成田四郎左衛門	大垣藩御役所	
大垣藩御支配所美濃国安八郡大垣竹嶋町締役飯沼武作(印)、同断水谷十太夫(印)	大垣藩御支配所美濃国安八郡大垣善教寺殿	
濃州安八郡大垣船町締役河合伝治(印)、奥田清八(印)、安田空左衛門(印)	大垣藩御支配所美濃国安八郡南寺内村善教寺御納所衆中	
南寺内村惣助(印)、同村組頭岡崎音八(印)、同村名主成田嘉兵衛(印)	大垣県御役所	端裏「惣助引越願 十月三日 南寺内村」、「五拾三区戸長犬飼弥之右衛門(印)、同副名和八郎二(印)」の奥印あり
	南寺内村伊藤政吉、岩田惣吉	
清水宗平(印)	南寺内村戸長成田嘉兵衛殿	
右(愛知県管轄尾張国第一大区小七区愛知郡上日置)町副戸長永田源右衛門(印)	岐阜県御管轄美濃国安八郡南寺内村第五拾六区戸長・副戸長御中	
南寺内村名主加兵衛大(代)判音八(印)		端裏朱書「御認替之上此書面附紙之儘本紙ニ相添今日中御差出し可被成候、尤宛ハ元大垣県御役所より御認可被成候、南寺内村」
栗笠佐藤宇三郎(印)、証人小幡儀助	上ノ郷村西脇吉右衛門殿	
栗笠村売渡主川口仙九郎(印)、請人小幡儀助(印)	浅草東村大橋富五郎殿	栗笠村副戸長佐藤吉六の奥印あり、端裏「明治七栗笠仙九郎」
栗笠村地所渡し主樋口常右衛門(印)、証人小幡儀助(印)	浅草東村大橋富五郎殿	明治69-1に-2が挟みこまれていた、栗笠村戸長高橋治兵衛の奥印あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治70	永々売渡申田地証券之事（高34石余、田畑2町3反余、代金602円）	明治八年亥一月	1875	一紙	1
	明治71-1	証（田畑4町7反余譲渡しにて、地番証の書換願い取下げ次第、渡しにつき）	明治八年一月二十八日	1875	一紙	1
	明治71-2	記（金20円請取につき）	（明治8年）亥八月	1875	切紙	1
	明治72	売渡申田地証券之事（高2石2斗余、田畑1反6畝余、代金58円余）	明治八年六月	1875	一紙	1
	明治73	記（畑売払いにて金4円受取につき）	明治八年七月	1875	一紙	1
	明治74	田畑地所証券之事（田畑1反2畝余、金35円）	明治八亥年九月	1875	一紙	1
	明治75-1	添証券（田畑売渡しにて手附金100円受取につき）	明治八年亥九月	1875	一紙	1
	明治75-2	記（田畑買請証券請取の手附金の残金11月限りに渡しにつき）	— —		切紙	1
	明治76	売渡申地所之証券（田5畝13歩ほか1か所、代金26円など）	明治九年八月	1876	一紙	1
	明治77	売渡申地所証券之事（田畑3反28歩、代金180円）	明治九年子十月	1876	一紙	1
	明治78	地所売渡申証券（田6畝余ほか6か所、代金165円余）	明治九年子十一月	1876	一紙	1
	明治79	地所売渡証書（宅地5畝23歩、代金52円余）	明治十六年五月八日	1883	一紙	1
	明治80	地所売渡証書（田1畝余、代価13円余）	明治廿一年一月廿日	1888	一紙	1
	明治81	地所登記済証下付願（多芸郡栗笠村田1畝余買受け地券書書換えにつき）	明治廿一年一月廿七日	1888	一紙	1
	明治82	〔登記料及手数料金5円につき領収証〕	明治二十一年二月廿二日	1888	切紙	1
	明治83	〔登記料及手数料金25銭につき領収証〕	明治廿一年一月廿七日	1888	切紙	1
	明治84	地所登記済之証下附願（多芸郡栗笠村地内田畑・宅地5か所買受け地券書書換えにつき）	明治二十一年十月廿五日	1888	縦	1
	明治85	田地売渡証券（田地売渡代金490円）	明治廿一年七月二十日	1888	一紙	1
	明治86	地所登記済下附願（多芸郡栗笠村地内田畑5畝15歩ほか17か所買請け地券書書換えにつき）	明治廿一年七月廿五日	1888	縦	1
	明治87	地所売渡証書（畑2畝7歩、売渡代金9円90銭）	明治二十一年十月四日	1888	一紙	1

作 成	受 取	備 考
海松村地所売主中嶋百太郎(印)、同村証人中嶋勘右衛門(印)	栗笠村小幡儀助殿	破損あり、戸長高橋治兵衛の裏判あり
海松村中嶋百太郎(印)	小幡儀助殿	明治71-1に-2が挟みこまれていた、罫紙使用、罫紙印刷「無印紙証書用紙 岐阜県管下」
小畑儀助	浅草東村大橋富五郎様	
栗笠村戸長高橋治兵衛(印)、副戸長佐藤吉六(印)、地持総代大橋新七(印)	浅草東村大橋富五郎殿	端裏「明治八年 栗笠村地」
栗笠村副戸長佐藤吉六(印)	浅草東村大橋富五郎殿	
栗笠渡主川口仙九郎(印)、証人興専寺住職伊東大遵(印)	浅草東村大橋富五郎殿	戸長高橋治兵衛の裏判あり
本人栗笠村佐藤与三郎(印)、佐藤茂一(印)	蛇持村佐東柳治郎殿	明治75-1に-2が挟みこまれていた、罫紙使用
多芸郡蛇持村佐東柳次郎	栗笠村佐藤与三郎殿	
栗笠村地所渡主田中庄右衛門(印)、証人田中庄次郎(印)	東村大橋富五郎殿	朱書「第九拾号」、戸長高橋治兵衛の裏判あり、端裏「明治九年栗笠」、資料には「明治七八」と番号記載
上ノ郷村地所渡主西脇吉右衛門(印)、栗笠村証人小畑儀助(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	朱書「第百弐号」、戸長高橋治兵衛の裏判あり、端裏「明治九年栗笠」、資料には「明治七九」と番号記載
第三大区十一ノ小区多芸郡栗笠村売渡主大橋茂三郎(印)、同郡佐藤宇三郎(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	朱書「第百拾号」、栗笠村戸長高橋治兵衛の奥印あり、端裏「明治九年栗笠」、資料には「明治八一」と番号記載
美濃国安八郡割田村壱番地所居住売渡主桑原源右衛門(印)、割田村親族請人保証人桑原利八(印)	浅草東村大橋庄八殿	朱書「第三拾八号」、栗笠村戸長佐藤吉六の奥印あり、資料には「明治八四ノ一」と番号記載
美濃国多芸郡船附村三番地所居住売渡主安田藤蔵(印)、同国同郡同村親族請人保証人北川文弥(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	資料には「明治九六」と番号記載
安八郡浅草東村大橋庄八(印)	船附登記所御中	朱書「登記済(印) 明治二十一年一月廿七日」、資料には「明治九七」と番号記載
船附登記所(印)	大橋くめ	資料には「明治九八」と番号記載
船附登記所(印)	大橋庄八	資料には「明治九九」と番号記載
安八郡浅草東村大橋庄八(印)	船附登記所御中	朱書「登記済(印：船附登記所) 明治貳拾壹年拾月廿五日」、資料には「明治一〇〇」と番号記載
売渡人安八郡大垣宮町拾七番地横幕清太郎(印)、保証人同郡大垣本町横幕喜三郎(印)	美濃国安八郡浅草東村大橋庄八殿	朱書「栗笠村地所登記第五拾参・五拾四号(印：佐藤)」、資料には「明治一〇二」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村二番地大橋庄八(印)	船附登記所御中	朱書「登記済(印：船附登記所) 明治二十一年七月廿五日」、資料には「明治一〇三」と番号記載
美濃国多芸郡栗笠村売渡主川口よう(印)、同国同郡同村玉井円嶺(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	破損あり、朱書「栗笠村地所登記第五拾七号(印)」、資料には「明治一〇四」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治88	地所登記済証下附願（多芸郡栗笠村地内畑2畝7歩買受け地券書換えにつき）	明治二十一年十月四日	1888	一紙	1
	明治88-1	地所登記済証下附願（多芸郡栗笠村地内田6畝19歩買受け地券書換えにつき）	明治廿一年十一月八日	1888	一紙	1
	明治89	地所売渡証書（畑1畝10歩ほか4か所、代金31円余）	明治廿一年十月廿五日	1888	縦	1
	明治90①	地所売渡証書（反別2町5反余）	明治二十二年七月廿九日	1889	一紙	1
	明治90②	明細書（田反別1反1畝ほか33か所、合計反別2町5反余）	明治二十二年七月廿九日	1889	切紙	1
	明治91	建物売渡証書（木造平家造藁葺居家1棟、代金49円）	明治廿九年一月七日	1896	縦	1
	明治92	地所売渡証書（郡村宅地2畝22歩、代金162円）	明治廿九年一月七日	1896	縦	1
	明治93	記（700円のうち金15円受取につき）	明治八年十二月十六日	1875	切紙	1
	明治94	記（小幡儀助より金150円受取につき）	明治八年亥十二月一日	1875	一紙	1
南	明治95	借入金証書（金20円）	明治十六年十二月廿五日	1883	一紙	
南	明治96	借入金証券（金3円余）	明治拾八年一月廿五日	1885	一紙	1
南	明治97	借入金証書（金10円）	明治十八年二月廿八日	1885	一紙	1
南	明治98	借入金証書（金11円余）	明治十九年四月一日	1886	一紙	1
南	明治99	借入金証券（金13円余）	明治十九年八月二日	1886	一紙	1
南	明治100	借入金証書（金8円余）	明治十九年九月六日	1886	一紙	1
南	明治101	借入金証書（金2円余）	明治貳拾年三月一日	1887	一紙	1
南	明治102	借入金証書（金3円）	明治廿年五月三日	1887	一紙	1
南	明治103	借入金証書（金7円余）	明治廿年六月四日	1887	一紙	1

作 成	受 取	備 考
美濃国安八郡浅草東村大橋莊八(印)	船附登記所御中	朱書「登記済(印:船附登記所)明治貳拾壹年拾月四日」、資料には「明治一〇五」と番号記載
美濃国安八郡浅草東村大橋庄八(印)	船附登記所御中	明治88に重ね折られていた無番の史料を明治88-1とする、朱書「登記済(印:船附登記所)明治廿一年十一月八日」
売渡人佐藤領三(印)、保証人佐藤愛之助(印)	安八郡浅草東村大橋莊八殿	朱書「栗笠村地所登記第貳拾七号」、資料には「明治一〇七」と番号記載
美濃国多芸郡船着村大字船付百七十八番地所居住安田弥兵(印)、同国同郡船着村大字大野廿六番戸保証人渋谷鯉二(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	破損あり、資料には「明治一一四」と番号記載
多芸郡船着村大字船付安田弥兵(印)		
美濃国多芸郡船着村大字船附百廿八番戸居住売渡主武内勘吉(印)、保証人安田定三郎(印)	安八郡浅草東村十二番戸大橋貞司殿	朱書「船着村舟付 建物第廿七号 登記済 明治廿九年一月七日(印)」、建物の図面あり、資料には「明治一三六」と番号記載
多芸郡船着村大字船附百廿八番戸売渡主武内勘吉(印)、同郡同村百三十番戸保証人安田定三郎(印)	安八郡浅草東村十二番戸大橋貞司殿	朱書「船付地所第三十号 登記済 明治廿九年一月七日(印)」、資料には「明治一三七」と番号記載
佐藤与三郎(印)	大橋庄八殿	資料には「明治七六」と番号記載
佐藤与三郎(印)	大橋庄八殿	資料には「明治七七」と番号記載
美濃国安八郡南顔村四番地所居住借用主川瀬竹次郎(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治八五」と番号記載
安八郡大垣町大字南寺内借用主柴崎清八(印)、安八郡大垣町大字南寺内保証人加納五左衛門(印)	大垣町大字南寺内成田栄次郎殿	紐括りあり、作成の印に墨消しあり、資料には「明治八六」と番号記載
安八郡南寺内村借用主角田綱吉(印)、同郡同村保証人角田周吉(印)、同郡同村保証人杉田君弥(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治八七」と番号記載
安八郡南寺内村借主市川増次郎(印)、安八郡南寺内村保証人杉田忠右衛門(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治八九」と番号記載
借主磯貝竹治郎(印)、後見人磯貝菊太郎(印)、保証人棚橋与市(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治九〇」と番号記載
安八郡南顔村借主小瀬庄八(印)		資料には「明治九一」と番号記載
安八郡南寺内村借用主浅の伊作(印)、同郡同村保証人高橋竹次郎(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治九二」と番号記載
安八郡世安村広瀬清七(印)	南寺内村成田栄治郎殿	資料には「明治九四」と番号記載
安八郡世安村借主高田金蔵(印)、同郡同村保証人岩田嘉六(印)、同郡南寺内村保証人杉田忠次郎(印)	成田栄治郎殿	資料には「明治九五」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
南	明治104	借入金証書（金1円65銭）	明治二十一年十月廿八日	1888	一紙	1
南	明治105	借入金証書（金21円50銭）	明治廿一年十月一日	1888	一紙	1
南	明治106	借入金証書（金15円）	明治二十二年一月十三日	1889	一紙	1
南	明治107	借入金証書（金7円2銭）	明治貳拾三年一月一日	1890	一紙	1
南	明治108	借入金証書（金7円2銭）	明治廿三年八月一日	1890	一紙	1
	明治109	証（角樋修繕金不足にて三郷惣代立合割符金5円7銭余領収につき）	明治二十八年八月二十九日	1895	一紙	1
南	明治110	借入金証券（金1円70銭）	明治廿八年 月 日	1895	一紙	1
南	明治111	証(田5畝4歩、私借受け作付にて小作証書)	明治九年十月日	1876	一紙	1
南	明治112	小作証券（田25歩ほか8か所）	明治廿三年一月一日	1890	一紙	1
南	明治113	小作証券（田2畝8歩ほか4か所）	明治廿三年一月一日	1890	一紙	1
南	明治114	小作証券（田2畝20歩ほか4か所）	明治廿四年一月一日	1891	一紙	1
南	明治115	小作証券（田3畝15歩ほか1か所）	明治廿四年五月一日	1891	一紙	1
南	明治116	小作証券（田3畝23歩ほか1か所）	明治廿四年六月日	1891	一紙	1
南	明治117	小作証券（田1段6畝余）	明治二十五年五月一日	1892	一紙	1
南	明治118	小作証券（田1反歩）	明治廿五年五月一日	1892	一紙	1
南	明治119	小作証券（市街宅地33坪）	明治廿五年九月廿七日	1892	一紙	1

作 成	受 取	備 考
安八郡南寺内村川瀬留蔵(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治一〇八」と番号記載
安八郡南寺内村借主若園甚七(印)	成田栄治郎殿	資料には「明治一〇九」と番号記載
安八郡南寺内村六拾七番戸借主浅野伊作(印)、同郡同村番戸保証人松原清六(印)	成田栄治郎殿	資料には「明治一一二」と番号記載
安八郡大垣町大字世安借用主広瀬清太郎(印)、同郡大垣町大字保証人香村三十郎(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治一二六」と番号記載
大垣町大字南寺内借主北村丈吉(印)、北村庄吉(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治一二七」と番号記載
安八郡浅草東村佐藤公四郎(印)	大橋荘八殿	資料には「明治一三三」と番号記載
安八郡大垣町字南寺内借用主白井庄之進(印)、杉田君弥(印)	成田栄次郎殿	資料には「明治一三五」と番号記載
南寺内村小作人杉野丈助(印)、請人浅野岩太郎(印)	大垣住士族地主高岡小金吾殿	資料には「明治八〇」と番号記載
借地受作本人 郡 村、右保証人 郡 村	成田栄次郎殿	破損あり、印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一一五」と番号記載
借地受作本人安八郡大垣町大字南寺内、右保証人 郡 村	成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一一六」と番号記載
安八郡大垣町大字南寺内五十番戸借地受作本人加納五左衛門(印)、安八郡大垣町大字南寺内五拾七番戸右保証人高橋今治(印)	成田栄次郎殿	破損あり、印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一一七」と番号記載
安八郡大垣町大字南寺内借地受作本人柴崎清八(印)、同郡世安村保証人岩田嘉六		破損あり、印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一一八」と番号記載
借地受作本人安八郡大垣町大字南寺内、右保証人 郡 村		破損あり、印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一一九」と番号記載
借地受作本人安八郡大垣町大字南寺内杉田忠次郎(印)、右保証人 安八郡大垣町大字南寺内	大垣町大字南寺内成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二〇」と番号記載
借地受作本人安八郡大垣町大字南寺内大樽領蔵(印)、右保証人 安八郡大垣町大字南寺内加納五左衛門(印)、右保証人 同郡大垣町大字南寺内川瀬留蔵(印)	成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二一」と番号記載
借地受作本人郡 村白井庄之進(印)、右保証人 郡 村杉田君弥(印)	大垣町大字南寺内 成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二二」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治120	小作証券（畑4畝9歩）	明治廿六年 月 日	1893	一紙	1
南	明治121	小作証券（田3畝10歩）	明治廿六年 月 日	1893	一紙	1
南	明治122	小作証券（田1反9畝26歩）	明治 年 月 日		一紙	1
南	明治123	奉公人請状証券（本年12月より1年奉公にて給金のうち8円余受取につき）	明治二十五年十二月廿五日	1892	一紙	1
南	明治124	奉公人請状証券（本年12月より1年奉公にて、給金のうち12円余受取につき）	明治廿七年一月二日	1894	一紙	1
南	明治125	奉公人約定ニ付借用金証券（本年12月より1年奉公にて、給金のうち10円余受取につき）	明治廿七年十二月卅日	1894	一紙	1
南	明治126	奉公人約定ニ付借用金証券（本年12月より1年奉公にて、給金のうち8円受取につき）	明治廿八年十二月三十一日	1895	一紙	1
南	明治127	借地証券（田8畝13歩ほか4か所、5か年借受作付につき）	明治十九年一月日	1886	一紙	1
南	明治128	借地証券（市街宅地32坪）	明治廿七年一月一日	1894	一紙	1
	明治129	借地証券（宅地2畝15歩、畑1畝12歩ほか4か所）	明治 年 月 日		一紙	1
	明治130	借地証券（1畝6歩、田7畝5歩ほか5か所）	明治 年 月 日		一紙	1
	明治131	御請書之証（請作人への掟方5分割、納米の持参、本免納入などの件につき）	明治十六年一月	1883	縦	1
	明治132	御請書之証（請作人への掟方5分割、納米の持参、本免納入などの件につき）	明治十六年一月	1883	縦	1
南	明治133	〔南寺内村地所持ち分売払いにて取替金出入済につき書状・約定証写〕	（明治16年5月1日）	1883	一紙	1
	明治134	横折記（売渡田畑の反別・地価・取米など書付）	明治拾六年七月	1883	一紙	1

作 成	受 取	備 考
借地受作本人郡 村白井庄之進(印)、右保証人 郡 村杉田君弥(印)		印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二三」と番号記載
借地受作本人牧村渡邊浅治朗(印)、右保証人安八郡南寺内村小寺太三郎(印)	大垣町字南寺内 成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二四」と番号記載
借地受作本人安八郡大垣町大字世安岩田嘉六(印)、右保証人安八郡大垣町大字世安山北市太郎(印)	大垣町字南寺内 成田栄次郎殿	印刷物、印「定価五厘」「岐阜県美濃国安八郡大垣西船町十二番戸編輯兼出版人□田豊吉」、資料には「明治一二五」と番号記載
安八郡大垣町大字世安本人岩田嘉六(印)、同郡大垣町大字南寺内請人杉田忠次郎(印)	大垣町大字南寺内成田栄次郎殿	資料には「明治一二九ノ二」と番号記載
多芸郡金谷村本人野村助治郎(印)、大垣町大字南寺内保証人杉田忠吉(印)	安八郡大垣町大字南寺内成田栄次郎殿、□園吉治郎殿	資料には「明治一三一」と番号記載
岐阜県多芸郡金谷村十八番戸借主野村助次郎(印)、同県下安八郡大垣町大字南寺内保証人杉田忠次郎(印)	安八郡大垣町大字南寺内成田栄次郎殿、小川平次殿	資料には「明治一三二」と番号記載
安八郡大垣町大字南寺内借用主国嶋米吉(印)、安八郡大垣町大字南寺内保証人杉田忠右衛門(印)	安八郡大垣町大字南寺内成田栄次郎殿	資料には「明治一三四」と番号記載
小作人杉田君弥(印)、請人市川増次郎(印)	南寺内村地主成田栄治郎殿	資料には「明治八八」と番号記載
安八郡大垣町大字南寺内借地主大橋仁作(印)、同郡同町大字南寺内保証人杉田忠きち(印)		資料には「明治一三〇」と番号記載
小作人川瀬留蔵(印)、請人杉田君弥(印)		資料には「明治一四四」と番号記載
小作人杉田君弥(印)、請人川瀬留蔵(印)		資料には「明治一四五」と番号記載
多芸郡栗笠村西組百姓総代田中 孫 八(印)、近藤 善 四 郎(印)、小里惣吉(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	資料には「明治八二ノ一」と番号記載
多芸郡栗笠村中組東組百姓総代栗田忠七(印)、安藤嘉兵衛(印)、樋口喜代八(印)、松岡重平(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	資料には「明治八二ノ二」と番号記載
	(成田嘉右衛門殿)	「写之扣」とあり、資料には「明治八三」と番号記載
売渡主小畑儀助(印)	安八郡浅草東村大橋政尾殿	資料には「明治八四ノ二」と番号記載

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	明治135	御詫書（明治17年7月中入水にて畑方貢米の義、心得違いの廉あり、掟地5分下げ分廃し従前通り納めるにつき）	明治二十年二月	1887	縦	1
	明治136	巡査在勤所請願（巡査止宿所廃止にて有志者らの家屋借受け巡査在勤所に提供につき）	明治廿一年六月二十二日	1888	縦	1
南	明治137	約定証書（美濃国安八郡禾森村内田9畝24歩、南寺内村成田栄次郎所有地・川瀬留蔵拝借地の春作代金1円32銭借用につき）	明治二十一年十月三十日	1888	一紙	1
	明治138	記（金5円、安八郡浅草東村大橋荘八殿と他1人の地所売買にて差金受取につき）	明治廿一年十一月八日	1888	一紙	1
	明治139	受取証（栗笠村地内の地券1通につき）	明治廿一年 月	1888	一紙	1
南	明治140	土地台帳謄本（段別5畝15歩）	明治廿三年二月廿一日	1890	一紙	1
	明治141	〔席田郡三橋村共有地所売買登記請求事件、代理人定めにつき委任状〕	明治廿四年八月日	1891	縦	1
	明治142	委任状（席田郡三橋村共有地所売買登記請求事件、代理人定めにつき）	明治廿四年 月 日	1891	一紙	1
	明治143	仮領収証（62円59銭余、明治30年度甚七測用水費大字浅草3か字分）	明治三十年十月廿一日	1897	一紙	1
	明治144	登記簿謄本（安八郡川口村、田4畝4歩）	明治三十一年五月三十日	1898	縦	1
	明治145	領収証（76銭余、明治31年分浅草西字江東桁修繕費）	明治三十二年三月廿九日	1899	一紙	1
	明治146	〔不動産などの譲り渡しの件などにつき書状〕	（明治）三拾九年六月廿五日	1906	一紙	1
	明治147	記（材木代金など書付）	明治卅九年三月	1906	横長	1

作 成	受 取	備 考
多芸郡栗笠村惣代近藤善十郎(印)、田中重次郎(印)、田中伊八(印)、本主桑原新蔵(印)、同田中字平(印)、同田中喜三郎(印)、同田中安兵衛(印)、同近藤茂三郎(印)、同近藤久八(印)、同桑原清九郎(印)、同小里定吉(印)、同田中清左衛門(印)	安八郡浅草東村大橋庄八殿	資料には「明治九三」と番号記載
安八郡内阿原村浅野牛之助(印)他2名、同郡島里村杉野逸八(印)他1名、同郡釜笛村旧井孫兵衛(印)他3名、同郡外湖村大橋光太郎(印)他3名、同郡川口村増田精一(印)他2名、同郡浅草東村大橋庄八(印)他2名、同郡浅草中村河合十郎次(印)他2名、同郡浅草西村和田長九郎(印)他2名	岐阜県知事小崎利準殿	安八郡内阿原村外七ヶ村戸長杉野相平の奥印あり、朱書「願之趣聴許ス」、資料には「明治一〇一」と番号記載
安八郡南寺内村浅野伊佐吉(印)	成田栄次郎殿取次	資料には「明治一〇六」と番号記載
西岩道村西脇又次郎(印)	栗笠村小畑儀助殿	資料には「明治一一〇」と番号記載
右(美濃国安八郡浅草東村)大橋荘八	多芸・上石津郡長高貞正殿	資料には「明治一一一」と番号記載
岐阜県収税属二宮虎三郎(印)	安八郡大垣町南寺内成田三津次郎	資料には「明治一一三」と番号記載
美濃国席田郡三橋村翠三治、同国同郡同村村木彦三郎、同国同郡同村大野善三郎、同国同郡同村真浄院、同国同郡同村信徒惣代翠喜藤治、同国同郡同村大野忠五郎、同国同郡同村五鳥助三郎		資料には「明治一二八」と番号記載
美濃国席田郡三橋村大野庄太		綴じ穴跡あり、資料には「明治一二九ノ一」と番号記載
安八郡浅草村大字浅草東佐藤兵四郎、同郡同村大字浅草西桑山民三郎(印)、同郡同村大字浅草西和田次右衛門(印)	安八郡浅草村長大橋荘八殿	作成の和田次右衛門(印)には墨消しあり、資料には「明治一三八」と番号記載
大垣区裁判所 監督判事三村正立(印)		資料には「明治一三九」と番号記載
浅草村大字浅草西 鈴木太吉(印)	大橋荘八殿	資料には「明治一四〇」と番号記載
松岡寺次郎	大橋様	資料には「明治一四一」と番号記載
(印：美濃 安八郡大垣下町材字)	大橋荘八殿	資料には「明治一四二」と番号記載

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	明治148	所有権移転登記申請書	明治四拾五年六月式拾 壱日	1912	一紙	1
南	明治149	〔破牢逝去の脇野村惣七という者を召し捕え の節、2階へ隠し置くなどにて拘曝3日申付 状〕	九月		切紙	1
	明治150	記（土産物、人力車代など書付）			切紙	1
	明治151	〔安八郡浅草中村 第八号字江西絵図〕			絵図	1
	明治152	字寺浦（絵図）			絵図	1
	明治153	〔堀田絵図〕			絵図	1
	明治154	〔安八郡浅草仲村字絵図面 第拾号字江合〕			絵図	1
	明治155	安八郡浅草中村 第八号江西（絵図）			絵図	1
	明治156	安八郡浅草仲村字絵図面 第拾号字江合			絵図	1
	明治157	軽便鉄道線路敷略図			絵図	1
	明治158	〔村絵図〕			絵図	1
	明治159	安八郡浅草中村絵図			絵図	1
	明治160	〔字中屋敷絵図〕			絵図	1
	明治161	安八郡□（浅）草村字絵図面 第六□（号）字村 前			絵図	1
	明治162	安八郡浅草仲村字絵図面 第九号字寺浦			絵図	1
	明治163	安八郡浅草仲村字図面 第三号字北屋敷			絵図	1
	明治164	〔字□屋敷絵図〕			絵図	1
	明治165	安八郡浅草仲村字道当字絵図 第七号			絵図	1
	明治166	麦々蔵取立地主引訳勘定渡帳	明治廿八年七月廿一日	1895	横長	1
	明治167	〔金銭出入覚帳〕	（明治22～24年）	1889	横長	1
	明治168	〔地所売渡し証文など写帳〕	（明治4～22年）	1871	横長	1
	明治169	〔取立訳など書付帳〕	（明治38～大正元年）	1905	横長	1

### 石津郡乙坂村文書目録

	い1	石津郡乙坂村御検地帳	慶安元年子ノ十月十二 日	1648	縦	1
--	----	------------	-----------------	------	---	---

作 成	受 取	備 考
安八郡浅草村大字浅草東六百五拾九番地登記権利者大橋貞司、安八郡大垣町大字貳百七拾五番戸右代理人犬飼三郎(印)	大垣区裁判所御中	印刷物、印刷「不動産登記申請用紙第壱号」「安八郡大垣町大字郭百七拾五番戸 編著兼発行人 犬飼三郎」、資料には「明治一四三」と番号記載
大垣藩	南寺内村とき	破損あり、資料には「明治一四六」と番号記載
		資料には「明治一四七」と番号記載
		39.0×27.2cm、破損あり、貼紙あり、彩色、明治155とつながる、資料には「明治一四八」と番号記載
		53.6×94.2cm、破損あり、継目剥がれ、彩色、資料には「明治一四九」と番号記載
		27.4×56.1cm、切抜きあり、彩色、絵図左部分無し、「字九十号」「安八郡内河原村堺」とあり、資料には「明治一五〇」と番号記載
		27.4×11.3cm、破損あり、彩色、明治156とつながる、資料には「明治一五一」と番号記載
		38.4×27.1cm、破損あり、彩色、明治151とつながる、資料には「明治一五二」と番号記載
		27.4×38.9cm、破損あり、貼紙・剥離紙あり、彩色、明治154とつながる、資料には「明治一五三」と番号記載
		27.7×39.5cm、朱書あり、資料には「明治一五四」と番号記載
		152.7×148.0cm、破損あり、継目剥がれ、彩色、「八幡宮」「上屋敷」とあり、資料には「明治一五五」と番号記載
		126.6×119.8cm、破損あり、継目剥がれ、剥離紙あり、彩色、資料には「一五六」と番号記載
		32.6×43.8cm、破損あり、継目剥がれ、彩色
		27.4×48.4cm、破損あり、継目剥がれ、剥離紙あり、彩色
		33.4×75.2cm、破損あり、継目剥がれ、剥離紙あり、彩色
		39.2×44.6cm、破損あり、継目剥がれ、彩色
		33.6×39.6cm、継目剥がれ、剥離紙あり、彩色
		39.2×44.6cm、継目剥がれ、剥離紙あり、彩色
地主惣代		明治9と明治10の間にあり
		綴じ紐切れ、資料には「明治四一」と番号記載
		資料には「明治四二」と番号記載
		資料には「明治四三」と番号記載
菅沼長右衛門、山田惣兵□(衛)、御帳付服部次左□□(衛門)、御横目林理兵衛		破損あり、綴じ紐切れ、表紙「安内者次郎左衛門、同助左衛門、同孫二郎、同八蔵」

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	い2	石津郡乙坂村御検地畑方帳	慶安元年子ノ十月十二日	1648	縦	1
	い3	濃州多芸郡乙坂村御検地帳	慶安四年辛卯九月十六日	1651	縦	1
	い4	濃州多芸郡乙坂村御検地帳	慶安四年辛卯九月十六日	1651	縦	1
	い5	濃州多芸郡乙坂村御検地帳	慶安四年卯九月十六日	1651	縦	1
	い6	乙坂村開方御検地帳	延宝三年乙卯九月廿二日	1675	縦	1
	い7	乙坂村御新田開方御見取帳	延宝三年乙卯九月廿二日	1675	縦	1
	い8	乙坂村中阿原高見取帳	延宝四年丙辰二月十二日	1676	縦	1
	い9	濃州多芸郡乙坂村御検地帳	延宝四年丙辰二月十二日	1676	縦	1
	い10	卯年山田井水乙坂村永引地御改帳	元禄拾弍己卯年八月九日	1699	横長	1
	い11	乙坂村小見取所永引之内起替御検地帳	正徳四甲午年八月廿日	1714	縦	1
	い12	扣高名寄并掟米帳	享保三戊戌年九月改	1718	縦	1
	い13	乙坂村御小見取所当作引御改帳	宝暦五乙亥年九月八日	1755	横長	1
	い14	乙坂村御本田年々川欠当作引亥ノ御改帳	宝暦五乙亥年九月八日	1755	横長	1
	い15	乙坂村彦内新開畝歩竿入改帳	明和九壬辰年十月	1772	縦	1
	い16	乙坂村彦内新開畝歩竿入改帳	明和九壬辰年十月	1772	縦	1
	い17	乙坂村諸引地場再検帳	文化五戊辰年八月	1808	縦	1
	い18	〔乙坂村引得田畑名寄帳〕	(寛文13年)	1673	縦	1
	ろ1	乙坂村免割帳	慶安元年子ノ霜月朔日	1648	横長	1
	ろ2-1	乙坂村免割帳	慶安弍年丑ノ霜月五日	1649	横長	1
	ろ2-2	乙坂村免割帳	慶安四年卯ノ十月	1651	横長	1

作 成	受 取	備 考
菅沼長右衛門、山田惣兵衛、御帳付服部次左衛門、御横目林理兵衛		結び文あり、破損あり、表紙「式冊之内」「案内者二郎左衛門、同助左衛門、同孫二郎、同八蔵」
浅井六右衛門(印)(花押)、山田惣兵衛(印)(花押)、杉原角左衛門(印)(花押)、岡本理兵衛(印)(花押)		破損あり、貼紙多数あり、剥離紙あり、「紙数三拾壹枚上紙共ニ」「御竿取三人、案内者彦右衛門、同初左衛門、同五郎太郎」とあり
浅井六右衛門、山田惣兵衛、杉原角左衛門、岡本理兵衛		破損あり、貼紙多数あり、剥離紙あり、「御竿取三人、案内者彦右衛門、同助左衛門、同五郎太郎」とあり
浅井六右衛門、山田惣兵衛、杉原角左衛門、岡本理兵衛		破損あり、「紙数三拾壹枚上紙共ニ」「御竿取三人、案内者彦右衛門、同助左衛門、同五郎太郎」とあり
高崎一郎右衛門(印)(花押)、本田升右衛門(印)(花押)		破損あり、表紙「紙数拾六枚上紙共」
高崎一郎右衛門(印)(花押)、本田升右衛門(印)(花押)		破損あり、表紙「紙数九枚上紙共」「式冊之内」、「見取帳式冊之内 延宝四年丙辰二月十二日 須田弥五左衛門(印)、梶川平左衛門(印)、目付飯田久之丞(印)、杉田金平(印)」とあり
改御勘定所(印)(印)(印)(印)、須田弥五左衛門(印)(花押)、梶川平左衛門(印)(花押)、目付飯田久之丞(印)(花押)、同杉田金平(印)(花押)、帳付吉川助八(印)(花押)		破損あり、綴じ紐切れ、「御竿取式人、町縄引壱人、案内者乙坂村庄屋彦右衛門、同与頭孫太郎、小百姓助左衛門、同伝兵衛、同与左衛門」「紙数九枚上紙共ニ」とあり
改御勘定所、須田弥五左衛門、梶川平左衛門、目付飯田久之丞、同杉田金平、帳付吉川助八、		破損あり、貼紙多数あり、「竿取式人、町縄引壱人、案内者乙坂村庄屋彦右衛門、同与頭孫太郎、小百姓助左衛門、同伝兵衛、同与左衛門」「紙数六拾三枚上紙共ニ」とあり
改和田笹右衛門(印)、御目付小森安兵衛(印)	乙坂村名主、惣百姓中	表紙破損あり
改岡本利兵衛(印)、御目付服部与右衛門(印)	乙坂村名主、五人与頭殿	
佐藤氏信(花押)		破損あり
桑原善右衛門(印)、御横目木村里右衛門(印)	乙坂村名主	表紙「宝暦五亥年八月日」
桑原善右衛門(印)、御横目木村里右衛門(印)	乙坂村名主	破損あり、表紙「宝暦五亥年八月日」
御横目松村兵治、藤江彦右衛門	乙坂村名主	破損あり、表紙「引得」
御横目松村兵治(印)、藤江彦右衛門(印)	乙坂村名主	破損あり
御横目田村助太夫、金森九左衛門	乙坂村名主	破損あり
		破損あり
		『岐阜県史 史料編 近世四』 pp. 848～850に収載
		破損あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ3	辰之年乙坂村御免割帳	承応元年極月五日	1652	横長	1
	ろ4	乙坂村免割帳	明暦元歳未極月六日	1655	横長	1
	ろ5	乙坂村免割帳	明暦弍歳申十一月十三日	1656	横長	1
	ろ6	酉年乙坂村免割帳	明暦三年極月吉日	1657	横長	1
	ろ7	亥ノ年乙坂村御免割帳	万治弍年亥ノ霜月十六日	1659	横長	1
	ろ8	辛丑年乙坂村御免割帳	寛文元年十一月七日	1661	横長	1
	ろ9	壬寅年乙坂村御免割帳	寛文弍年十一月十二日	1662	横長	1
	ろ10	辰年乙坂村反数ニ免割帳	寛文四年霜月十六日	1664	横長	1
	ろ11	巳年乙坂村御免割御帳	寛文五年ミノ霜月廿三日	1665	横長	1
	ろ12	午年乙坂村御免割并村割符帳	寛文(6年)四月二日	1666	縦	1
	ろ13	午年乙坂村御免割御帳	寛文六年霜月廿三日	1666	横長	1
	ろ14	未ノ年乙坂村御免割御帳	寛文七年霜月十二日	1667	横長	1
	ろ15	申ノ年乙坂村免割帳	寛(文)八年十一月六日	1668	縦	1
	ろ16	未年乙坂村御免割并村割符帳	寛文八年申ノ卯月廿九日	1668	縦	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり
		破損あり
		破損大
		破損あり
		破損あり
乙坂村庄屋彦右衛門(花押)、 助左衛門(花押)		破損あり、綴じ紐切れ
伝兵衛、助左衛門		破損大、綴じ紐切れ
		破損あり、「乙坂村庄や彦左衛門(印)、同村与頭 助左衛門(印)、十村与橋爪村庄や六右衛門(印)、 中村庄や太左衛門(印)、吉田村庄や次兵衛(印)、 宇田村庄や善右衛門(印)、安久村庄や仁左衛門 (印)、野口村庄や伝三郎(印)、上笠村庄や彦太 郎(印)、高ふち庄や太左衛門(印)、桜井村庄や 喜太夫(印)、上方村庄や儀左衛門(印)、りうせ んし村庄や兵右衛門(印)、せいし村庄や小右衛 門(印)、石畑村庄や忠太夫(印)、わしのす庄や 喜右衛門(印)、若宮村庄や左平(印)、ふなみ村 庄や吉兵衛(印)、大塚村庄や小左衛門(印)」と 連印あり、「御改佐久間太兵衛(印)」とあり
乙坂村庄や伝兵衛		破損あり、綴じ紐切れ
清兵衛(花押)、与七(花押)、 伝兵衛(花押)		
伝兵衛、清兵衛、与七		破損あり
		破損あり、「乙坂村庄や彦左衛門(印)、同村与頭 助左衛門(印)、拾村与中村庄や八郎兵衛(印)、 吉田村庄や次兵衛(印)、宇田村庄や善右衛門 (印)、安久村庄や仁左衛門(印)、大塚村庄□(屋) □□(印)、桜井村庄や喜太夫(印)、高畑村庄や 喜左衛門(印)、上方村庄や□□平(印)、りうせ んし村庄や吉左衛門(印)、石畑村庄や忠太夫 (印)、柏尾村庄や茂助(印)、せいし村庄や小右 衛門(印)、喜多村庄や忠四郎(印)、わしのす庄 や喜右衛門(印)、ふなみ村庄や吉兵衛(印)、若 宮村庄や左平(印)、橋爪村庄や六右衛門(印)」 と連印あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ17	申年乙坂村御免割并村割符帳	寛文九年酉ノ卯月廿八日	1669	縦	1
	ろ18	申ノ年乙坂村御免割御帳	寛文九年酉卯月	1669	縦	1
	ろ19	戌年乙坂村御免割符御帳	寛文拾年霜月	1670	横長	1
	ろ20	亥ノ年乙坂村御免割符御帳	寛文拾壹年亥ノ霜月	1671	横長	1
	ろ21	子ノ年乙坂村免割帳	寛文拾貳年十二月二日	1672	横長	1
	ろ22	丑ノ年乙坂村御免割帳	寛文拾三年霜月晦日	1673	横長	1
	ろ23	丑ノ年乙坂村御免割御帳	延宝貳年四月廿二日	1674	横長	1
	ろ24	子ノ年乙坂村御免わり帳	延宝貳年十一月廿一日	1674	横長	1
	ろ25	寅之年乙坂村御免割御帳	延宝三年	1675	横長	1
	ろ26	巳ノ年乙坂村免割帳	延宝五年十二月朔日	1677	横長	1
	ろ27	午ノ年乙坂村御免割帳	延宝六年十月十三日	1678	横長	1
	ろ28	未年乙坂村御免割御帳	延宝七年十二月十六日	1679	横長	1
	ろ29	申年乙坂村御免割御帳	延宝八年十一月十七日	1680	横長	1
	ろ30	亥ノ年乙坂村御免割御帳	天和三年霜月廿一日	1683	横長	1
	ろ31	子年御免割御帳	貞享元十一月	1684	横長	1
	ろ32	丑年乙坂村免割帳	貞享貳年霜月廿日	1685	横長	1
	ろ33	寅之年乙坂村御免割帳	貞享参年極月吉祥日	1686	横長	1
	ろ34	卯年御免割帳	貞享四年十二月十二日	1687	横長	1
	ろ35	巳之年御免割御帳	元禄貳年十二月十二日	1689	横長	1
	ろ36	未ノ年乙坂村御免割御帳	元禄五年十二月	1692	横長	1
	ろ37	酉ノ年御免割御帳	元禄六年酉十二月	1693	横長	1
	ろ38	戌年乙坂村御免割御帳	元禄七年十二月	1694	横長	1
	ろ39	亥ノ年乙坂村御免割御帳	元禄八年十一月十八日	1695	横長	1

作 成	受 取	備 考
乙坂村庄や彦左衛門(印)、同村与頭助左衛門(印)		破損大、表紙「改 窪田惣十郎(印)、浅野安左衛門(印)」、「宇田村庄や善右衛門(印)、同村同断三五郎(印)、橋詰村庄や六右衛門(印)、中村庄や太左衛門(印)、安久村庄や仁左衛門(印)、大塚村庄や小左衛門(印)、高畑村庄や喜左衛門(印)、桜井村庄や喜兵衛(印)、上方村庄や七兵衛(印)、りうせんじ庄や十郎兵衛(印)、せいし村庄や小右衛門(印)、柏尾村庄や茂助(印)、石畑村庄屋忠太夫(印)、同村同断庄兵衛(印)、わしのす庄や喜右衛門(印)、ふなみ村庄や吉兵衛(印)、若宮村庄や左平(印)」と連印あり
乙坂村庄や彦左衛門、同村与頭助左衛門		破損あり、表紙「但もくろくあと書」
与七、清兵衛、与左衛門、彦七郎、又左衛門、彦右衛門		破損あり
		破損あり
清兵衛、又左衛門、伝兵衛、与左衛門、彦七郎、助太夫、与七		
助太夫、伝兵衛、清兵衛、与七、与左衛門、又左衛門、彦七郎		
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村与頭孫右衛門(印)		破損あり、「改 高崎一郎右衛門(印)」とあり
乙坂村庄や彦右衛門、同村伝兵衛、同村又左衛門、同村彦七郎、同村与左衛門、同村与七、同村清兵衛		破損あり
		破損あり、「改 高崎市郎右衛門(印)」とあり
		破損あり
彦右衛門、助左衛門、民右衛門、又市、伝兵衛		破損あり
与□、伝兵□(衛)、又市、民右衛門、彦七郎		破損あり
金左衛門、彦七□(郎)、助左□□(衛門)、伝□□(兵衛)、 [ ]		破損あり
		破損あり
彦右衛門、助左衛門		破損あり、『岐阜県史 史料編 近世四』pp. 850～854に収載
		破損あり
庄屋彦右衛門、与頭助左衛門		破損あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり
名主彦右衛門、同村助左衛門		破損あり
名主彦右衛門、同村助左衛門		破損あり、裏表紙「久左衛門、与左衛門、又市」

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ40	子ノ年乙坂村御免御割帳	元禄九年十二月	1696	横長	1
	ろ41	子ノ年免割ニ落申分後割			横長	1
	ろ42	子ノ暮御免割高付	元禄九年十二月	1696	横長	1
	ろ43	寅年御免割御帳	元禄十一年霜月	1698	横長	1
	ろ44	卯ノ年乙坂村御免割帳	元禄拾貳己卯年極月	1699	横長	1
	ろ45	辰之年乙坂村免割帳	元禄拾三年十二月日	1700	横長	1
	ろ46	巳年乙坂村御免割御帳	元禄十四辛巳年十二月日	1701	横長	1
	ろ47	午ノ年乙坂村御免割帳	元禄拾五壬午年極月十日	1702	横長	1
	ろ48	未之年御免割帳	元禄十六年十二月廿日	1703	横長	1
	ろ49	乙坂村申之歳御年貢並取調方割符引入帳	宝永元甲申年十二月	1704	横長	1
	ろ50	申歳御免割御帳	甲 宝永元年十二月廿一日	1704	横長	1
	ろ51	戌年乙坂村御免割付出御帳	宝永三丙戌年十二月吉日	1706	横長	1
	ろ52	亥之年乙坂御免割并諸入用付出し帳	宝永五戊子年二月晦日	1708	横長	1
	ろ53	子之年乙坂村御免割并諸入用付出帳	宝永五戊子年十二月九日	1708	横長	1
	ろ54	丑之歳乙坂村御免割帳	宝永六己丑年十二月十六日	1709	横長	1
	ろ55	寅ノ年乙坂村御免割并諸入用付出帳	宝永七庚寅年十二月日	1710	横長	1
	ろ56	卯年村諸入用付出御免割帳	正徳元辛卯年	1711	横長	1
	ろ57	辰ノ年乙坂村諸入用付出免割帳	正徳二壬辰年十二月日	1712	横長	1
	ろ58	巳ノ年諸入用書出し御免割帳	正徳三癸巳年十二月	1713	横長	1
	ろ59	午ノ年乙坂村御免割御帳			横長	1
	ろ60	卯年御免割帳			横長	1
	ろ61	辰之年御免割帳			横長	1
	ろ62	酉ノ年乙坂村御免わり帳			横長	1
	ろ63	御免割高之覚			横長	1
	ろ64	戌之年御年貢米引入帳	寛文拾年極月二日	1670	横長	1
	ろ65	亥ノ年御年貢米引入帳	寛文拾二年子ノ二月	1672	横長	1
	ろ66	子ノ年御年貢米引入帳	寛文拾貳年十二月一日	1672	横長	1
	ろ67	巳ノ年御年貢引入帳	元禄二己巳年極月吉祥日	1689	横長	1
	ろ68	午之歳御年貢引入御帳	(元禄3年)	1690	横長	1
	ろ69	申ノ年御年貢米引入帳	元禄五年十二月	1692	横長	1
	ろ70	酉之年乙坂村御年貢諸引入帳	元禄六癸酉年	1693	横長	1
	ろ71	亥之年乙坂村御年貢米引入帳	元禄八乙亥年十一月	1695	横長	1
	ろ72	子之年乙坂村御年貢引入帳	元禄九丙子年十二月	1696	横長	1
	ろ73	卯年御年貢引入帳	正徳元辛卯年十二月	1711	横長	1

作 成	受 取	備 考
		ろ40・ろ41は綴られている
彦□□□(右衛門)、助□□□ (左衛門)、久[ ]、与[ ] 、又[ ]		破損あり
		破損あり
乙坂村助左衛門、与次右衛門		
乙坂村		
		表紙「亥ノ暮差合有之二付子ノ二月割符仕候」
乙坂村		
		破損あり
		破損あり
		表紙「元禄四未七月春御勘定割符仕候以後、本帳 見へかね候ニ付算用相改書直し申し」
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ろ74	巳之年御年貢米引入帳	正徳三癸巳年十二月	1713	横長	1
	ろ75	午之年御年貢米引入帳	正徳四甲午年十二月日	1714	横長	1
	ろ76	辰之年御年貢引入帳	(極月29日)		横長	1
	ろ77	戌之年乙坂村御年貢引入御年貢米帳	(戌之年)		横長	1
	ろ78	乙坂村卯年引入帳	(正徳2年)	1712	横長	1
	ろ79	乙坂村御年貢米引入帳			横長	1
	ろ80	乙坂村御年貢引入帳			横長	1
	ろ81	卯ノ年乙坂村御免割引入御帳	辰(延宝4年)ノ二月十一日	1676	横長	1
	ろ82	辰年乙坂村御免割引入帳	巳(延宝5年)三月廿七日	1677	横長	1
	ろ83	巳ノ年乙坂村御免割引入帳	午(延宝6年)ノ三月廿六日	1678	横長	1
	ろ84	午之年乙坂村御免割引入帳	延宝七年	1679	横長	1
	ろ85	未ノ年乙坂村御免割引入帳	延宝八年申ノ	1680	横長	1
	ろ86	申ノ年乙坂村御免引入帳	延宝九年酉ノ	1681	横長	1
	ろ87	酉ノ年乙坂村御免割引入帳	天和弍年戌ノ	1682	横長	1
	ろ88	亥ノ年乙坂村御免割引入帳	貞享元年子ノ四月	1684	横長	1
	ろ89	子ノ年乙坂村御年貢引入帳	貞享元霜月晦日	1684	横長	1
	ろ90	子ノ年乙坂村御免割引入帳	貞享弍年四月	1685	横長	1
	ろ91	寅ノ年乙坂村御免割引入帳	貞享四年丁卯五月廿七日	1687	横長	1
	ろ92	辰ノ年乙坂村御免割引入帳	元禄弍己巳年四月十一日	1689	横長	1
	ろ93	巳之年御免割引入帳	元禄三庚午年七月九日	1690	横長	1
	ろ94	午之年乙坂村御免割御引入帳	元禄四辛未年	1691	横長	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、表紙「極月廿九日 改名主」
		破損あり、結び文あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村与頭孫太郎(印)		「改 高崎市郎右衛門 (印)」とあり
		表紙「延宝五年辰ノ二月」、「改 窪田惣十郎(印)」とあり
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村与頭助左衛門(印)		「改 窪田惣十郎 (印)」とあり
		破損あり
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		破損あり、「改 川村孫兵衛(印)、成田左衛門(印)」とあり
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村五人与頭与七(印)		「改 草原伝右衛門、平川半兵衛」とあり
彦右衛門、助左衛門		
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		破損あり、「改 三木伝助 (印)、御横目 堀安兵衛(印)」とあり
		破損あり
乙坂村庄や彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		破損あり、「改 和田太郎右衛門 (印)、御横目 中西喜六 (印)、丑ノ六月廿二日ニ改候」とあり
乙坂村庄屋彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		破損あり、「改 河村孫兵衛(印)、早川角兵衛(印)」とあり
名主彦右衛門(印)、五人与頭助左衛門(印)		「改 小林文左衛門 (印)、御横目 中西喜六 (印)」とあり
名主彦右衛門(印)、五人与頭助左衛門(印)、小百姓伝兵衛、同断八左衛門(印)、同断又市(印)、同断与八(印)、同断源六(印)、同断長右衛門(印)、同断五太夫(印)、牧田村御役人五郎右衛門(印)		破損あり、表紙「乙坂村」、「改 小林文左衛門(印)、御横目 後藤礼右衛門 (印)」とあり
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、伝兵衛(印)、八左衛門(印)、又市(印)、与八(印)、七兵衛(印)、源六(印)、五太夫(印)、牧田村御役人五郎右衛門(印)		破損あり、「改 大橋猪左衛門 (印)、御横目 田中惣助 (印)」とあり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	ろ95	未之年乙坂村御免割引入帳	元禄五壬申年六月	1692	横長	1
	ろ96	丑之年乙坂村御免割引入帳			横長	1
	ろ97	戌之年乙坂村中御勘定御目録	寛文拾一年いノ二月廿三日	1671	横長	1
	ろ98	乙坂村清御勘定御目録控	元禄三庚午年四月	1690	縦	1
	ろ99	戌之年乙坂村御物成清御勘定御目録	元禄八乙亥年四月廿四日	1695	縦	1
	ろ100	亥年乙坂村御物成清御勘定御目録	元禄九丙子年五月廿五日	1696	縦	1
	ろ101	丑之年乙坂村御物成夫役米御皆済目録	元禄拾一戊寅四月十一日	1698	縦	1
	ろ102	辰之年乙坂村御物成清御勘定御目録	元禄十四辛巳年三月	1701	縦	1
	ろ103	申之歳乙坂村清御□□□□(勘定御目録)	宝永二歳酉ノ四月日	1705	縦	1
	ろ104	申之年乙坂村御物成清御勘定御目録	宝永二乙酉歳四月	1705	縦	1
	ろ105	未年乙坂村清御勘定御目録	宝暦弍壬申年三月	1752	縦	1
	ろ106	申歳乙坂村中御勘定御目録扣	宝暦二壬申年十二月廿三日	1752	縦	1
	ろ107	酉年乙坂村中御勘定御目録	宝暦三癸酉年十二月日	1753	縦	1
	ろ108	戌ノ年乙坂村中御勘定御目録	宝暦四甲戌年十二月日	1754	縦	1
	ろ109	戌歳乙坂村清御勘定御目録	宝暦五乙亥年三月五日	1755	縦	1
	ろ110	戌年乙坂村清御勘定御目録	宝暦五乙亥歳二月	1755	縦	1
	ろ111	[中下田・上中下畑など反別、引高など書付]			縦	1
	ろ112	乙坂村未之年御年貢并万納方割付引入	宝永元甲申年	1704	横長	1
	ろ113	乙坂村午之年御年貢并万納方割符引入帳	元禄拾六癸未年	1703	横長	1
	ろ114	乙坂村酉歳御年貢并万納方割符引入帳	宝永三丙戌年六月廿四日	1706	横長	1
	ろ115	乙坂村戌年御年貢米并万納方割符引入帳	宝永四丁亥年七月六日	1707	横長	1
	ろ116	乙坂村亥之年御年貢米并万納方割符引入帳	宝永五戊子年二月	1708	横長	1

作 成	受 取	備 考
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同村百姓伝兵衛(印)、外右衛門(印)、又市(印)、与八(印)、七兵衛(印)、源六(印)、五太夫(印)、喜蔵(印)、彦三(印)、牧田村出作人五郎右衛門(印)		破損あり、「改 大橋猪左衛門 (印)、御横目 小川左□治 (印)」とあり
乙坂村庄屋彦右衛門(印)、五人与頭助左衛門(印)	改 河村孫兵衛(印)、御目付松田金平(印)	
乙坂村庄や□兵衛	矢野左次右衛門殿、横山市左衛門殿	
乙坂村名主源兵衛	小林又左衛門殿	
乙坂村名主源兵衛(印)	伊藤九助殿	破損あり
乙坂村源兵衛	平川半兵衛殿	破損あり
乙坂村名主彦内(印)	和田笹右衛門殿	破損あり、剥離紙あり
		破損あり
乙坂村名主彦内(印)	石原次太右衛門殿	破損あり
乙坂村名主助左衛門、同村五人与頭善内、同村同断郡八	布施円六殿	破損あり、表紙「宝暦貳壬申年二月」
乙坂村名主藤五郎、同村五人組頭善内、同断郡八	石川二太夫殿	破損あり、表紙「宝暦二壬申年十二月」
乙坂村名主藤五郎(花押)、同村五人組頭善内(花押)、同断郡八(印)	石川二太夫殿	破損あり
乙坂村名主藤五郎、同村五人組頭善内、右郡八	布施円六殿	破損あり
乙坂村名主藤五郎、同村五人組頭善内、右同断郡八	布施円六殿	破損あり、表紙「引かへ」「宝暦五乙亥年二月日」
		破損あり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同断太郎左衛門(印)		破損あり、表紙「元禄十六癸未年十二月」、「改 石原次太右衛門 (印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭与左衛門(印)、右同断介左衛門(印)		破損あり、表紙「村帳」、「改 宮田喜平次 (印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同断与左衛門(印)		破損あり、「改 林茂助 (印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、右同断与左衛門(印)		「改 林茂助 (印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同断与左衛門(印)		「改 渡辺太左衛門 (印)」とあり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	ろ117	乙坂村丑年御年貢米并万納方割符引入帳	宝永七庚寅年二月日	1710	横長	1
	ろ118	乙坂村寅年御年貢米并万納方割符引入帳	宝永八辛卯年二月日	1711	横長	1
	ろ119	乙坂村巳年御年貢米并万納方割賦引入帳	正徳四甲午年	1714	横長	1
	ろ120	乙坂村午歳御年貢米并万納方割賦引入帳	正徳五乙巳年六月	1715	横長	1
	ろ121	乙坂村未年御年貢米并万納方割符引入帳	正徳六丙申年六月廿四日	1716	横長	1
	ろ122	乙坂村申之年御年貢米并万納方割賦引入帳	享保弍丁酉年六月日	1717	横長	1
	ろ123	乙坂村亥年御年貢米 [ ]	享保五庚子年六月日	1720	横長	1
	ろ124	子ノ年乙坂村差 [ ]	万治三年霜月 [ ]	1660	横長	1
	ろ125	卯年乙坂村御年貢米納庭帳	寛文三年卯十一月十二日	1663	横長	1
	ろ126	子之年乙坂村御物成割符御帳	寛文拾三年癸丑六月十一日	1673	縦	1
	ろ127	午之年乙坂村御皆済御目録	元禄三庚午十二月十九日	1690	縦	1
	ろ128	乙坂村竹大蔵御通写	元禄五壬申曆五月四日	1692	横長	1
	ろ129	中山道居益町大筋高付（不破郡3か村、石津郡4か村、多芸郡5か村の居益村に助郷申付けにつき）	元禄七戊二月	1694	縦	1
	ろ130	丑之年乙坂村御年貢納米御蔵庭帳	元禄十丁丑年九月朔日	1697	横長	1
は1		乙坂村御法度書御請状帳（雨降りのほかに笠・頭巾・手拭いなどかぶることの禁止、往還筋にての下馬の由など）	元禄四辛未年五月	1691	縦	1
は2		元禄六癸酉年□□□□絵図御裏書之写（多芸郡五日市村他21か村川除争論裁許の条）	元禄六癸酉年六月廿五日	1693	横長	1
は3		多芸郡志津村獵師鉄砲・玉なしおとし鉄砲・名主五人組頭三通り証文	（元禄14年10月）	1701	縦	1
は4		御公用御廻文并諸写	宝永二年乙酉十二月吉日より（～宝永5年）	1705	縦	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、「改 上田小平太 (印)、御横目 浅井藤蔵 (印)」とあり
		「改 上田小平太 (印)」とあり
		「改 窪田政右衛門(印)、御横目 栗松五兵衛(印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人組頭助左衛門(印)		「改 窪田政右衛門 (印)、御横目 後藤伊右衛門(印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		「改 桑原三内(印)、御横目 喜多村徳右衛門(印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		「改 桑原三内 (印)、御横目 日比半平 (印)」とあり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)		表紙下部欠損、破損あり、「改 沢野勘八 (印)、御横目 衣斐久助 (印)」とあり
		表紙下部欠損、破損あり
		破損あり、「乙坂村庄屋や助太夫 (印)、同村与頭孫右衛門(印)、拾村与橋爪村庄や六右衛門(印)、中村庄や太左衛門(印)、吉田村庄や次兵衛(印)、宇田村庄や善右衛門(印)、同村同断三五郎(印)、安久村庄や仁左衛門 (印)、大つか村庄や小左衛門 (印)、桜井村庄や喜兵衛 (印)、上方村庄や七兵衛 (印)、龍泉寺庄や十兵衛 (印)、石畑村庄や忠太夫 (印)、同村同断庄兵衛 (印)、せいし村庄や加左衛門 (印)、喜多村庄や忠四郎 (印)、わしのす庄や庄次郎 (印)、舟見村庄や吉兵衛 (印)、若宮村庄や左平 (印)」の連印あり、「改 高崎一郎右衛門 (印)」とあり
乙坂村名主彦右衛門	大橋伊左衛門殿	破損あり
		破損あり
猪伝左衛門、萩彦次郎、井三十郎、稲伊賀守、松美濃守、高伊勢守	居益町問屋、年寄、右助郷村々名主、百姓	写
乙坂村名主		
伝兵衛(印)、升右衛門(印)、五太夫(印)、又市(印)、与八(印)、七兵衛(印)、与左衛門(印)、喜蔵(印)、彦三(印)、彦兵衛(印)、市助(印)、助左衛門(印)、彦右衛門(印)	大橋伊左衛門殿	破損あり
稲伊賀、能出雲、本紀伊、松壺岐、松美濃、北安房、戸能登		
		破損あり
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	は5	御廻文写諸引得帳	正徳元年より同二年まで 同三年分も有	1711	縦	1
	は6	御廻文写并諸引得帳	正徳四甲午年八月より 享保二年春迄	1714	縦	1
	は7	御廻文写諸扣	享保二丁酉年九月より 同四年迄	1717	縦	1
	は8	金銀吹替御触御定目写	正徳四年(～享保2年)	1714	縦	1
	は9	〔触状写、川除普請目論見覚など万覚帳〕	(享保7～8年)	1722	縦	1
	は10	沢田村より被申上通ニ御座候御事(牧田・沢田・乙坂3か村の秣苧取場の件にて返答書差上げにつき)	天明三癸卯年四月	1783	一紙	1
	は11	栗原村与入組一件日記帳(乙坂村野山内に栗原村百姓立入り馬草盗みにて山論出来につき)	文化九壬申年四月	1812	縦	1
	は12	乍恐以書付御願奉申上候(市太郎ら5人、庇・土瓦取払うようの処、頭分市左衛門土瓦葺き勝手次第など村法一件につき)	弘化三丙午年十一月	1846	一紙	1
	は13	〔土蔵の土瓦葺き、頭分中により藁葺きとする処、忘却し土瓦へ葺替え訴訟にて、金子支払いの件などにつき願書〕			一紙	1
牧	は14	〔石津郡牧田村・市之瀬村境筋并境杭建立場所顕しにつき取替連印絵図〕	寛政七卯年五月	1795	絵図	1
牧	は15	天朝御領・当御領分入会惣体図(石津郡牧田村)	明治二年巳正月	1869	絵図	1
	は16	〔川通り絵図〕			絵図	1
牧	は17	〔石津郡牧田村絵図〕			絵図	1
牧	は18	〔牧田村絵図〕			絵図	1
	に1	申之年乙坂村御物成夫役米村諸入用引入御改帳	元禄六癸酉年六月廿九日	1693	横長	1
	に2	戌之年乙坂村御物成夫役米村諸入用御改帳	元禄八乙亥年	1695	横長	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり、前欠
大垣領濃州石津郡乙坂村名主助次郎、同国同郡同村組頭祐介、同国同郡同村百姓代彦内、同国同郡同村同断五藤次	御代官所石原清左衛門様御役所	破損あり
乙坂村		破損あり
頭分惣連印		破損あり、裏打ちあり
		破損あり
多羅尾四郎右衛門御代官所濃州石津郡牧田村村役人惣代庄屋五兵衛(印)、百姓代繁右衛門(印)、尾張様御領分同州同郡牧田村村役人惣代頭百五井弥三郎(印)、同久保竹十左衛門(印)、尾張様御領分同州同郡市之瀬村庄屋庄屋惣治(印)、同弥右衛門代応助(印)、組頭常右衛門(印)		150.4×104.4cm、彩色
右(石津郡牧田)村庄屋宇治長治左衛門		68.5×78.6cm、「竹腰様へ差出候扣也」とあり、彩色
		42.6×90.3cm、破損あり、彩色
		84.0×60.5cm、彩色
		31.0×43.0cm、彩色
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭与八(印)、同村百姓助左衛門(印)、伝兵衛(印)、升右衛門(印)、又市(印)、五太夫(印)、源六(印)、七兵衛(印)、喜蔵(印)、彦三(印)、与市(印)、牧田村出作人五郎右衛門(印)、牧田村出作人十右衛門(印)		「改 大橋猪左衛門(印)、御横目 稲葉源蔵(印)」とあり
		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	に 3	亥之年乙坂村御物成夫役米村諸入用御改帳	元禄九丙子年八月六日	1696	横長	1
	に 4	子之年乙坂村御物成夫役米村諸入用御改帳	元禄十丁丑年四月十一日	1697	横長	1
	に 5	丑之年乙坂村御物成夫役米村諸入用御改帳	元禄十一戊寅年六月	1698	横長	1
	に 6	辰之年乙坂村御物成夫役米諸入用御改帳	元禄拾三年辰十二月	1700	横長	1
	に 7	拾三年前辰ノ年より当辰ノ年迄被下米御帳 (表紙のみ)	寛文四年辰ノ六月十日	1664	一紙	1
	に 8	乙坂村酉之年従御公儀様被下米并村割符米帳	寛文拾年戌ノ卯月	1670	縦	1
	に 9	被下米割符御帳	寛文拾貳年	1672	横長	1

作 成	受 取	備 考
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭与八(印)、助左衛門(印)、久左衛門(印)、升右衛門(印)、五太夫(印)、又市(印)、関蔵(印)、七兵衛(印)、喜蔵(印)、彦三(印)、彦市(印)、牧田村出作人半五郎(印)、同村同断十右衛門(印)、同村同断市兵衛(印)		「改 伊藤九助 (印)、御横目 葛山丈七 (印)」とあり
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭与八(印)、同村惣百姓助左衛門(印)、久左衛門(印)、升右衛門(印)、五太夫(印)、又市(印)、関蔵(印)、七兵衛(印)、喜蔵(印)、彦助(印)、彦市(印)、牧田村出作人半五郎(印)、同断十右衛門(印)、同断市兵衛(印)		「改 平川半兵衛(印)、御横目 倉橋空左衛門(印)」とあり
乙坂村名主彦右衛門(印)、同村五人与頭与左衛門(印)、同村惣百姓助左衛門(印)、久左衛門(印)、升右衛門(印)、五太夫(印)、又市(印)、関蔵(印)、七兵衛(印)、彦市(印)、作兵衛(印)、彦助(印)、牧田村出作人半五郎(印)、同断助之丞(印)、同断市兵衛(印)		「改 平川半兵衛 (印)、御横目 井深左之右衛門(印)」の奥印あり
乙坂村名主彦内(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同村惣百姓中久左衛門(印)、同又市(印)、同与左衛門(印)、同五太夫(印)、同関蔵(印)、同彦市(印)、同作兵衛(印)、同彦助(印)、牧田村出作人半五郎(印)、同助之丞(印)、同市兵衛(印)		「改 和田笹右衛門 (印)、御横目 岩田惣内 (印)」とあり
乙坂村		
		破損あり、「乙坂村庄や彦左衛門 (印)、同村与頭助左衛門(印)、十村与橋詰村庄や六右衛門(印)、中村庄や太左衛門 (印)、同断八郎兵衛 (印)、吉田村庄や次兵衛(印)、宇田村庄屋善右衛門(印)、同断三五郎 (印)、安久村庄屋仁左衛門 (印)、大塚村庄屋小左衛門 (印)、高畑村庄屋喜左衛門 (印)、桜井村庄や喜太夫 (印)、上方村庄や七兵衛 (印)、同断長兵衛 (印)、りうせんし村庄や十郎兵衛 (印)、石畑村庄や忠太夫 (印)、同断庄兵衛 (印)、せいし村庄や加左衛門 (印)、柏尾村庄や茂助 (印)、わしのす庄屋喜右衛門 (印)、ふなみ村庄や吉兵衛 (印)、若宮村庄や左平 (印)、喜多村忠次郎 (印)、横山市左衛門 (印)、改矢野左次右衛門 (印)」と連印あり

推定	番号	表題	年代	西暦	形態	数
	に10-1	亥年乙坂村従御公儀様被下米并村割符帳	寛文拾貳年	1672	縦	1
	に10-2	子ノ年乙坂村従御公儀様被下米并村割符帳	寛文拾参年癸丑ノ六月十一日	1673	縦	1
	に11	亥ノ春従御公儀様被下米割符	天和三年三月	1683	横長	1
	に12	未之春御勘定入用被下米割符帳	元禄四辛未年七月廿八日	1691	横長	1
	に13	乙坂村被下置候稗金子割符小帳	元禄拾壹年寅四月廿三日	1698	縦	1
	に14	丑年乙坂村小取替并御役帳	寛文拾三年牛ノ正月二日	1673	横長	1
	に15	申之年乙坂村万事取替帳	延宝八年正月十九日	1680	横長	1
	に16	子之年乙坂村取かへ万事覚帳	天和四年子ノ正月吉日	1684	横長	1
	に17	丑ノ春大垣ニ而万入用割符帳	貞享二年三月	1685	横長	1
	に18	寅ノ年乙坂村諸事取替帳	貞享三年正月	1686	横長	1
	に19	卯年乙坂村惣取替	貞享四年卯ノ十二月十一日	1687	横長	1
	に20	辰之年御勘定已後万割符	元禄元年巳ノ三月	1688	横長	1
	に21	未ノ暮万割符帳	元禄四年未十二月廿三日	1691	横長	1
	に22	申ノ暮諸事村用指引帳			横長	1
	に23	亥年乙坂村御堤日用竹割符帳	元禄八乙亥年	1695	横長	1
	に24	亥之年御堤割府并値段違割府帳	元禄九丙子年六月三日	1696	横長	1
	に25	子年中乙坂村諸役米日用割符帳	元禄九年十二月	1696	横長	1
	に26	子之年乙坂村御日折米人別割符帳	元禄九丙子年十月十三日	1696	横長	1

作 成	受 取	備 考
		破損あり、「乙坂村庄や助太夫（印）、同村与頭孫太郎（印）、拾村与はしつめ村庄や六右衛門（印）、中村庄や太左衛門、吉田村庄や次兵衛（印）、宇田村庄屋善右衛門（印）、同村同断三五郎（印）、安久村庄や仁左衛門（印）、大つか村庄や小左衛門（印）、桜井村庄や喜太夫（印）、上方村庄や七兵衛（印）、りうせんし村庄や十郎兵衛（印）、石畑村庄や忠太夫（印）、同村同断庄兵衛（印）、かしわを村庄や茂助（印）、せいし村庄や加左衛門（印）、喜多村庄屋忠四郎（印）、わしのす庄や庄次郎（印）、舟見村庄や吉兵衛（印）、若宮村庄や左平（印）、□野彦兵衛（印）、改小川平助（印）」と連印あり
		破損あり、「乙坂村庄や助太夫（印）、同村与頭孫太郎（印）、拾村与橋爪村庄や六右衛門（印）、中村庄や太左衛門（印）、吉田村庄や次兵衛（印）、宇田村庄や善右衛門（印）、同村同断三五郎（印）、安久村庄や仁左衛門（印）、大つか村庄や小左衛門（印）、桜井村庄や喜兵衛（印）、上方村庄や七兵衛（印）、龍泉寺庄や十郎兵衛（印）、石畑村庄や忠太夫（印）、同村同断庄兵衛（印）、せいし村庄や加左衛門（印）、喜多村庄屋忠四郎（印）、わしのす庄や庄次郎（印）、舟見村庄や吉兵衛（印）、若宮村庄や左平（印）、改高崎市郎右衛門（印）」と連印あり
		破損あり
		破損あり
助太夫		破損あり
助左衛門（花押）、彦右衛門（花押）		破損あり
又市（花押）、五人与頭伝兵衛（花押）、庄や源兵衛（花押）		破損あり
		破損あり
庄屋彦右衛門		破損あり
源兵衛、助左衛門、伝兵衛、与八		破損あり
		綴じ紐切れ
乙坂村名主彦右衛門（印）		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	に27	乙坂村名主給米并諸入用帳	元禄十四辛巳年九月	1701	横長	1
	に28	申春御勘定入用宿割帳	正徳六丙申年四月十五日	1716	横長	1
	に29	庚午年御普請方村方諸取替帳	寛延三年正月吉日	1750	横長	1
	に30	御堤人足代割符并諸指引帳			横長	1
	に31	申年御勘定入用并諸□米割符帳			横長	1
	に32	巳之年乙坂村諸入用村出し	(巳年)		横長	1
	に33	亥之年御年貢方諸事差引之覚	(亥年)		横長	1
	に34	子之年諸事公私覚帳	(子年)		横長	1
	に35	申ノ春御勘定諸事入用割帳	(申年) 十二月		横長	1
	に36	丑井水金・寅之暮への金割符			横長	1
	に37	請取申御米之事			横長	1
	に38	〔石高書付〕			一紙	1
	ほ1～ほ3	(欠番)				
	ほ4	〔宗門改など御請状の覚など書留〕	正徳元年五月日	1711	縦	1
牧	ほ5	御目見苗字帯刀宗門一札書上帳	宝暦七年丑三月	1757	縦	1
市	ほ6	美濃国不破郡市野尾村惣百姓五人組手形帳	弘化二年巳三月	1845	縦	1
市	ほ7	美濃国不破郡市野尾村惣百姓五人組手形帳	嘉永二年酉三月	1849	縦	1
市	ほ8	美濃国不破郡市野尾村五人組手形帳	嘉永四年亥三月	1851	縦	1
	る1	大垣様未ノ御年貢米御蔵詰分□成□恐仕候ニ付永代ニ売渡し申田畑反畝歩高地坪あ□□之事(惣高合17石3斗余、代金21両)	元禄四辛未ノ年十二月廿五日	1691	一紙	1
	お1	乙坂村桐之木御改帳	天和貳年壬戌十二月八日	1682	横長	1
	お2	〔年貢免割帳〕	十二月拾日		横長	1

作 成	受 取	備 考
元助、助左衛門	和田笹右衛門殿	破損あり
		破損あり
		破損あり、綴じ紐に結び文あり
		破損あり
		破損あり
		破損あり
		裏表紙の綴紐部分に覚3点添付
		裏表紙の綴紐部分に覚3点添付
		に36の後ろにあり
		に37の後ろにあり、綴じ穴跡あり
奉行		破損あり
右(石津郡牧田)村庄屋十左衛門、同村組頭佐名右衛門、右同断八郎左衛門	郡御奉行所	破損あり、表紙「濃州石津郡牧田村」、『岐阜県史料編 近世四』pp. 525～526に収載
五人組頭忠治郎(印)、勘左衛門(印)、喜三良(印)、(他36人は省略)、濃州不破郡市野尾村年寄茂兵衛(印)、名主小市(印)、同断八郎左衛門(印)	神織部様御内 堀多右衛門殿、野口善兵衛殿	破損あり
五人組頭庄左衛門(印)、新兵衛(印)、嘉兵衛(印)、(他36人は省略)、濃州不破郡市野尾村年寄茂兵衛(印)、名主小市(印)、同断八郎左衛門(印)	神織部様御内 堀多右衛門殿	破損あり
五人組頭庄左衛門(印)、新兵衛(印)、嘉兵衛(印)、(他35人は省略)、濃州不破郡市野尾村年寄茂兵衛(印)、名主喜右衛門(印)、同断八郎左衛門(印)	神織部様御内 堀多右衛門殿、堀錠三郎殿	破損あり
乙坂村うり主伝兵衛(印)、同村同断小三良(印)、同村名主源兵衛(印)、同村五人与頭助左衛門(印)、同村証人又市(印)、同村同断与八(印)	牧田村十右衛門殿	
後藤助十郎(印)、雨森宅□(印)	乙坂村庄や彦右衛門殿、同村与頭与七郎殿	破損あり
与七(印)、五左衛門(花押)、伝兵衛(花押)、清兵衛(花押)、与左衛門、寒蔵(花押)、久三郎(花押)、彦三、為市、彦兵衛		破損あり

推定	番号	表 題	年 代	西暦	形態	数
	お3	〔覚書留帳〕			横長	1
	お4	〔年貢免割帳〕			横長	1
	お5	〔年貢勘定など書付帳〕			横長	1
	お6	〔諸事覚書付帳〕			横長	1
	お7	〔年貢勘定など書付帳〕			横長	1
	お8	〔年貢免割帳〕	元禄拾五年	1702	横長	1
	お9	〔年貢勘定など書付帳〕			横長	1
	お10	〔年貢高など書付帳〕			横長	1
	お11	〔居宅庇付け、取払い一件などにつき書付〕			一紙	1
	お12	〔別れ1通は代官、1通は名主方へ差置き後、互いに申し分無きようにて申請けにつき達し〕	正徳二壬辰年	1712	一紙	1
	お13	〔免割高の覚など書付〕			横長	1
	未1	〔乙坂村文書仮目録〕			罫紙	1

作 成	受 取	備 考
		反故紙使用
		破損あり
		破損あり
乙坂村名主彦内(印)、同村五 人与頭助左衛門(印)、又市 (印)、与左衛門(印)、久左衛 門(印)、実藏(印)、彦市(印)、 作二良(印)、五太夫(印)、半 五郎(印)、助兵衛(印)、市兵 衛(印)、彦惣(印)		破損あり、「元禄十五壬午年六月廿三日 佐藤半兵 衛 (印)」と奥印あり
農州石津郡乙坂村名主		破損あり
		破損あり
		破損あり、綴じ穴跡あり
改常半助(印)、御横目近藤彦 九郎(印)		破損あり
		破損あり
		79枚、未記載の部分あり



## 編 集 後 記

浅草東村大橋家文書中には、南寺内村文書や大場村文書などの史料が混在していましたが、史料がどう収集・整理されてきたのか、その状況の一端を窺えたように思います。今後もどのような経緯で史料が保管されてきたのか考えながら、整理作業を進めたいと思います。 (中尾)

### ご協力・ご教示いただいた方々 (敬称略)

伊東久之 吉田義治  
岐阜県歴史資料館

### 本目録の担当

監修 朴澤直秀  
編集・執筆 中尾喜代美  
編集補助 山田美由紀

岐阜大学教育学部郷土博物館収蔵史料目録(5)

### 美濃国安八郡浅草東村大橋家文書・ 美濃国石津郡乙坂村文書目録

---

発行日 2013年3月6日  
編集・発行 〒501-1193 岐阜市柳戸1-1  
岐阜大学 地域科学部 地域資料・情報センター  
<http://rilc.forest.gifu-u.ac.jp/>  
TEL : 058-293-2312  
印刷 西濃印刷株式会社

